平成 28 年度

栃木県観光動態調査

報告書

平成 29 年 3 月

栃木県産業労働観光部観光交流課

目次

第 1 章　調査の概要 1
1.調査の目的及び方法 1
2.調査報告書の見方 3
第 2 章　観光客調査　調査結果 7
1.日帰り客 7
(1)県全体 7
①平成 28 年度調査結果 7
②過去調査との比較 14
(2)エリア別 17
ⅰ.那須エリア 17
ⅱ.日光エリア 24
ⅲ.県央エリア 31
ⅳ.県東エリア 38
ⅴ.県南エリア 45
2.宿泊客 52
(1)県全体 52
①平成 28 年度調査結果 52
②過去調査との比較 59
(2)エリア別 63
ⅰ.那須エリア 63
ⅱ.日光エリア 70
ⅲ.県央エリア 77
ⅳ.県東エリア 84
ⅴ.県南エリア 91
参考資料

第１章　調査の概要

1.調査の目的及び方法

（1）調査目的

栃木県を訪れる旅行客の流動実態について、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」、「観光入込客統計に関する共通基準調査要領」等に基づき、栃木県を訪れる観光客に対するアンケートを行い、栃木県の観光実態を把握し、観光動向を分析する。

（2）調査概要

①観光地点調査

調査手法：県内の観光地点（１５カ所）にて調査員が聞き取り（土日祝日から１日）

調査地点：

エリア	調査観光地点名
那須エリア	①道の駅那須高原友愛の森
	②那須ガーデンアウトレット
計３ヵ所	③アグリパル塩原
日光エリア	④二社一寺（日光東照宮）
	⑤華厳の滝（県営華厳第２駐車場）
計３ヵ所	⑥東武ワールドスクエア
県央エリア	⑦道の駅うつのみや　ろまんちっく村
	⑧道の駅きつれがわ
計３ヵ所	⑨道の駅ばとう
県東エリア	⑩道の駅「もてぎ」
	⑪陶芸メッセ・益子
計３ヵ所	⑫道の駅はが
県南エリア	⑬足利学校
	⑭佐野プレミアム・アウトレット
計３ヵ所	⑮とちぎ山車会館

②調査対象

調査地点に訪れる全ての方（日本人のみ）

③調査時期

第１回：平成 28 年６月／７月

第２回：平成 28 年９月

第３回：平成 28 年 11 月

第４回：平成 29 年１月

（3）アンケート回答状況

有効サンプル数：3,786 票

	第一回調査	第二回調査	第三回調査	第四回調査	合計
観光地点調査	979 件	943 件	978 件	886 件	3,786 件

①調査地点別回収結果

エリア	調査観光地点名	回収数	合計
那須エリア	①道の駅那須高原友愛の森	276	851
	②那須ガーデンアウトレット	275	
	③アグリパル塩原	300	
日光エリア	④二社一寺（日光東照宮）	249	691
	⑤華厳の滝（県営華厳第２駐車場）	201	
	⑥東武ワールドスクエア	241	
県央エリア	⑦道の駅うつのみや　ろまんちっく村	230	802
	⑧道の駅きつれがわ	297	
	⑨道の駅ばとう	275	
県東エリア	⑩道の駅「もてぎ」	304	712
	⑪陶芸メッセ・益子	164	
	⑫道の駅はが	244	
県南エリア	⑬足利学校	300	730
	⑭佐野プレミアム・アウトレット	260	
	⑮とちぎ山車会館	170	

2.調査報告書の見方

本調査では、構成比などの数値は、原則として単位未満四捨五入で表記しており、合計や積算などの計算値は、紙面上に表記された数値による計算値と一致しないことがある。

なお、件数が 0 件の項目については、グラフ上は非表示とする。

（1）調査地域区分

今回の調査では、調査対象の観光地点の地域を以下のとおり区分した。

・那須、日光、県央、県東、県南の 5 エリア

なお、各観光地点に対する周辺地域の考え方は〈表 1〉のとおり。

観光地点調査における調査地点と周辺地域の考え方

〈表 1〉調査観光地点周辺地域

観光地点 エリア	観光地点名	周辺地域の範囲
那須エリア	①道の駅那須高原友愛の森	那須町
	②那須ガーデンアウトレット	那須塩原市
	③アグリパル塩原	
日光エリア	④二社一寺（日光東照宮）	日光市
	⑤華厳の滝（県営華厳第２駐車場）	
	⑥東武ワールドスクエア	
県央エリア	⑦道の駅うつのみや ろまんちっく村	宇都宮市
	⑧道の駅きつれがわ	さくら市、高根沢町、那珂川町 那須烏山市
	⑨道の駅ばとう	那珂川町、那須烏山市
県東エリア	⑩道の駅「もてぎ」	真岡市、芳賀町、市貝町、益子町、茂木町
	⑪陶芸メッセ・益子	益子町
	⑫道の駅はが	真岡市、芳賀町、市貝町、益子町、茂木町
県南エリア	⑬足利学校	足利市
	⑭佐野プレミアム・アウトレット	佐野市
	⑮とちぎ山車会館	栃木市

(2) 集計内容

集計項目	集計方法	備考
お住まい	県全体 エリア別	回答者の住所を都道府県単位で集計し、栃木県を含む関東 7 都県、および福島県を表示、それ以外を「その他」として集計。
性別・年代別	県全体 エリア別	回答者の性別、および年代を集計。なお性別は男性、女性の 2 区分、年代は以下の 5 区分。 10・20 代、30 代、40 代、50 代、60 代以上
栃木県での 滞在時間	県全体 エリア別 エリア比較	栃木県内の最初の「目的地」から最終「目的地」を離れるまで時間を集計。なお区分は以下の 6 区分。 2 時間未満 2 時間以上～4 時間未満 4 時間以上～6 時間未満 6 時間以上～8 時間未満 8 時間以上～10 時間未満 10 時間以上
宿泊旅程	県全体	宿泊の種別を集計。なお区分は次の 2 区分。 県内のみの宿泊 県外を含む宿泊。
栃木県内での 宿泊日数	県全体 エリア別	今回の旅行（居住地を出てから居住地に戻るまで）の栃木県内での宿泊数を集計。なお区分は以下の 5 区分。 1 泊、2 泊、3 泊、4 泊、5 泊以上
栃木県内での 宿泊施設数	県全体	今回の旅行（居住地を出てから居住地に戻るまで）の宿泊した施設の数を集計。なお区分は以下の 5 区分。 1 施設、2 施設、3 施設、4 施設、5 施設以上
栃木県内での 利用宿泊施設	県全体	宿泊施設の分類を集計。なお区分は 10 区分（具体的な項目は調査票参照）。
旅行先に選んだ理由	県全体 エリア別	調査地点の周辺地域を旅行先に選んだ理由を集計。 なお区分は 15 区分（具体的な項目は調査票参照）。
同行者数	県全体 エリア別	今回の旅行の回答者を含む同行人数を集計。なお区分は以下の 8 区分。 1 人、2 人、3 人、4 人、5 人、6～10 人、11～30 人、31 人以上
同行者の関係	県全体 エリア別	今回の旅行の同行者の関係を集計。なお区分は 8 区分（具体的な項目は調査票参照）。
県外客の栃木県への 来訪回数	県全体	栃木県への来訪回数を集計。なお区分は以下の 5 区分。 初めて、二回目、三回目、四回目、五回目以上
調査地域周辺への 来訪回数	エリア別	調査地域周辺への来訪回数を集計・現在地周辺とは調査地点の「周辺地域」を指し、観光地点調査の各観光地点に対する周辺地域の考え方は P.3〈表 2〉の区分のとおり。
交通機関	県全体 エリア別	今回の旅行で利用した交通機関を集計。なお区分は 12 区分（具体的な項目は調査票参照）。 選択肢で示した交通機関を、利用したかしないかを集計。旅程内で一度でも利用すれば集計の対象とし、二度以上使った場合も 1 として集計。

集計項目	集計方法	備考
立ち寄り 観光施設数	県全体	今回の旅行での立ち寄り先（これからの予定も含む）の合計数を集計。 ここで対象としている観光施設（地点数）は栃木県作成の『観光地点等名簿に掲載の観光地点等名』を参照している。そのため栃木県外の観光地点や下記の様な観光施設とみなさない場所、不明確な場所は対象外としている。 ・宿泊施設、実家、友人の家 ・コンビニ、飲食店 ・鉄道の駅、高速道路のサービスエリア ・宇都宮、日光、鬼怒川、那須などの地名 なお、調査に回答した観光地点はその数には含まない。 ※調査地点以外に立ち寄りがない場合は 0 地点と表す。
立ち寄り 観光施設	エリア別	今回の旅行での立ち寄り先（これからの予定も含む）。 上記「立ち寄り観光施設数」と同様、ここで対象としている観光施設は栃木県作成の『観光地点等名簿に掲載の観光地点等名』を参照している。
旅行先に選んだ 情報源	県全体 エリア別	調査地点の周辺地域を旅行先として選んだ際の情報源を集計。なお区分は 13 区分（具体的な項目は調査票参照）。
旅行先を選んだ“決め手”となった情報源	県全体（年代別） エリア別	調査地点の周辺地域を旅行先として選んだ際の情報源のうち“決め手”となったものを集計。なお区分は 13 区分（具体的な項目は調査票参照）。
消費支出（平均）	県全体 エリア別	栃木県内で消費した支出の総額およびその内訳を集計。 内訳として表示する項目は以下の 6 項目。 県内交通費、宿泊費、土産代、飲食代、入場料、その他 なお、内訳項目のうちひとつでも記入がある場合には、それを総額とする。 県内交通費については、以下の考えかたにより集計。 回答者の回答がある場合：回答を集計。 交通費総額のみの回答の場合：居住地・立ち寄り地より県内外の距離を算出し按分し集計。 利用駅等のみの回答の場合：運賃等より類推し集計。
調査地域の総合満足度／再来訪意向	県全体 エリア別	総合的な満足度：調査地点の周辺地域への訪問後の総合満足度を 5 段階で回答。 また訪れたいか：調査地点の周辺地域への再来訪意向を 5 段階で回答。 ※「県全体」ではグラフの下に各項目の加重平均を表示。 加重平均：肯定意見「大いに（大変）～」を＋2、「やや（ほぼ）～」を＋1 に、中間意見「どちらでもない」を 0、否定意見「あまり（やや）～ない」を－1、「全く（大変）～ない」を－2 に置き換えて算出した平均値で、＋の数値で肯定的、－の数値で否定的な度合いとなる。

集計項目	集計方法	備考
項目別満足度 （加重平均値）	県全体 エリア別	県全体・調査地域に対する 15 の項目別の「満足度」についてまとめて表示。また、グラフの 1 行目には比較用として「調査地域の総合満足度」を表示し、グラフ右側には加重平均を表示。
調査地域の総合満足度・再来訪意向 （季節別/年代別）	県全体 エリア別	調査地域の総合満足度と再来訪意向を加重平均値で表示。季節別、年代別に調査地域の総合満足度と再来訪意向を加重平均値で表示。

(3) 集計対象サンプル数

調査区分	アンケート回収状況	集計区分	
		日帰り客	宿泊客（県内）
全体	3,786	2,655	1,061
那須エリア	851	434	402
日光エリア	691	305	373
県央エリア	802	657	137
県東エリア	712	650	56
県南エリア	730	609	93

(5) 集計値の誤差について

- ❑ 集計値は小数点第 2 位を四捨五入とする。したがって、数値の合計が 100.0%にならない場合がある。
- ❑ 基数となるべき実数はｎとして表示した。その比率は、ｎを 100.0%として算出した

第 2 章　観光客調査　調査結果

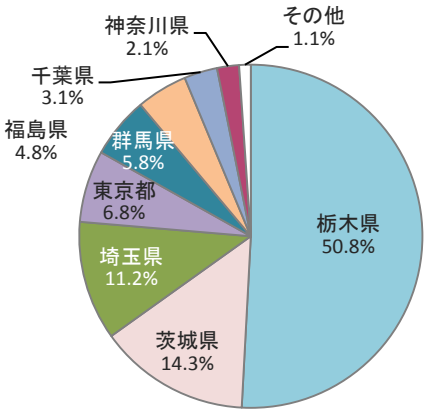
1.日帰り客

(1)県全体

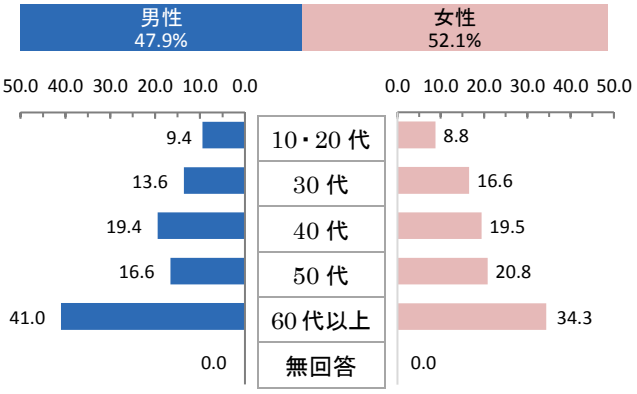
①平成 28 年度調査結果

お住まいは「栃木県」が 50.8%で最も多く、次いで「茨城県」が 14.3%、「埼玉県」が 11.2%であった。
性別は、「男性」が 47.9%、「女性」が 52.1%であった。
年代は、男性は「60 代以上」が 41.0%で最も多く、女性も「60 代以上」が 34.3%で最も多かった。

お住まい（n=2655）

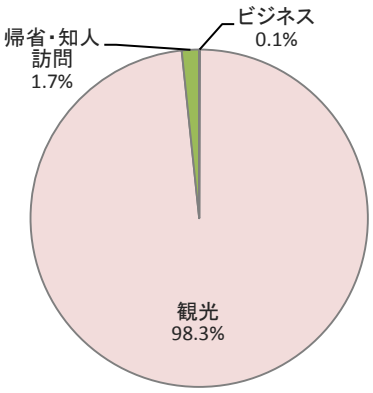


性別・年代（n=2655）



旅行の主要目的は、「観光」が 98.3%と 9 割を超えた。

旅行の主要目的（n=2655）

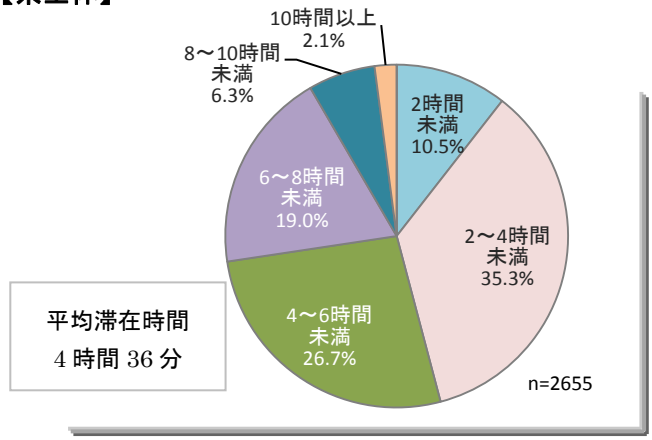


栃木県での滞在時間は、県全体では、「2 時間以上 4 時間未満」が 35.3%で最も多く、次いで「4 時間以上 6 時間未満」が 26.7%で、2 時間以上 6 時間未満で 62.0%となる。平均滞在時間は 4 時間 08 分。

エリアごとに見ると、日光が 6 時間 00 分で最も長く、県東が 3 時間 14 分で最も短かった。「2 時間未満」が県東で 20.6%と他のエリアに比べて多い。また、「8 時間以上 10 時間未満」が那須で 15.4%と他のエリアに比べて多い。

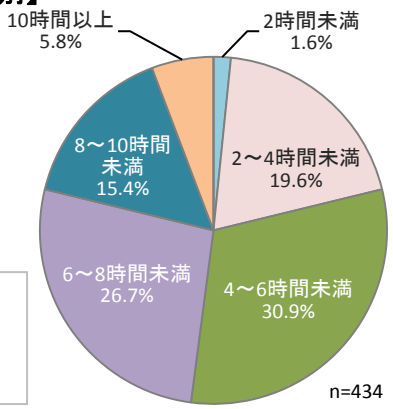
栃木県での滞在時間（n=2655）

【県全体】

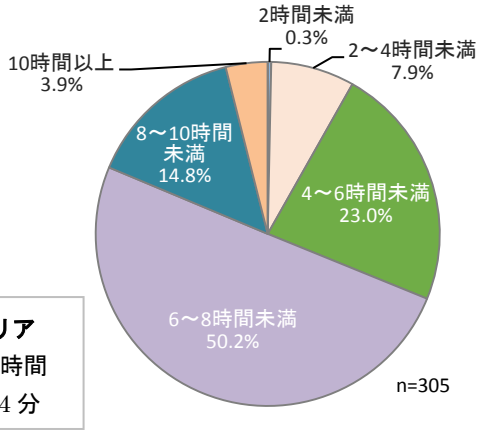


平均滞在時間
4 時間 36 分

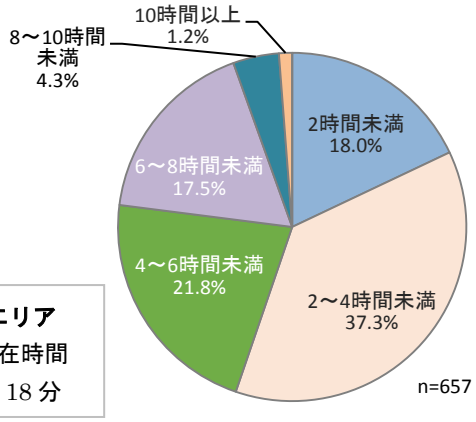
【エリア別】



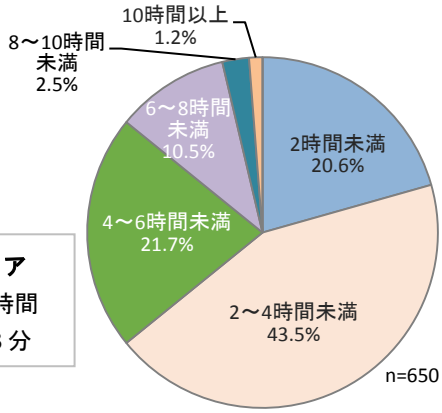
那須エリア
平均滞在時間
5 時間 10 分



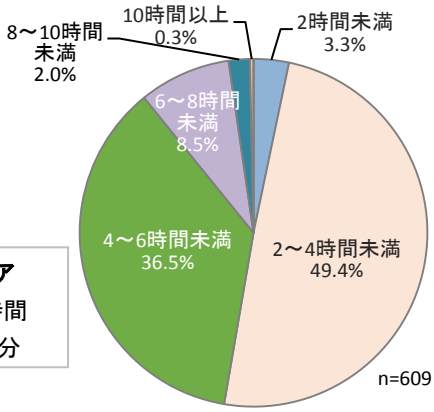
日光エリア
平均滞在時間
6 時間 04 分



県央エリア
平均滞在時間
3 時間 18 分



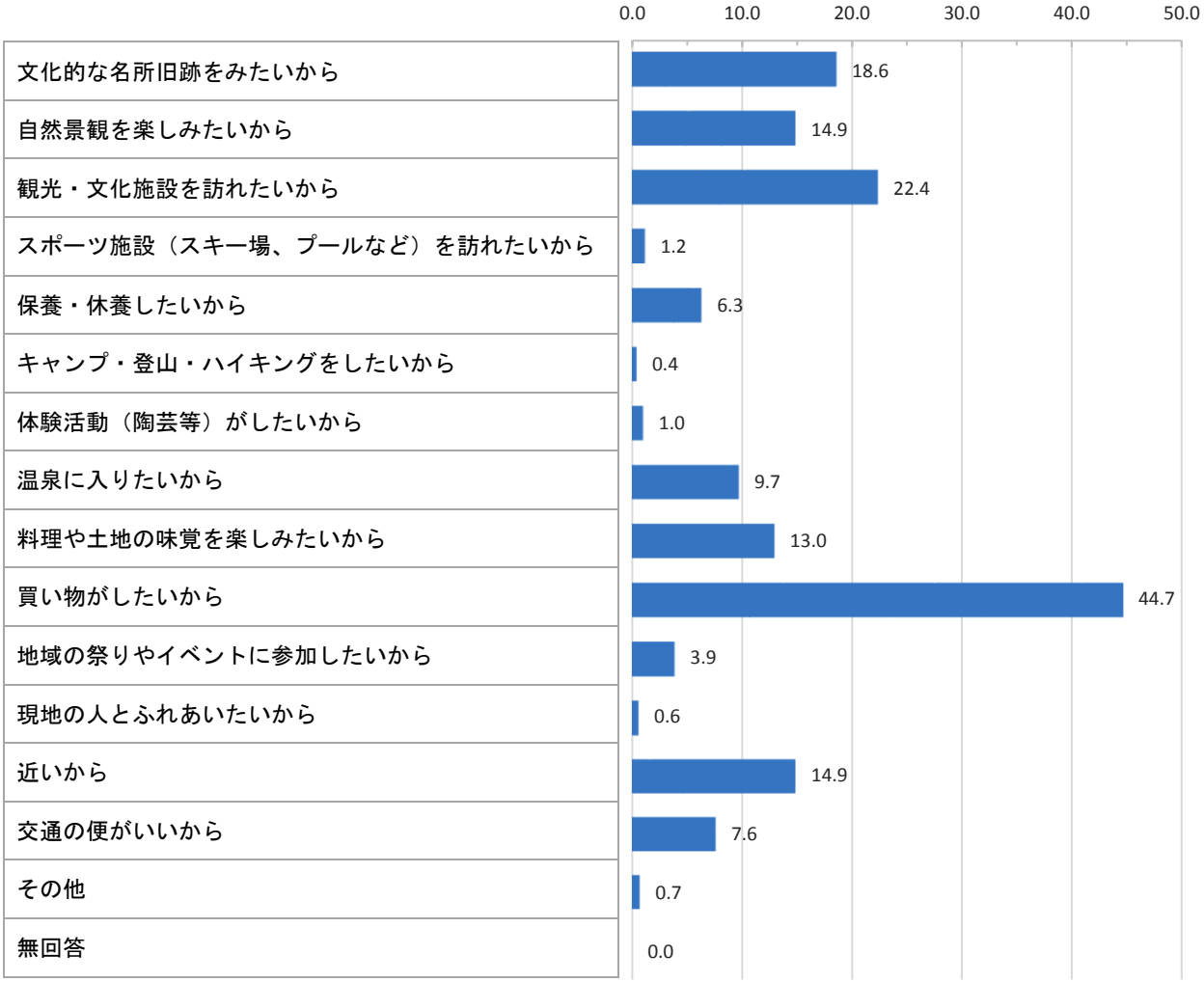
県東エリア
平均滞在時間
2 時間 48 分



県南エリア
平均滞在時間
2 時間 55 分

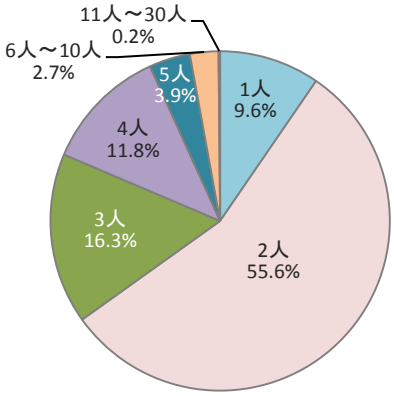
旅行先に選んだ理由は、「買い物がしたいから」が 44.7%で最も多く、次いで「観光・文化施設を訪れたいから」が 22.4%、「文化的な名所旧跡をみたいから」が 18.6%、「自然景観を楽しみたいから」「近いから」が 14.9%であった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=2655）

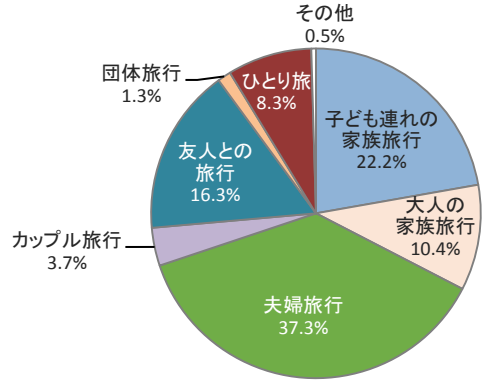


回答者を含む同行者数は、「2 人」が 55.6%で最も多く、次いで「3 人」が 16.3%、「4 人」が 11.8%であった。
同行者の関係は、「夫婦旅行」が 37.3%で最も多く、次いで「子ども連れの家族旅行」が 22.2%、「友人との旅行」が 16.3%、「大人の家族旅行」が 10.4%であった。

同行者数 ※回答者を含む（n=2655）

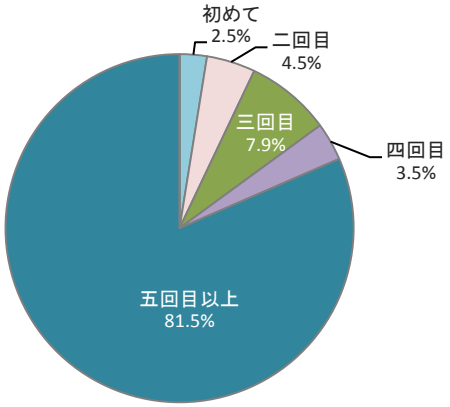


同行者の関係（n=2655）



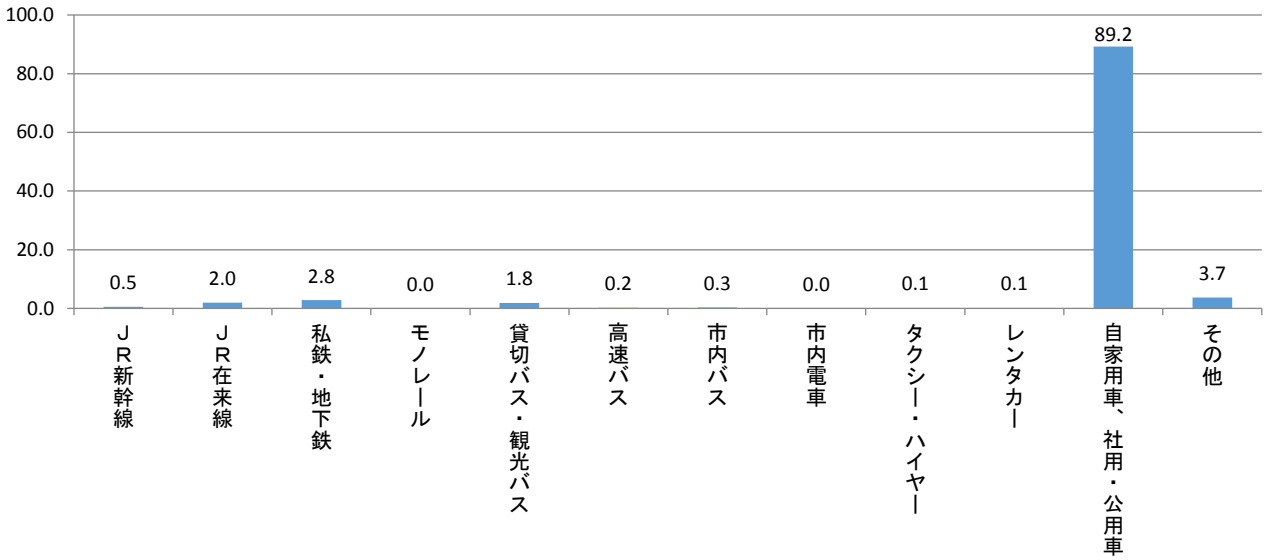
県外客の栃木県への来訪回数は、「五回目以上」が 81.5%と 8 割を超えた。一方、「初めて」は 2.5%であった。

県外客の栃木県への来訪回数（n=1304）



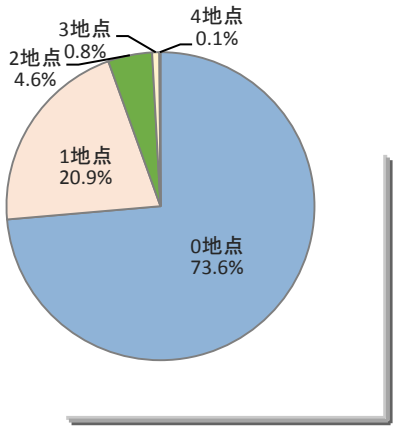
利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 89.2%で大半を占めた。その他の交通機関としては「私鉄・地下鉄」が 2.8%、「ＪＲ在来線」が 2.0%、「貸切バス・観光バス」が 1.8%であった。

利用交通機関（複数回答）（n=2655）

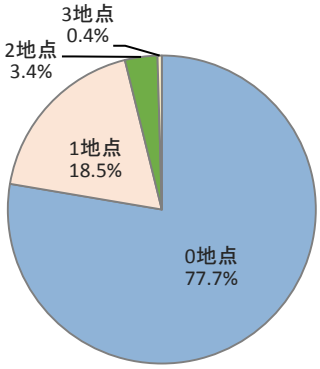


立ち寄り観光施設は、「0 地点（調査地点以外立ち寄りなし）」が 73.6%で最も多く、次いで「1 地点」が 20.9%であった。調査地点も含め 1 地点～2 地点が 8 割を超えた。

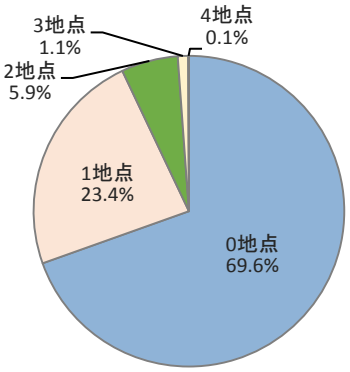
立ち寄り観光施設数
（n=2655）



県内客の立ち寄り観光施設数
（n=1350）



県外客の立ち寄り観光施設数
（n=1305）



旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が 66.3%で最も多く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が 15.7%であった。

“決め手”となった情報源も、旅行先に選んだ情報源とほぼ同様の傾向で、「以前来訪した際の自身の経験」が 61.9%で最も多く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が 10.4%であった。

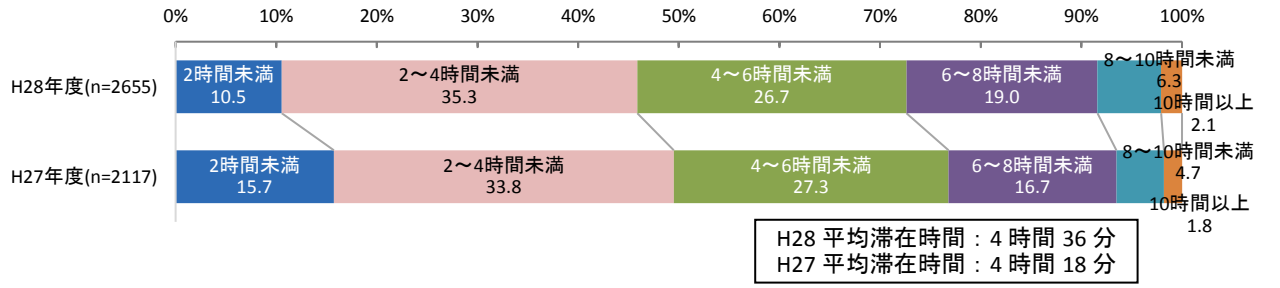
旅行先に選んだ情報源
（複数回答）（n=2655）

“決め手”となった情報源
（単一回答）（n=2655）

②過去調査との比較

栃木県での滞在時間は、「2 時間未満」が平成 27 年度調査では 15.7%であったが、平成 28 年度調査では 10.5%と 5.2 ポイント減少した。一方、6 時間以上の長時間滞在者の割合は平成 27 年度調査と比較して増加した。平均滞在時間は、平成 27 年度調査では 4 時間 18 分であったが、平成 28 年度調査では 4 時間 08 分と減少した。

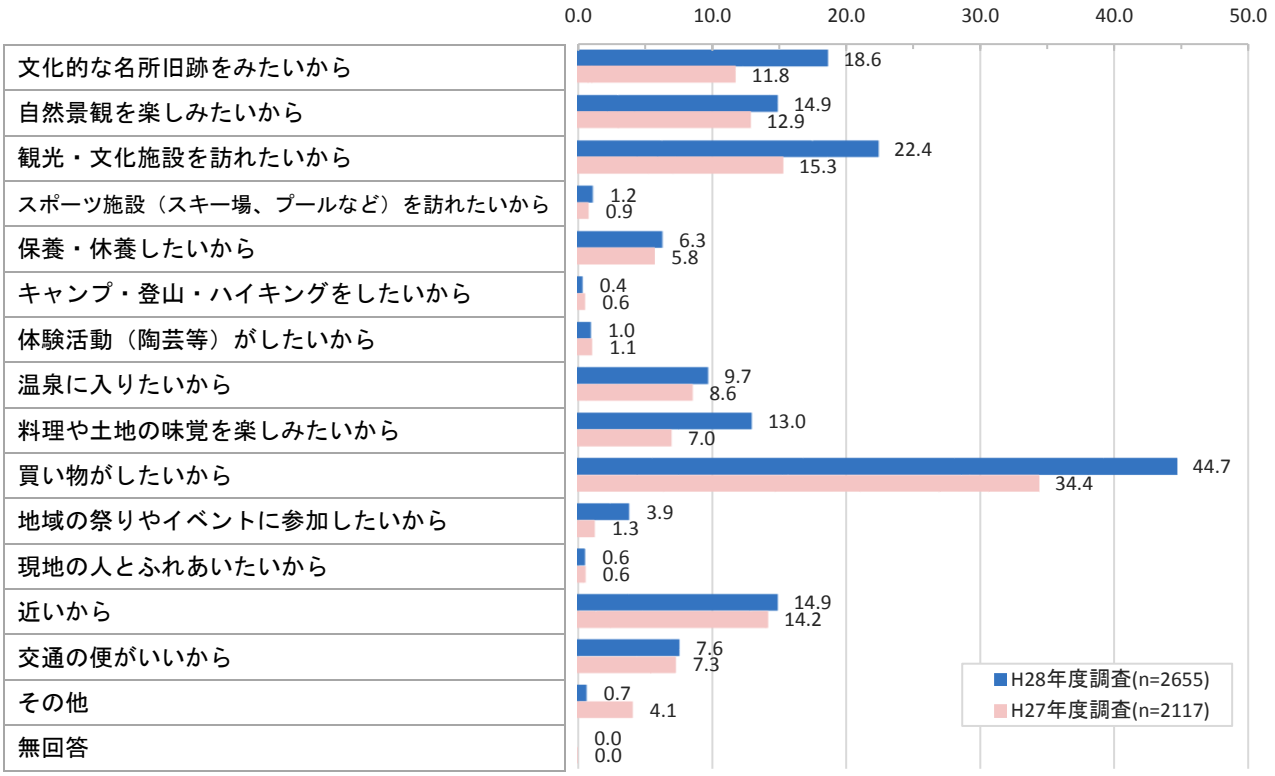
栃木県での滞在時間



H28 平均滞在時間：4 時間 36 分
H27 平均滞在時間：4 時間 18 分

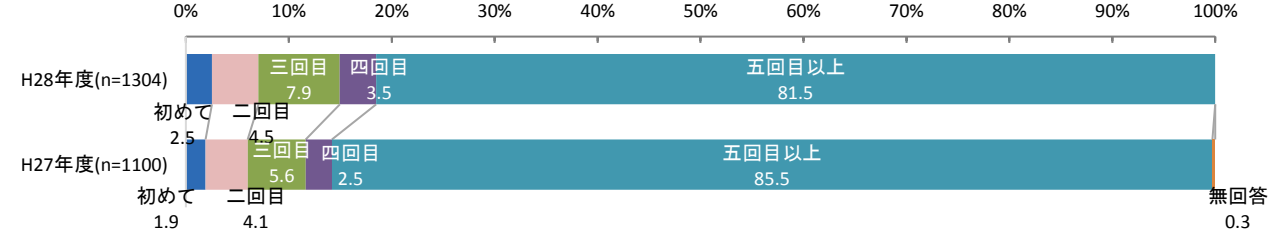
旅行先に選んだ理由は、平成 27 年度の調査では「買い物がしたいから」が最も多く 34.4%であったが、平成 28 年度調査では 44.7%と 10.3 ポイント増加した。次いで「観光・文化施設を訪れたいから」が平成 27 年度の調査では 15.3%であったが、平成 28 年度調査では 22.4%と 7.1 ポイント増加した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



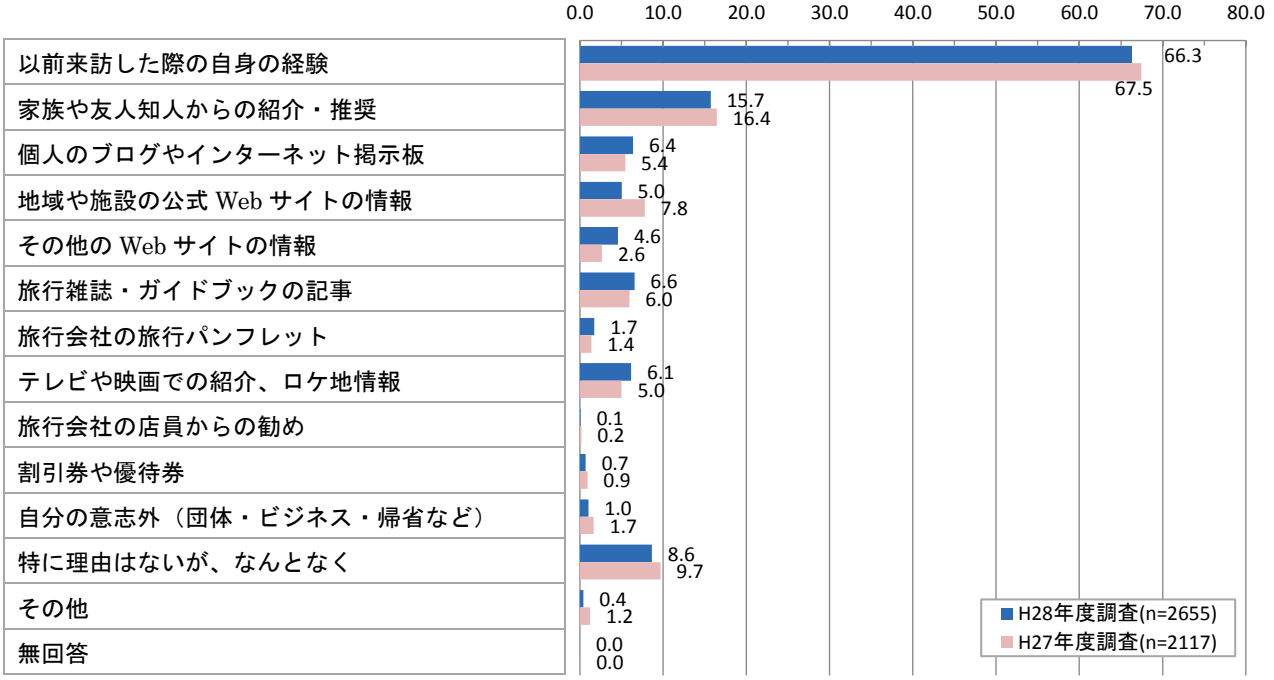
県外客の栃木県への来訪回数は、「五回目以上」が平成 27 年度の調査では 85.5%であったが、平成 28 年度調査では 81.5%と 4.0 ポイント減少した。一方「初めて」が平成 27 年度の調査では 1.9%であったが、平成 28 年度調査では 2.5%と 0.6 ポイント増加した。

県外客の栃木県への来訪回数



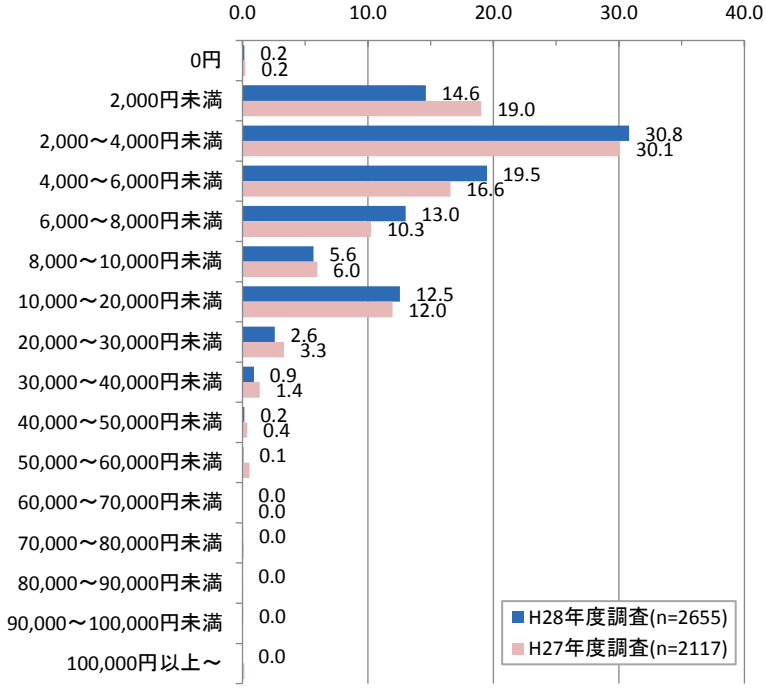
旅行先に選んだ情報源は、平成 27 年度調査では「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く 67.5%であったが、平成 28 年度調査では 66.3%と 1.2 ポイント減少した。一方、「テレビや映画での紹介、ロケ地情報」は平成 27 年度調査では 5.0%であったが、平成 28 年度調査では 6.1%と 0.1 ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、「2,000 円未満」は平成 27 年度調査の 19.0%に対し、平成 28 年度は 14.6%で 4.4 ポイント減少した。一方、「4,000～6,000 円未満」は平成 27 年度調査の 16.6%に対し、平成 28 年度調査では 19.5%で 2.9 ポイント増加、「6,000～8,000 円未満」も平成 27 年度調査の 10.3%に対し、平成 28 年度調査では 13.0%で 2.7 ポイント増加した。日帰り客の一人当たり平均は、平成 27 年度調査では 6,545 円であったが、平成 28 年度調査では 6,044 円と減少した。

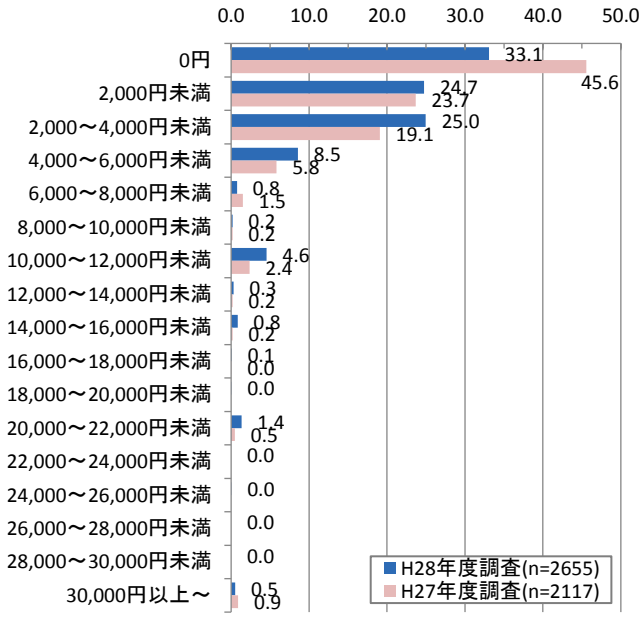
消費支出　総額



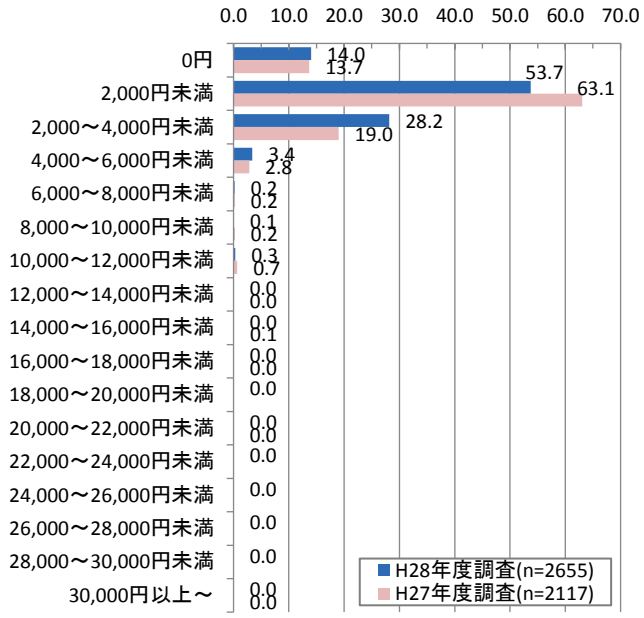
日帰り客の一人当たり平均
平成 28 年度調査：6,044 円
平成 27 年度調査：6,545 円

土産代は、「2,000 円～4000 円未満」が平成 27 年度調査の 19.1%に対し、平成 28 年度は 25.0%と 5.9 ポイント増加した一方で、「0 円」が平成 27 年度調査の 45.6%に対し、平成 28 年度は 33.1%と 12.5 ポイント減少した。飲食費も「2,000 円～4000 円未満」が平成 27 年度調査の 19.0%に対し、平成 28 年度は 28.2%と 9.2 ポイント増加した一方で、「2,000 円未満」が平成 27 年度調査の 63.1%に対し、平成 28 年度は 53.7%と 9.4 ポイント減少した。

消費支出　土産代

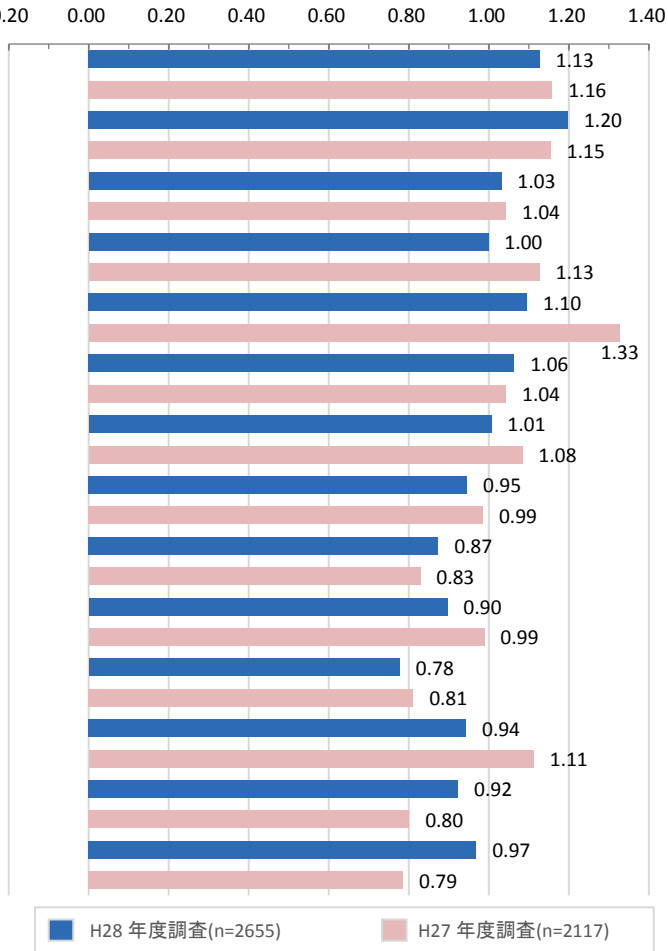


消費支出　飲食費



総合満足度は、平成 27 年度調査では 1.16 であったが、平成 28 年度調査では 1.13 と 0.03 ポイント減少した。満足度を項目別にみると、平成 27 年度調査では「観光施設　体験活動」が 1.33 で最も高かったが、平成 28 年度調査では「景観　自然景観や雰囲気」が 1.20 で最も高かった。

項目別満足度（加重平均値）



総合満足度	H28 年度調査		(n=2,655)
	H27 年度調査		(n=2,117)
①景観	自然景観や雰囲気	H28	(n=2,532)
		H27	(n=1,977)
	街並みの景観や雰囲気	H28	(n=2,479)
		H27	(n=2,008)
③観光施設	観光施設	H28	(n=2,054)
		H27	(n=1,283)
	体験活動	H28	(n=136)
		H27	(n=144)
④食	食	H28	(n=1,625)
		H27	(n=1,285)
⑤土産	お土産	H28	(n=1,111)
		H27	(n=894)
⑥おもてなし	観光施設	H28	(n=1,671)
		H27	(n=1,074)
	飲食店	H28	(n=1,484)
		H27	(n=1,092)
	土産物店	H28	(n=1,015)
		H27	(n=814)
	交通事業者	H28	(n=202)
		H27	(n=74)
	地域住民	H28	(n=665)
		H27	(n=465)
⑦その他	地域内での移動	H28	(n=1,639)
		H27	(n=1,140)
	現地での観光情報・案内	H28	(n=1,199)
		H27	(n=914)

(2)エリア別

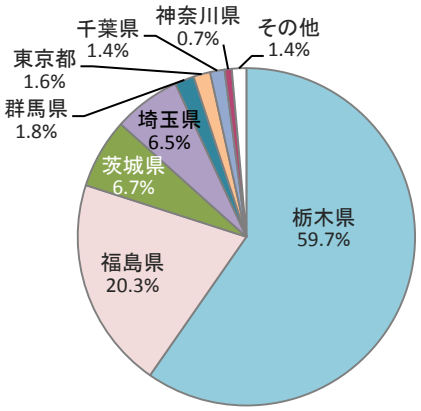
ｉ.那須エリア

①平成 28 年度調査結果

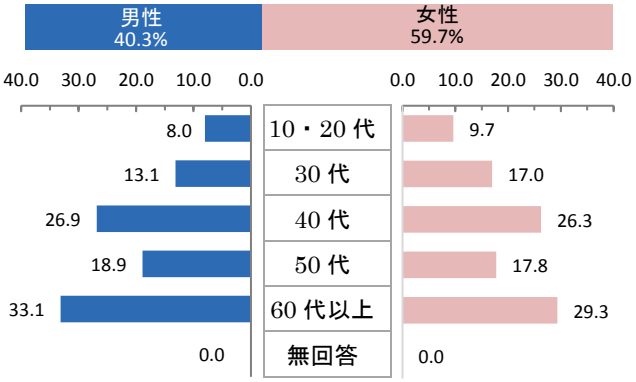
日帰り客（那須エリア）　　サンプル数：434

お住まいは「栃木県」が最も多く 59.7%、次いで「福島県」が 20.3%、「茨城県」が 6.7%であった。年代は、男女ともに「60 代以上」が最も多く「男性」が 33.1%、「女性」が 29.3%であった。
調査地域周辺への来訪回数は、「五回目以上」のリピーターが 78.4%で最も多かった。
同行者数は「2 人」が 50.0%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 35.3%で最も多かった。

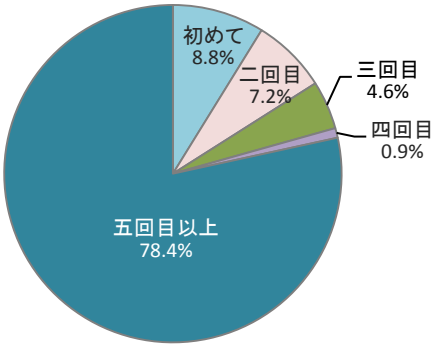
お住まい（n=434）



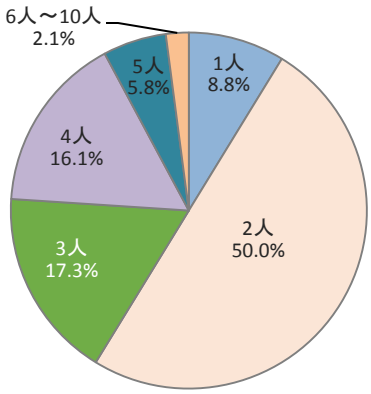
性別・年代（n=434）



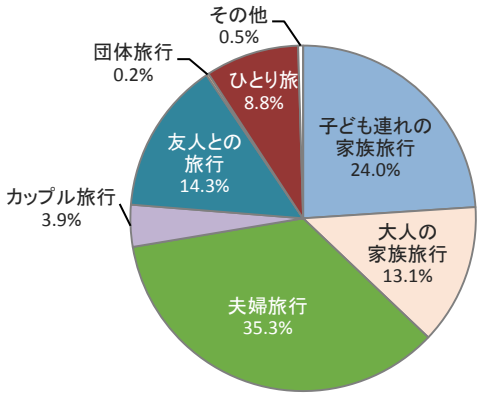
調査地域周辺への来訪回数（n=431）



同行者数 ※回答者を含む（n=434）

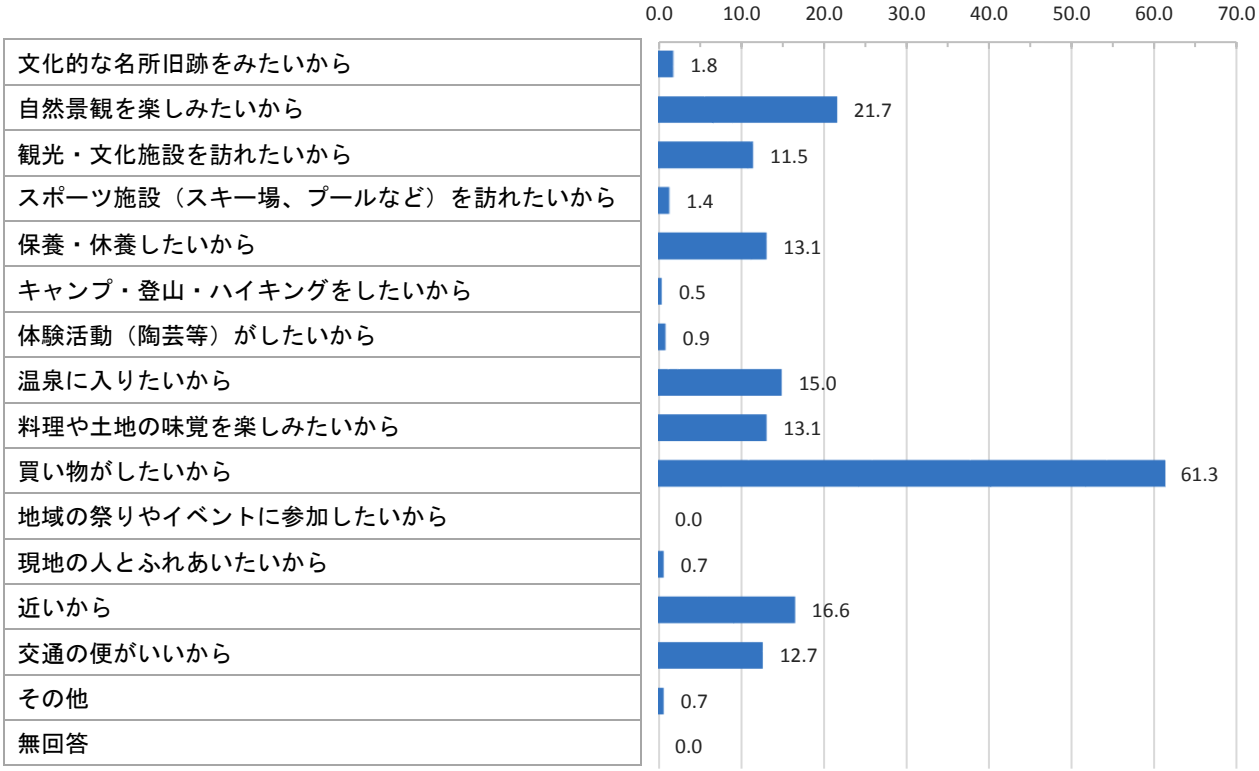


同行者の関係（n=434）



旅行先に選んだ理由は「買い物がしたいから」が 61.3%で最も多く、次いで「自然景観を楽しみたいから」が 21.7%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が 76.7%で最も多く、決め手となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が 69.6%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=434）

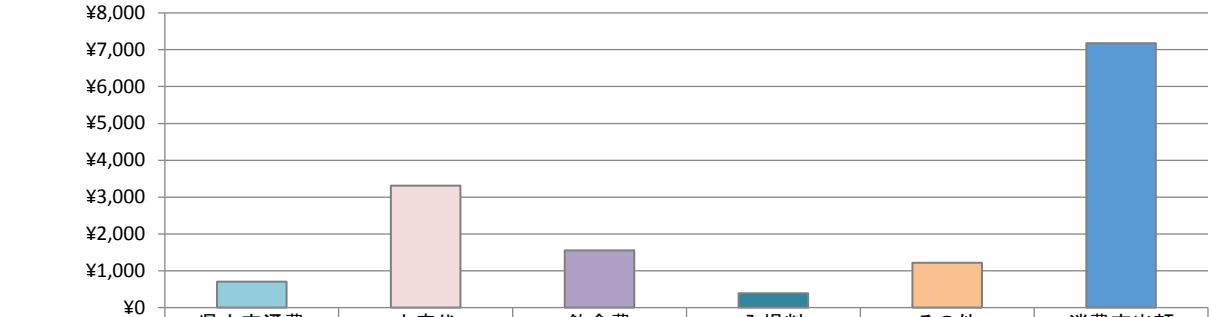


旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=434）

“決め手”となった情報源（単一回答）（n=434）

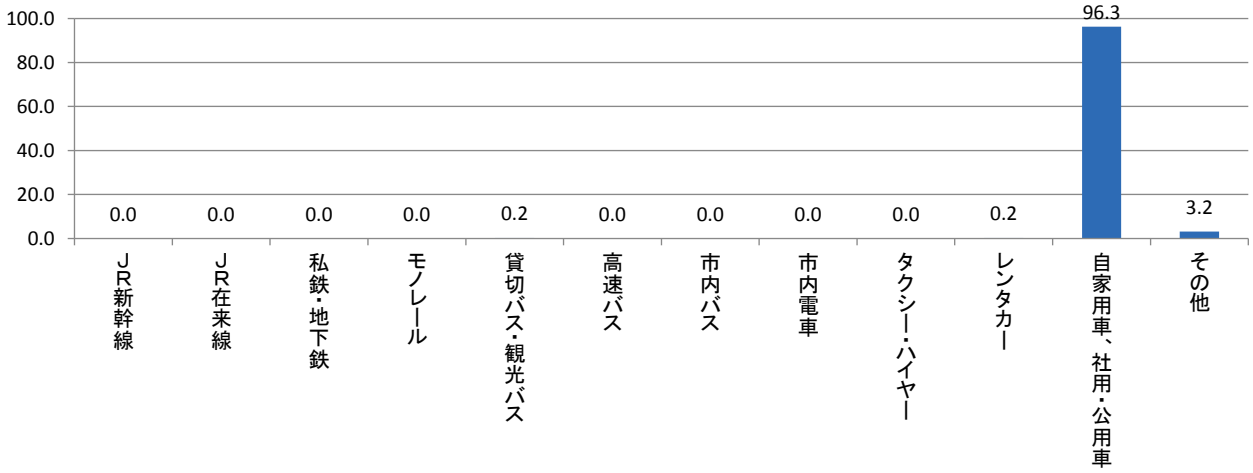
消費支出の平均は、総額で 7,174 円であった。内訳は、「土産代」が 3,310 円で最も多く、次いで「飲食費」が 1,553 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 96.3%であった。
立ち寄り観光施設は、「那須ガーデンアウトレット」が 42 人で最も多く、次いで「塩原温泉郷」が 37 人であった。

消費支出（平均）



	県内交通費 (n=434)	土産代 (n=434)	飲食費 (n=434)	入場料 (n=434)	その他 (n=434)	消費支出額 (n=434)
消費支出(平均)	¥704	¥3,310	¥1,553	¥389	¥1,217	¥7,174

利用交通機関（複数回答）（n=434）



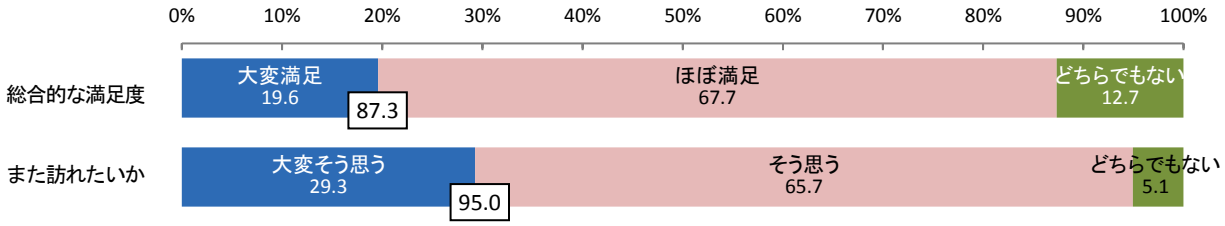
立ち寄り観光施設（n=434）※（　）内は施設に立ち寄った人数

那須	那須	那須
那須ガーデンアウトレット(42)	ハンターマウンテン塩原(4)	塩原カントリークラブ(1)
塩原温泉郷(37)	那須ハイランドパーク(4)	那須オルゴール美術館(1)
千本松牧場(24)	くろばね紫陽花まつり(3)	日光
もみじ谷大吊橋(17)	りんどう湖ファミリー牧場(3)	鬼怒川温泉(9)
那須岳（茶臼岳）(16)	那須サファリパーク(3)	湯西川温泉(2)
那須ロープウェイ(14)	板室温泉郷(2)	二社一寺参拝者(1)
鹿の湯(13)	箱の森プレイパーク(2)	日光湯元温泉(1)
南ヶ丘牧場(12)	アグリパル塩原(2)	東武ワールドスクウェア(1)
那須高原友愛の森(11)	トリックアートの館(2)	県央
那須どうぶつ王国(7)	那須ステンドグラス美術館(2)	道の駅ばとう(6)
東山道伊王野(7)	那須アルパカ牧場(2)	ろまんちっく村(2)
那須フラワーワールド(6)	芦野温泉(2)	フェスタｉｎ大谷(1)
道の駅やいた(5)	ホテルサンバレー那須(2)	道の駅きつれがわ(1)
道の駅那須与一の郷(4)	黒羽城址公園(1)	烏山和紙会館(1)

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
那須高原友愛の森（131）、那須ガーデンアウトレット（177）、アグリパル塩原（126）

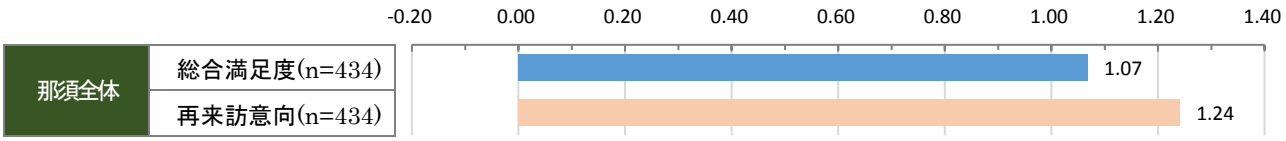
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が 87.3%であった。
また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が 95.0%であった。

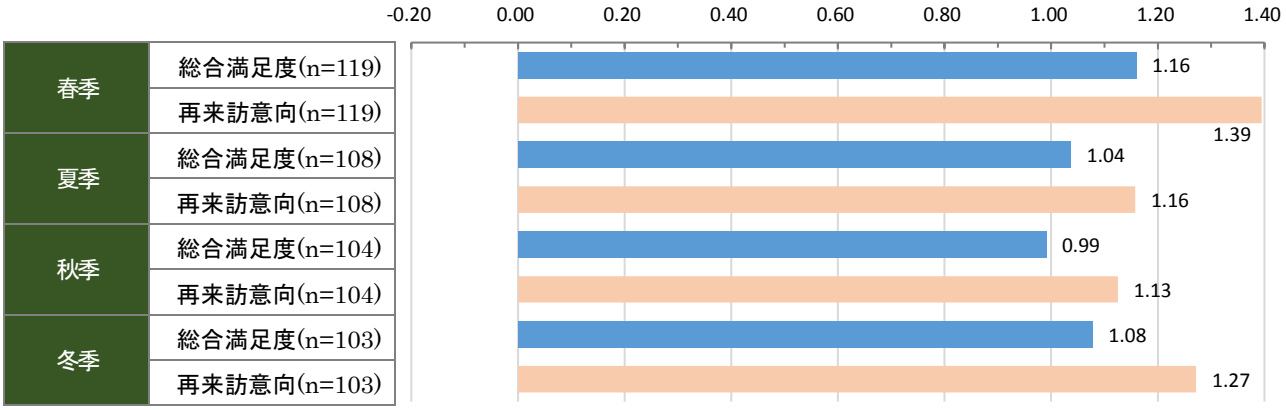
調査地域の総合満足度／再来訪意向（n=434）

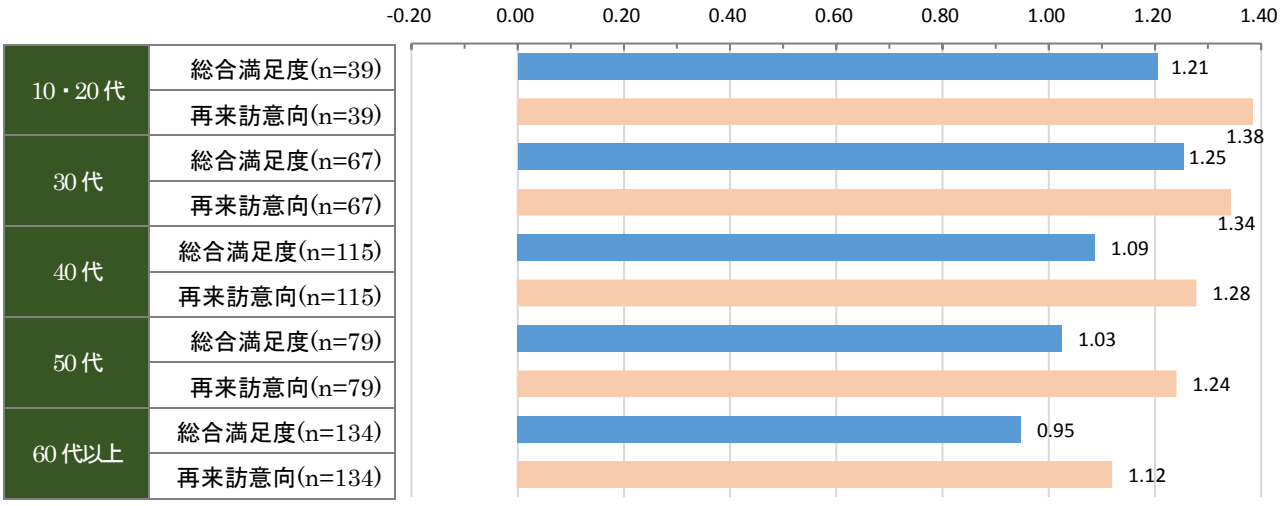


調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「春季」が 1.16 で最も高く、「秋季」が 0.99 で最も低かった。
再来訪意向についても「春季」が 1.39 で最も高く、「秋季」が 1.13 で最も低かった。
年代別にみると、総合満足度は「30 代」が 1.25 で最も高く、「60 代以上」が 0.95 で最も低かった。
また、再来訪意向は、「10・20 代」が 1.38 で最も高く、「60 代以上」が 1.12 で最も低かった。



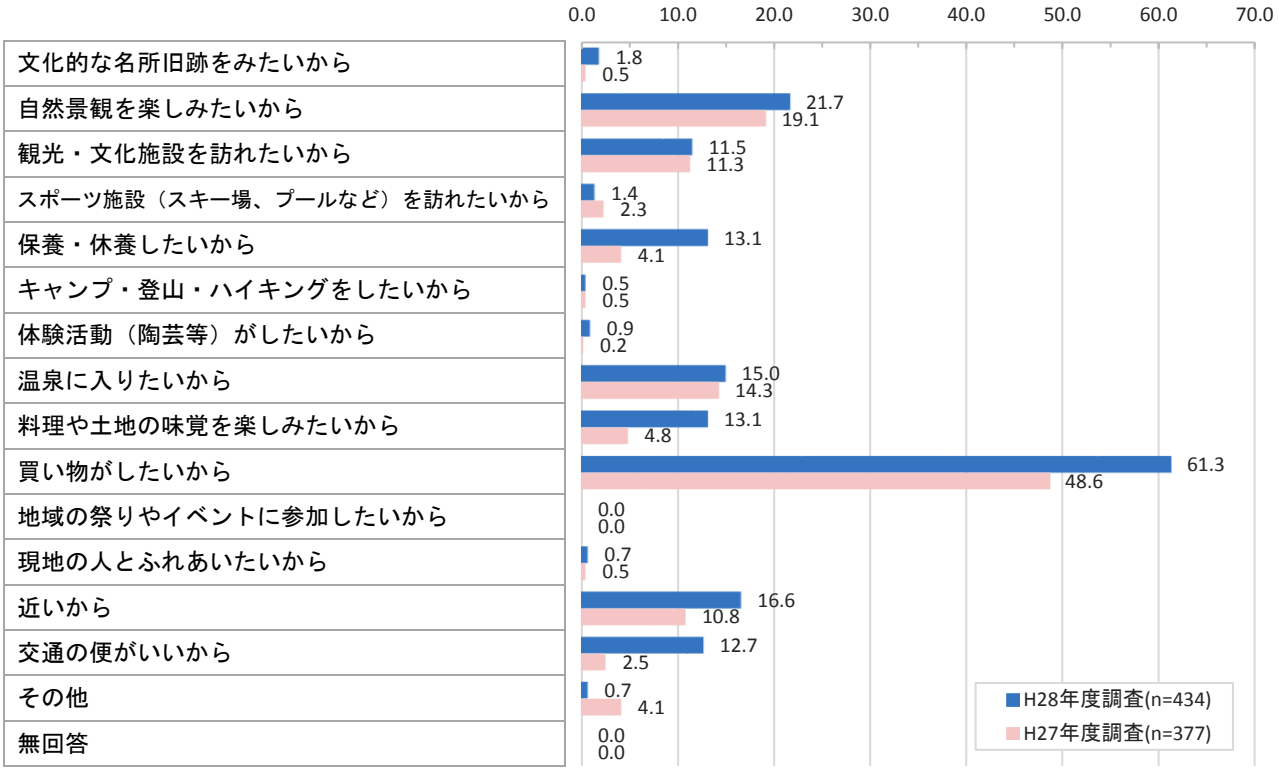




②過去調査との比較

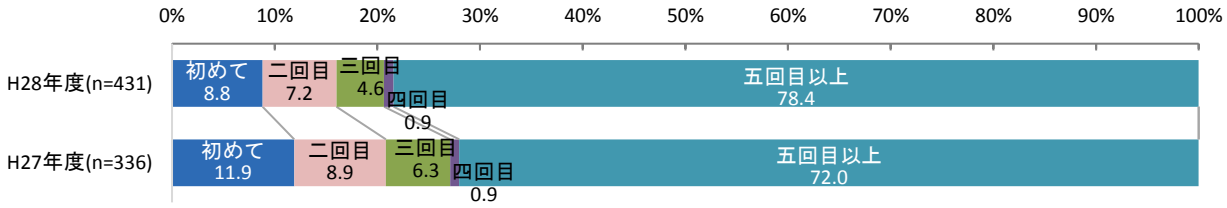
旅行先に選んだ理由は、平成 27 年度の調査では「買い物がしたい」が最も多く 48.6%であったが、平成 28 年度調査では 61.3%と 12.7 ポイント増加した。次いで「自然景観を楽しみたいから」が平成 27 年度の調査では 19.1%であったが、平成 28 年度調査では 21.7%と 2.6 ポイント増加した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



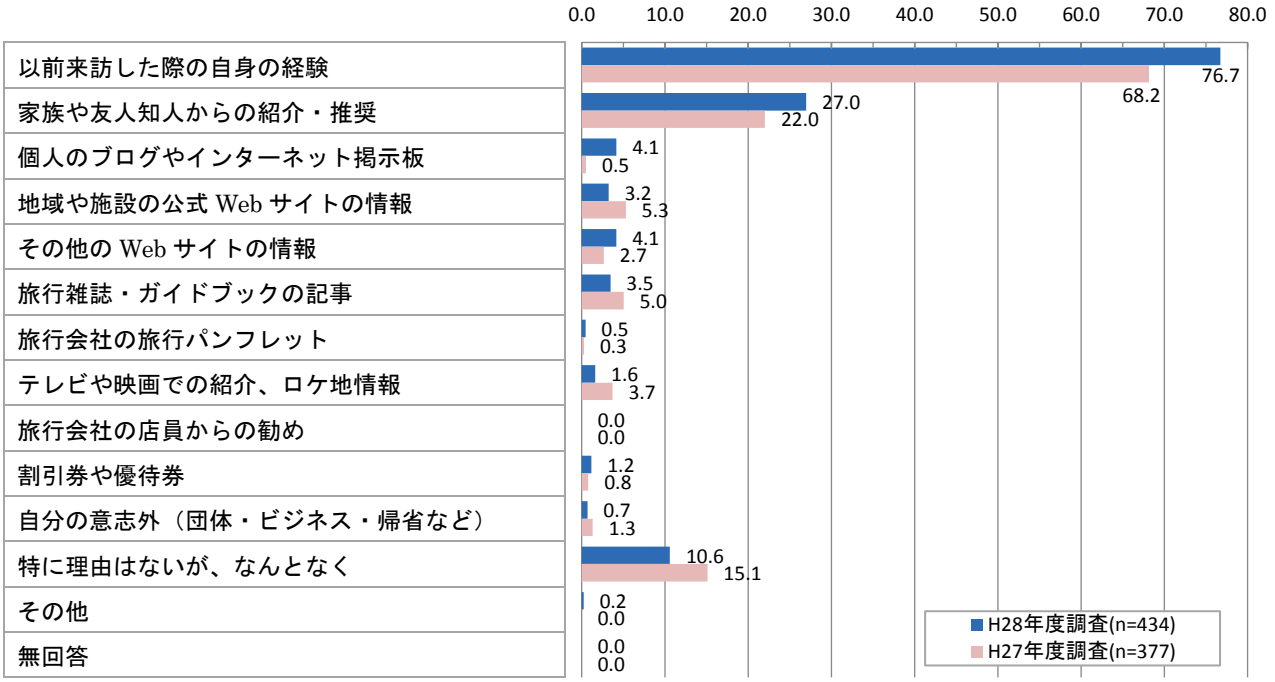
周辺地域周辺への来訪回数は、「初めて」が平成 27 年度調査では 11.9%であったが、平成 28 年度調査では 8.8%と 3.1 ポイント減少した。一方「五回目以上」が平成 27 年度調査では 72.0%であったが、平成 28 年度調査では 78.4%と 6.4 ポイント増加した。

調査地域周辺への来訪回数　※周辺住民を除く



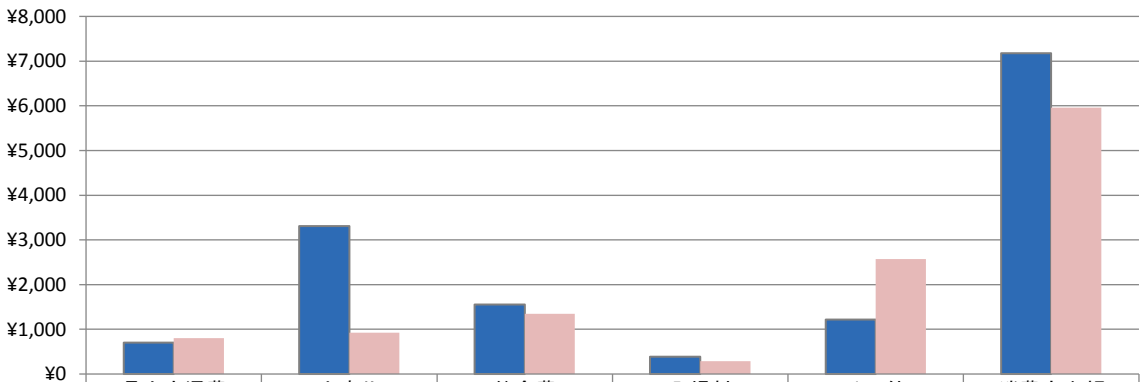
旅行先に選んだ情報源は、平成 27 年度調査では「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く 68.2%であったが、平成 28 年度調査では 76.7%と 8.5 ポイント増加した。次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」は平成 27 年度調査では 22.0%であったが、平成 28 年度調査では 27.0%と 5.0 ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、平成 27 年度調査では 5,960 円であったが、平成 28 年度調査では 7,174 円に増加した。

消費支出（平均）

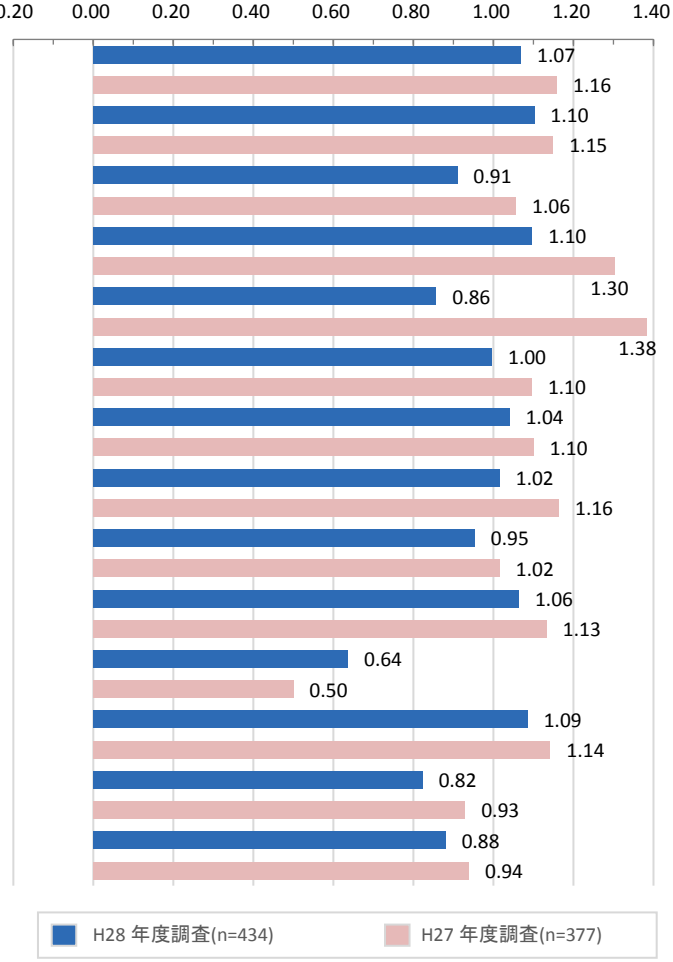


	県内交通費 H28(n=434) H27(n=377)	土産代 H28(n=434) H27(n=377)	飲食費 H28(n=434) H27(n=377)	入場料 H28(n=434) H27(n=377)	その他 H28(n=434) H27(n=377)	消費支出額 H28(n=434) H27(n=377)
H28年度調査	¥704	¥3,310	¥1,553	¥389	¥1,217	¥7,174
H27年度調査	¥800	¥924	¥1,344	¥289	¥2,570	¥5,960

総合満足度は、平成 27 年度調査では 1.16 であったが、平成 28 年度調査では 1.07 と 0.09 ポイント減少した。満足度を項目別にみると、平成 27 年度調査では「観光施設　体験活動」が 1.38 で最も高かったが、平成 28 年度調査では「景観　自然景観や雰囲気」「観光施設　観光施設」がともに 1.10 で最も高かった。

項目別満足度（加重平均値）

総合満足度	H28 年度調査		(n=434)
	H27 年度調査		(n=377)
①景観	自然景観や雰囲気	H28	(n=361)
		H27	(n=355)
	街並みの景観や雰囲気	H28	(n=344)
		H27	(n=355)
③観光施設	観光施設	H28	(n=341)
		H27	(n=301)
	体験活動	H28	(n=35)
		H27	(n=60)
④食	食	H28	(n=269)
		H27	(n=271)
⑤土産	お土産	H28	(n=199)
		H27	(n=240)
⑥おもてなし	観光施設	H28	(n=324)
		H27	(n=275)
	飲食店	H28	(n=257)
		H27	(n=255)
	土産物店	H28	(n=173)
		H27	(n=233)
	交通事業者	H28	(n=11)
		H27	(n=18)
	地域住民	H28	(n=47)
		H27	(n=225)
⑦その他	地域内での移動	H28	(n=265)
		H27	(n=269)
	現地での観光情報･案内	H28	(n=75)
		H27	(n=147)



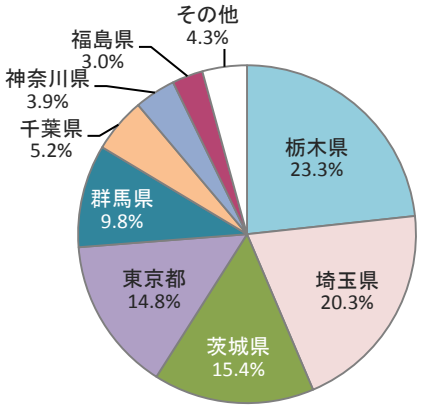
ⅱ.日光エリア

①平成 28 年度調査結果

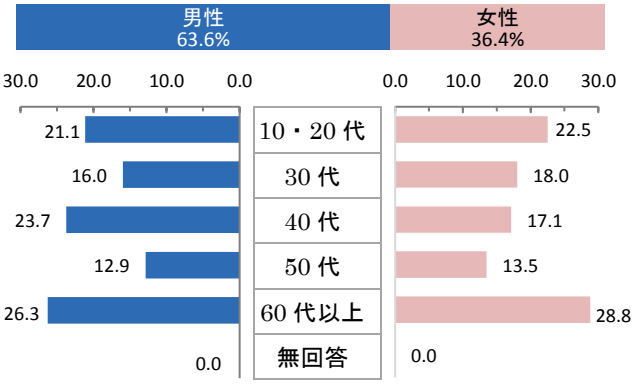
日帰り客（日光エリア）　　サンプル数：305

お住まいは「栃木県」が最も多く 23.3%、次いで「埼玉県」が 20.3%、「茨城県」が 15.4%であった。年代は、男女ともに「60 代以上」が最も多く「男性」が 26.3%、「女性」が 28.8%であった。
調査地域周辺への来訪回数は、「五回目以上」が 36.7%で最も多かった。
同行者数は「2 人」が 58.7%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 29.2%で最も多かった。

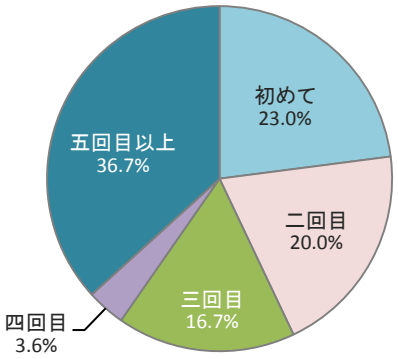
お住まい（n=305）



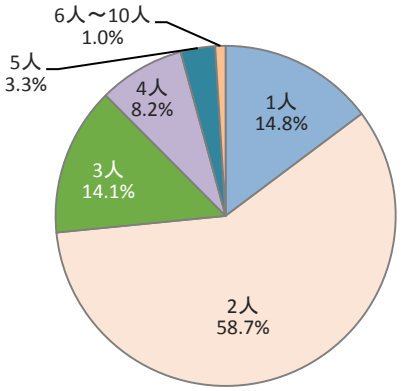
性別・年代（n=305）



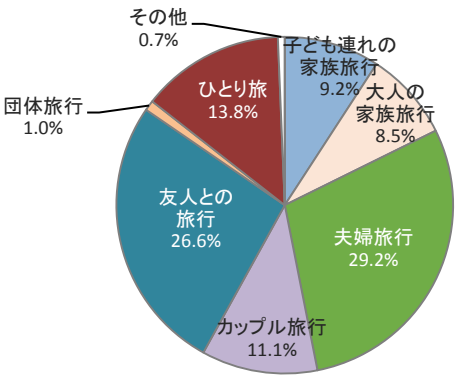
調査地域周辺への来訪回数（n=305）



同行人数 ※回答者を含む（n=305）

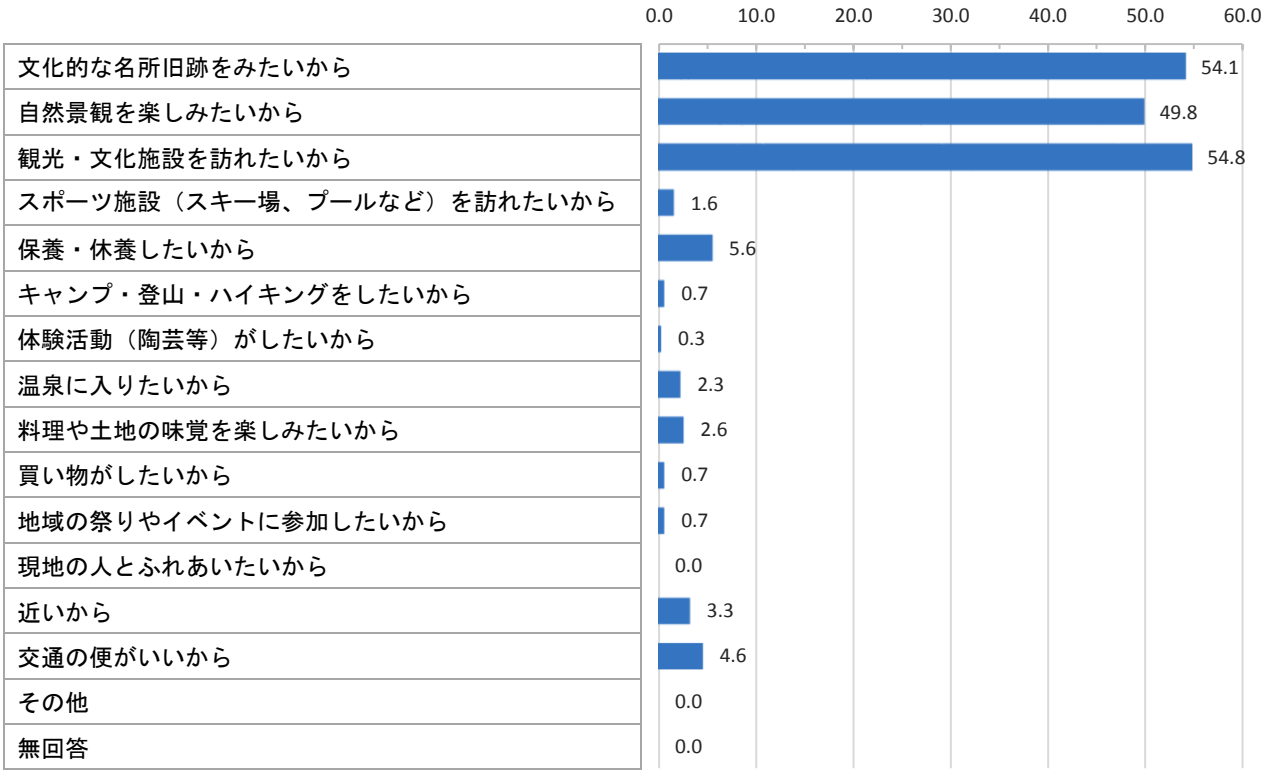


同行者の関係（n=305）



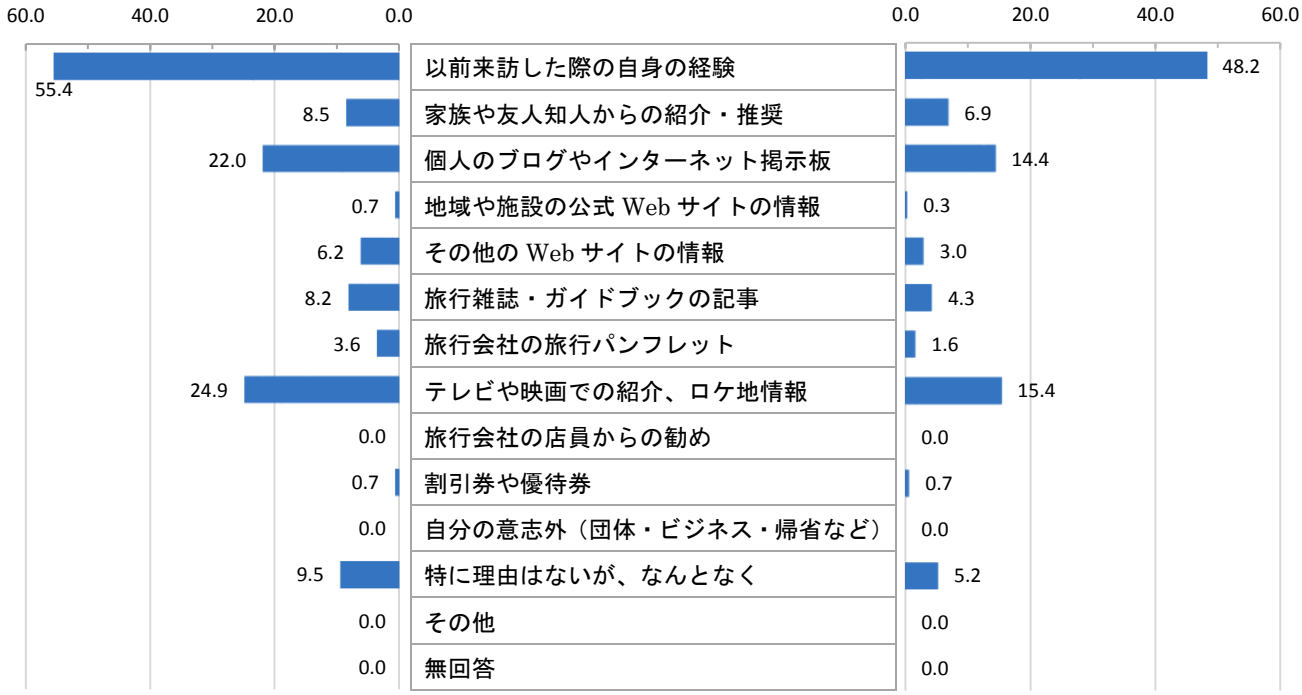
旅行先に選んだ理由は「観光・文化施設を訪れたいから」が 54.8%で最も多く、次いで「文化的な名所旧跡をみたいから」が 54.1%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が 55.4%で最も多く、決め手となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が 48.2%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=305）



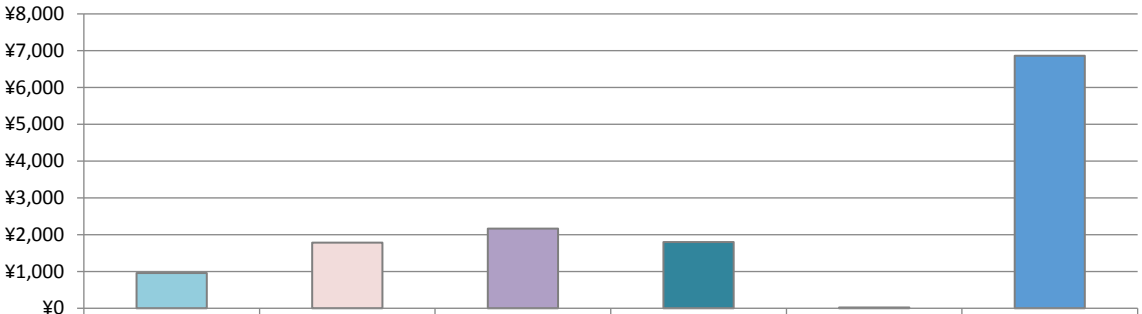
旅行先に選んだ情報源
（複数回答）（n=305）

“決め手”となった情報源
（単一回答）（n=305）



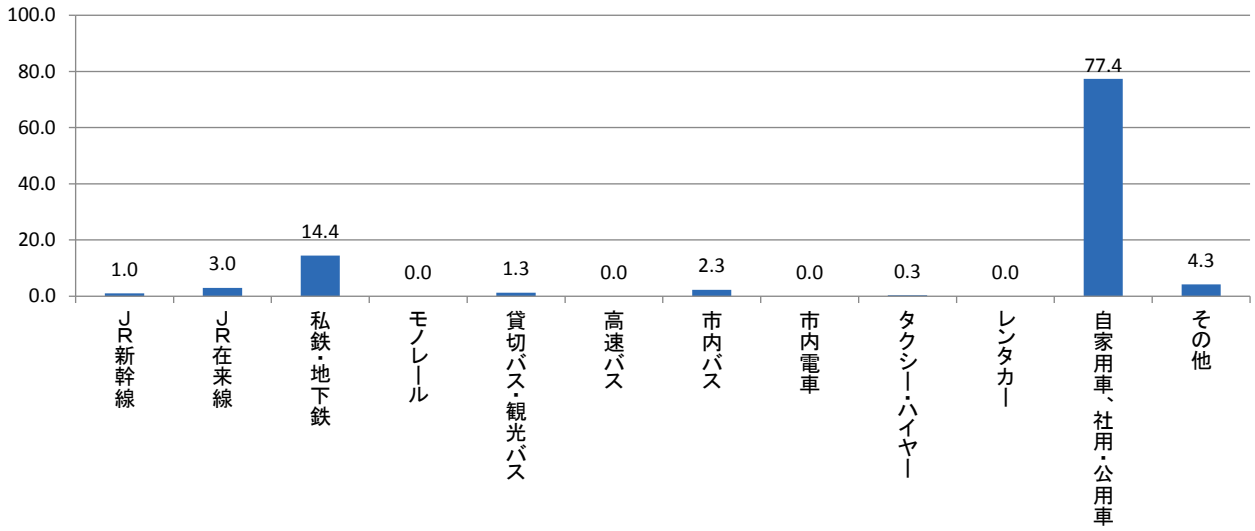
消費支出の平均は、総額で 6,867 円であった。内訳は、「飲食費」が 2,165 円で最も多く、次いで「入場料」が 1,800 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 77.4%で最も多かった。
立ち寄り観光施設は、「二社一寺参拝者」が 53 人で最も多く、次いで「中禅寺湖」が 40 人であった。

消費支出（平均）



	県内交通費 (n=305)	土産代 (n=305)	飲食費 (n=305)	入場料 (n=305)	その他 (n=305)	消費支出額 (n=305)
消費支出（平均）	¥957	¥1,784	¥2,165	¥1,800	¥21	¥6,867

利用交通機関（複数回答）（n=305）



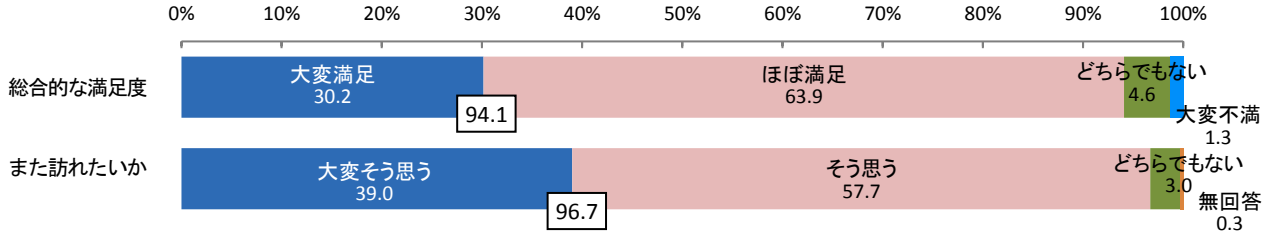
立ち寄り観光施設（n=305）※（　）内は施設に立ち寄った人数

那須	日光	県央
道の駅やいた(2)	日光江戸村(7)	大谷資料館(3)
那須ガーデンアウトレット(1)	鬼怒川温泉(4)	ろまんちっく村(1)
塩原温泉郷(1)	霧降の滝(3)	**県南**
日光	大笹牧場(1)	佐野プレミアム・アウトレット(6)
二社一寺参拝者(53)	船場亭(1)	
中禅寺湖(40)	二荒山神社中宮祠(1)	
華厳滝(16)	龍王峡(1)	
戦場ヶ原・小田代原(16)	足尾銅山観光(1)	
湯滝・湯の湖(14)	川俣温泉(1)	
日光湯元温泉(12)		

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
二社一寺（137）、華厳の滝（98）、東武ワールドスクウェア（70）

調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が 94.1%で 9 割を超えた。また訪れたいかは「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が 96.7%であった。

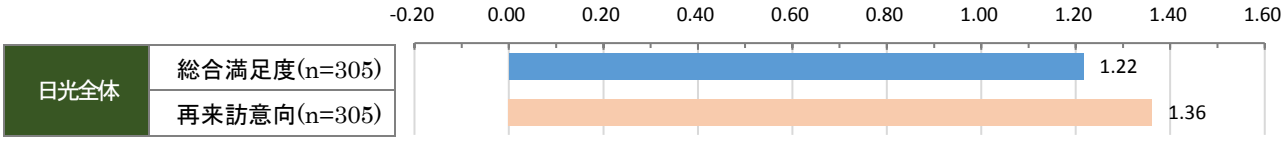
調査地域の総合満足度／再来訪意向（n=305）

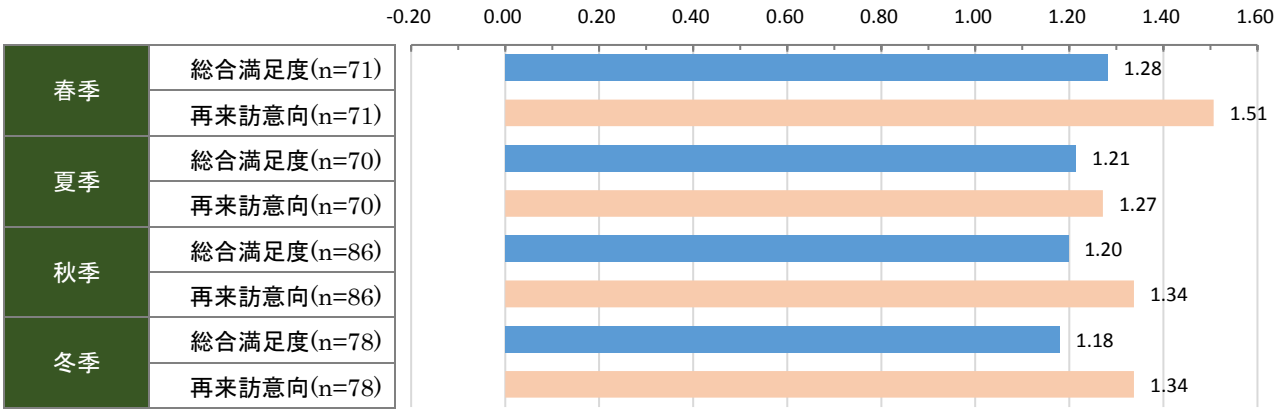


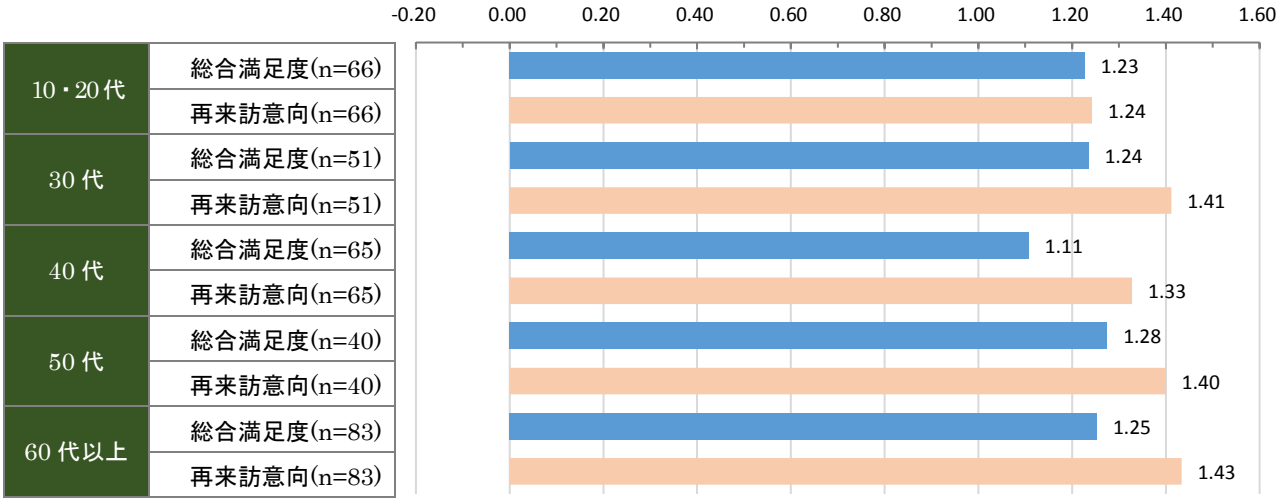
調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「春季」が 1.28 で最も高く、「夏季」「秋季」「冬季」はほぼ同様の傾向であった。また、再来訪意向も、「春季」が 1.51 で最も高く、「夏季」が 1.27 で最も低かった。

年代別にみると、総合満足度は「50 代」が 1.28 で最も高く、「40 代」が 1.11 で最も低かった。また、再来訪意向は「60 代以上」が 1.43 で最も高く、「10・20 代」が 1.24 で最も低かった。



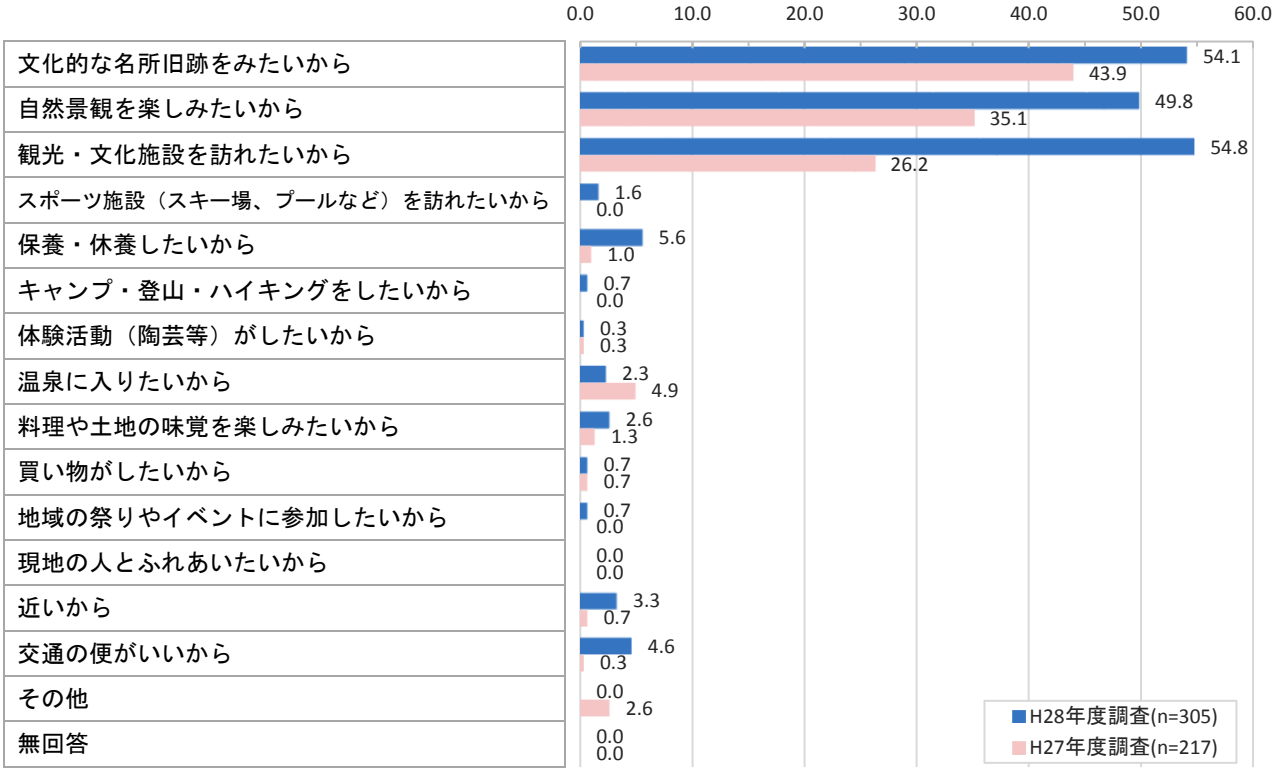




②過去調査との比較

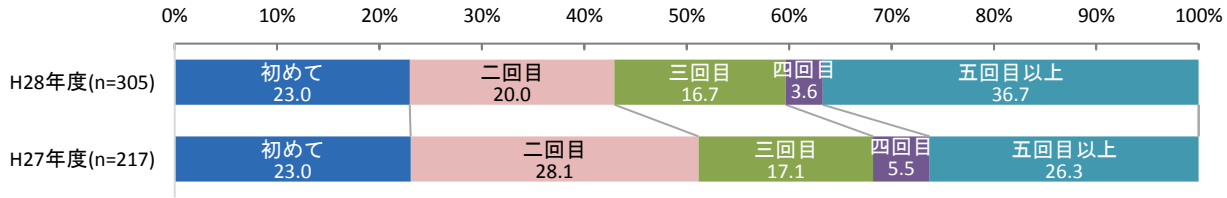
旅行先に選んだ理由は、「観光・文化施設を訪れたいから」が平成 28 年度調査では 54.8%と最も多く、平成 27 年度調査と比較して 28.6 ポイント増加した。次いで「文化的な名所旧跡をみたいから」が平成 28 年度調査では 54.1%と平成 27 年度と比較して 10.2 ポイント増加した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



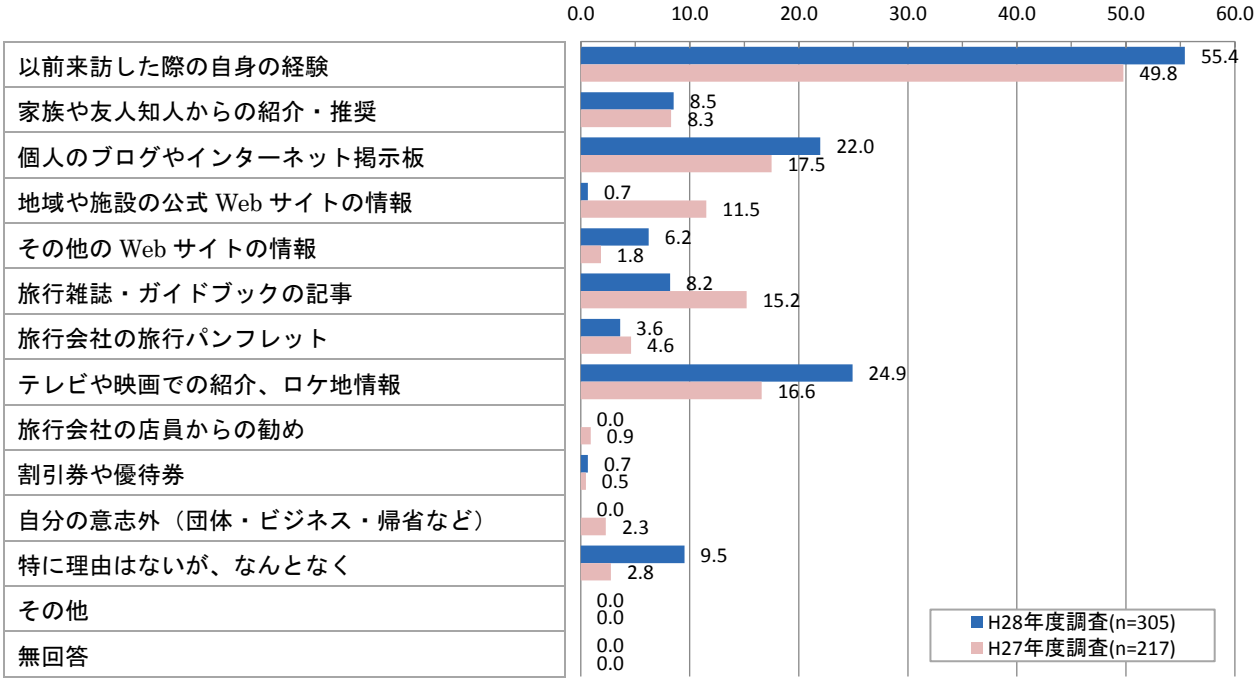
調査地域周辺への来訪回数は、「二回目」が平成 27 年度調査では 28.1%であったが、平成 28 年度調査では 20.0%と 8.1 ポイント減少した。一方「五回目以上」が平成 27 年度調査では 26.3%であったが、平成 28 年度調査では 36.7%と 10.4 ポイント増加した。

調査地域周辺への来訪回数　※周辺住民を除く



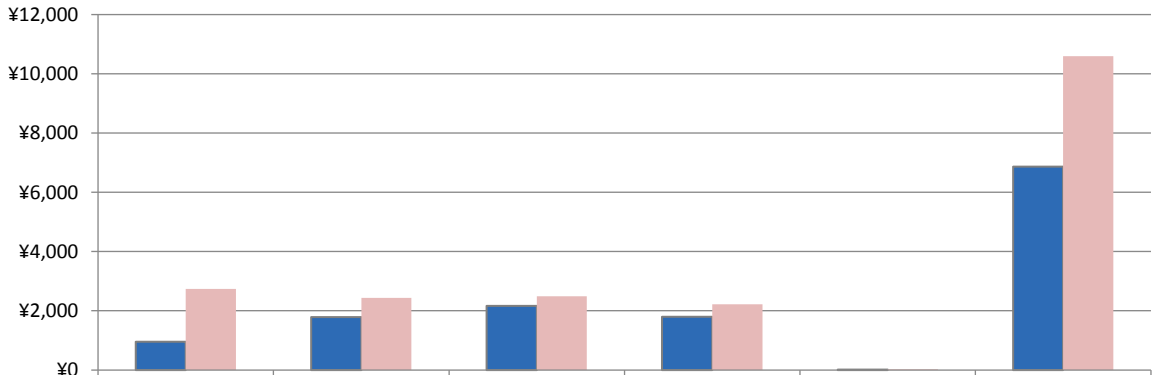
旅行先に選んだ情報源は、平成 27 年度調査では「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く 49.8%であったが、平成 28 年度調査では 55.4%と 5.6 ポイント増加した。また、「テレビや映画での紹介、ロケ地情報」は平成 27 年度調査では 16.6%であったが、平成 28 年度調査では 24.9%と 8.3 ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、平成 27 年度調査では 10,595 円であったが、平成 28 年度調査では 6,867 円に増加した。

消費支出（平均）

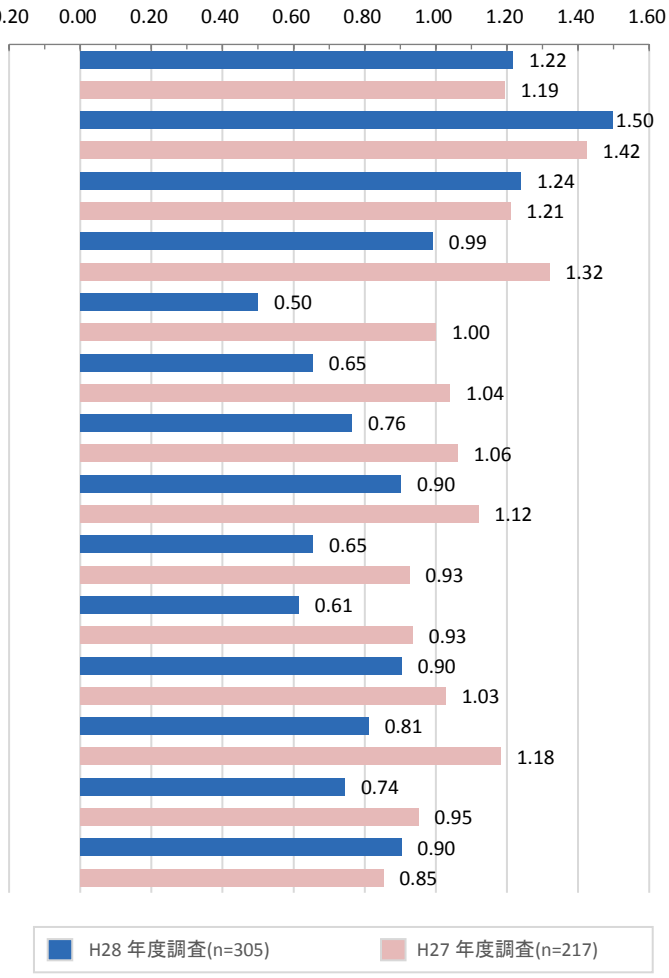


	県内交通費 H28(n=305) H27(n=217)	土産代 H28(n=305) H27(n=217)	飲食費 H28(n=305) H27(n=217)	入場料 H28(n=305) H27(n=217)	その他 H28(n=305) H27(n=217)	消費支出額 H28(n=305) H27(n=217)
H28年度調査	¥957	¥1,784	¥2,165	¥1,800	¥21	¥6,867
H27年度調査	¥2,738	¥2,442	¥2,491	¥2,226	¥31	¥10,595

総合満足度は、平成 27 年度調査では 1.19 であったが、平成 28 年度調査では 1.22 と 0.03 ポイント増加した。満足度を項目別にみると、平成 27 年度調査では「景観　自然景観や雰囲気」が 1.42 で最も高かったが、平成 28 年度調査でも 1.50 と最も高かった。

項目別満足度（加重平均値）

総合満足度	H28 年度調査		(n=305)
	H27 年度調査		(n=217)
①景観	自然景観や雰囲気	H28	(n=303)
		H27	(n=217)
	街並みの景観や雰囲気	H28	(n=293)
		H27	(n=215)
③観光施設	観光施設	H28	(n=229)
		H27	(n=188)
	体験活動	H28	(n=6)
		H27	(n=6)
④食	食	H28	(n=153)
		H27	(n=125)
⑤土産	お土産	H28	(n=106)
		H27	(n=82)
⑥おもてなし	観光施設	H28	(n=215)
		H27	(n=176)
	飲食店	H28	(n=171)
		H27	(n=121)
	土産物店	H28	(n=109)
		H27	(n=92)
	交通事業者	H28	(n=52)
		H27	(n=37)
	地域住民	H28	(n=37)
		H27	(n=22)
⑦その他	地域内での移動	H28	(n=262)
		H27	(n=203)
	現地での観光情報・案内	H28	(n=134)
		H27	(n=203)



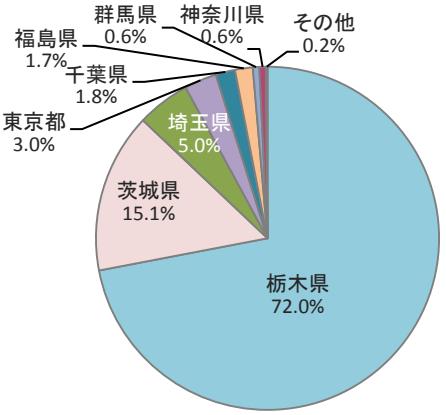
iii.県央エリア

①平成 28 年度調査結果

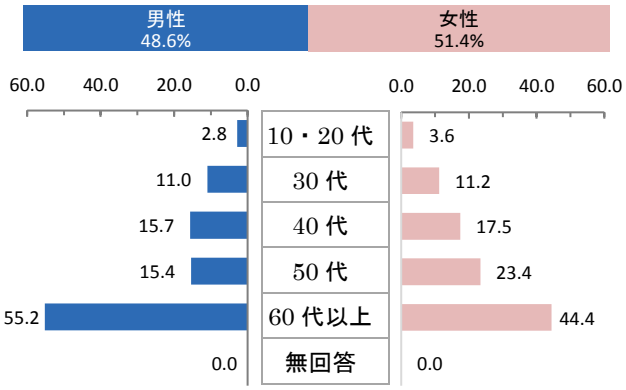
日帰り客（県央エリア）　　サンプル数：657

お住まいは「栃木県」が最も多く 72.0%、次いで「茨城県」が 15.1%、「埼玉県」が 5.0%であった。
年代は、男女ともに「60 代以上」が最も多く、「男性」が 55.2%、「女性」が 44.4%であった。
調査地域周辺への来訪回数は、「五回目以上」のリピーターが 78.6%で最も多かった。
同行者数は「2 人」が 58.8%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 46.0%で最も多かった。

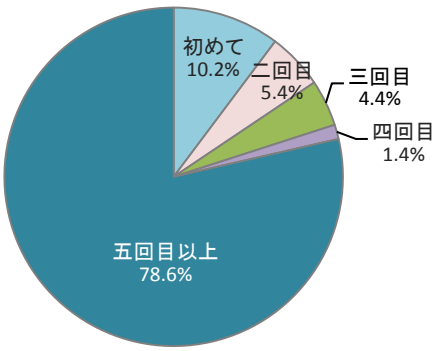
お住まい（n=657）



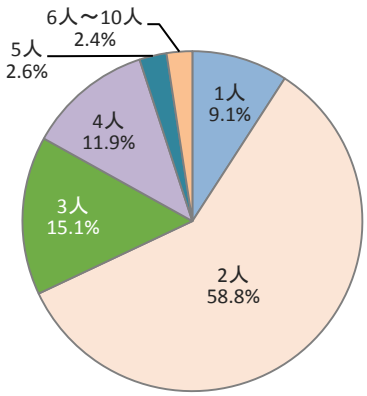
性別・年代（n=657）



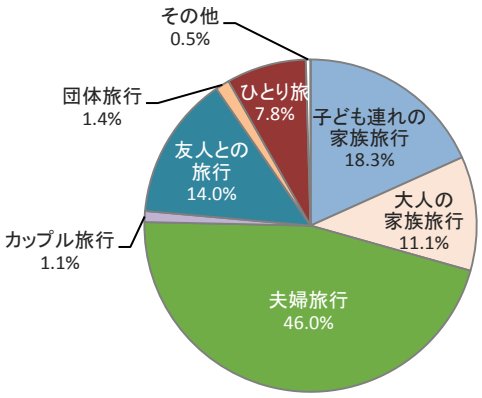
調査地域周辺への来訪回数（n=654）



同行者数 ※回答者を含む（n=657）

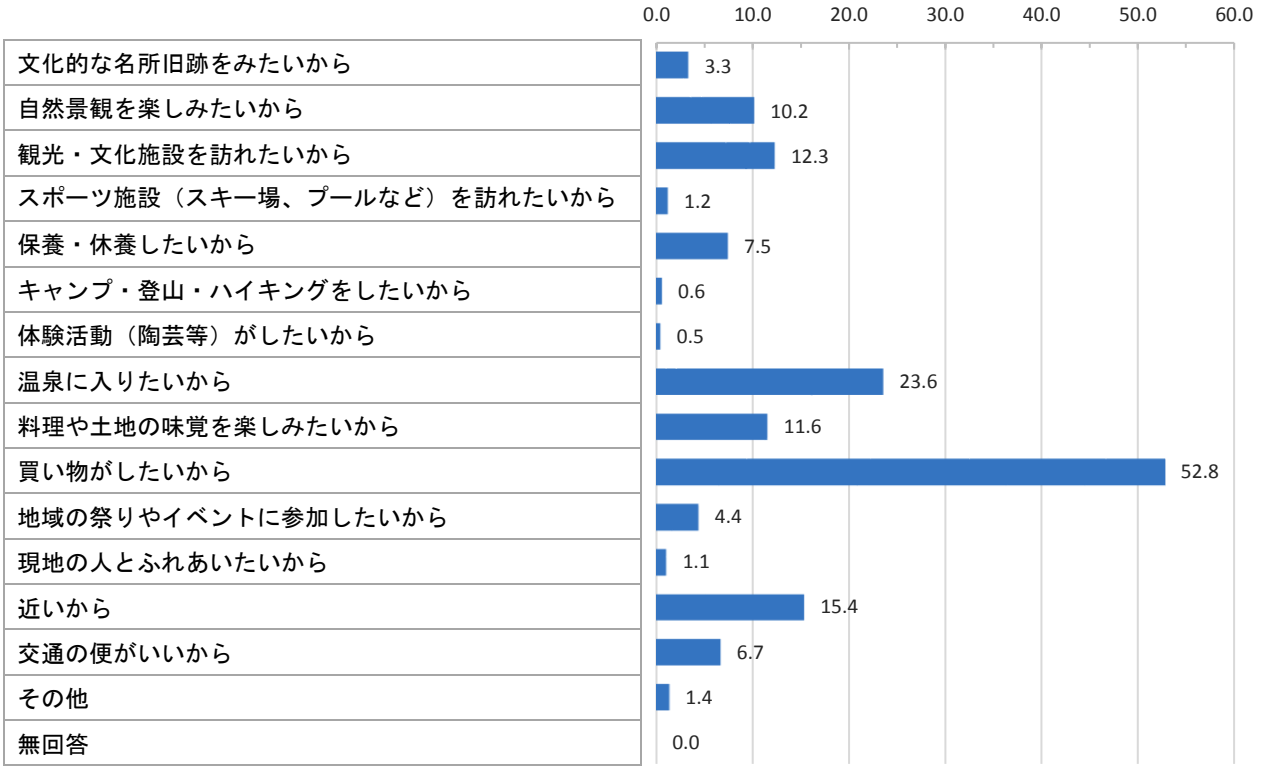


同行者の関係（n=657）



旅行先に選んだ理由は「買い物がしたいから」が 52.8%で最も多く、次いで「温泉に入りたいから」が 23.6%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が 74.7%で最も多く、決め手となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が 71.5%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=527）

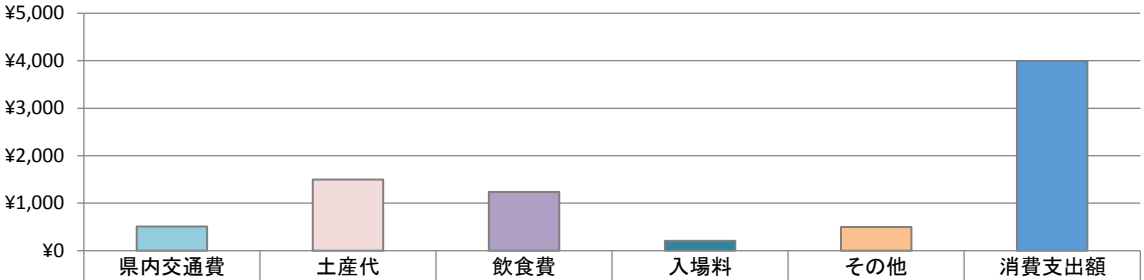


旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=657）

“決め手”となった情報源（単一回答）（n=657）

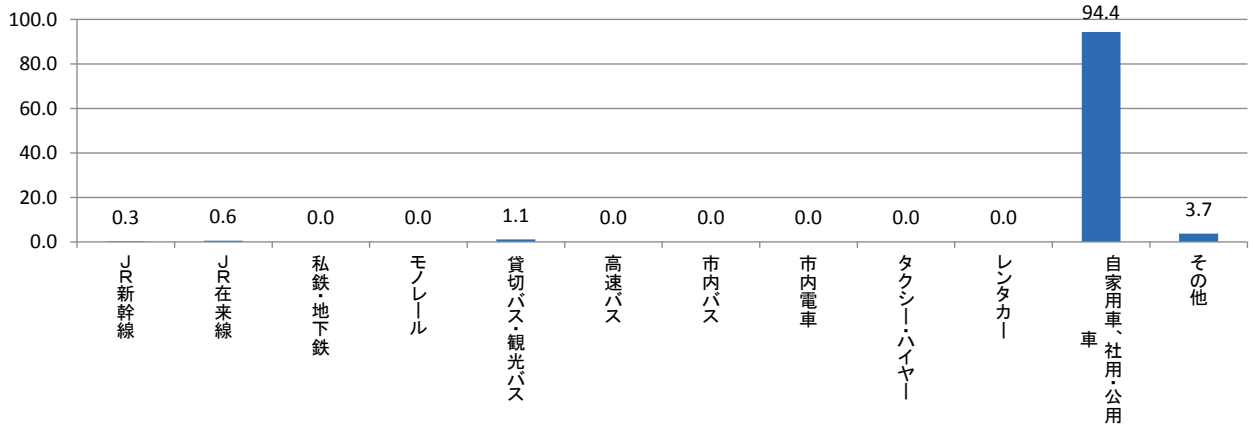
消費支出の平均は、総額で 3,996 円であった。内訳は、「土産代」が 1,498 円で最も多く、次いで「飲食費」が 1,237 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 94.4%で最も多かった。
立ち寄り観光施設は、「栃木県なかがわ水遊園」が 18 人で最も多く、次いで「道の駅那須与一の郷」が 13 人であった。

消費支出（平均）



	県内交通費 (n=657)	土産代 (n=657)	飲食費 (n=657)	入場料 (n=657)	その他 (n=657)	消費支出額 (n=657)
消費支出（平均）	¥509	¥1,498	¥1,237	¥208	¥499	¥3,996

利用交通機関（複数回答）（n=657）



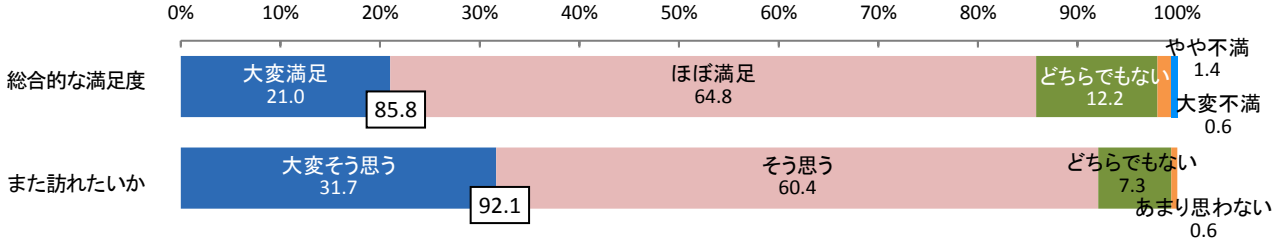
立ち寄り観光施設（n=657）※（　）内は施設に立ち寄った人数

那須	那須	県央
栃木県なかがわ水遊園(18)	馬頭広重美術館(1)	ろまんちっく村(1)
道の駅那須与一の郷(13)	日光	宇都宮動物園(1)
那須ガーデンアウトレット(9)	二社一寺参拝者(6)	花木センター(1)
塩原温泉郷(8)	中禅寺湖(2)	元気あっぷむら(1)
くろばね紫陽花まつり(7)	日光おかき工房(1)	高瀬観光やな(1)
東山道伊王野(5)	日光湯元温泉(1)	県東
鹿の湯(5)	華厳滝(1)	道の駅もてぎ(7)
道の駅やいた(3)	足尾銅山観光(1)	友遊はが(4)
那須高原友愛の森(3)	湯西川温泉(2)	道の駅にのみや(1)
黒羽観光やな(2)	県央	益子焼(1)
千本松牧場(2)	大谷資料館(11)	道の駅サシバの里いちかい(1)
板室温泉郷(1)	道の駅きつれがわ(11)	県南
塩原カントリークラブ(1)	道の駅ばとう(8)	佐野プレミアム・アウトレット(2)
那須岳（茶臼岳）(1)	馬頭温泉郷(6)	道の駅どまんなかたぬま(1)
南ヶ丘牧場(1)	古峯神社(4)	道の駅　しもつけ(1)
那須どうぶつ王国(1)	早乙女温泉(3)	
那須ｶﾝﾄﾘｰｸﾗﾌﾞ(旧:那須ﾁｻﾝｶﾝﾄﾘｰｸﾗﾌﾞ)(1)	まほろばの湯湯親館(3)	
芦野温泉(1)	かんぽの宿　喜連川温泉(2)	

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
ろまんちっく村（192）、道の駅きつれがわ（258）、道の駅ばとう（207）

調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が 85.8%であった。
また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が 93.5%であった。

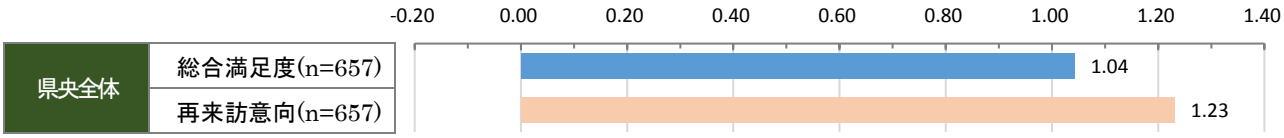
調査地域の総合満足度／再来訪意向（n=657）

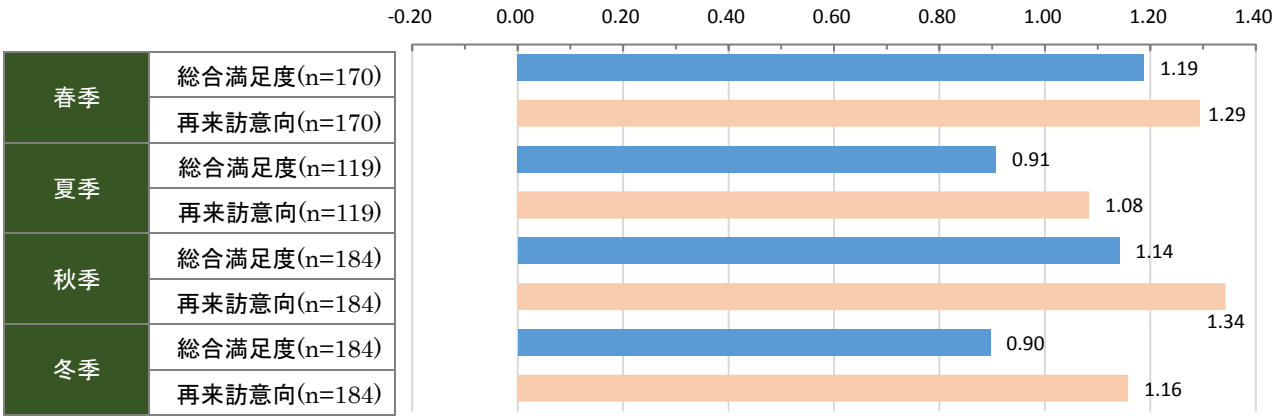


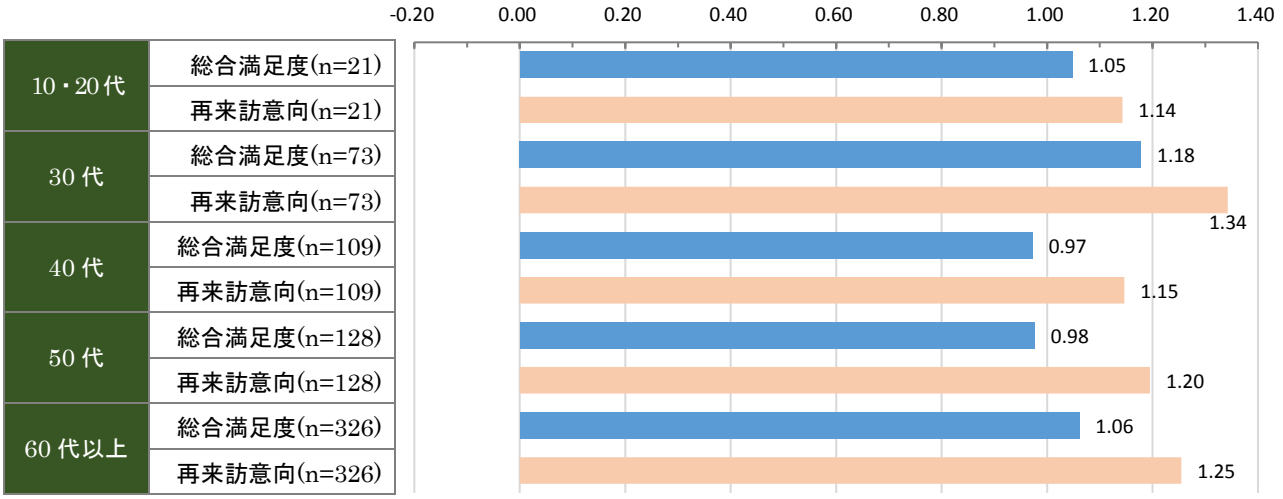
調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「春季」が 1.19 で最も高く、「夏季」「冬季」で低い傾向であった。また、再来訪意向は、「秋季」が 1.34 で最も高く、「夏季」が 1.08 で最も低かった。

年代別にみると、総合満足度は「30 代」が 1.18 で最も高く、「40 代」「50 代」で低い傾向にあった。また、再来訪意向については「30 代」が 1.34 で最も高く、「10・20 代」が 1.14 で最も低かった。



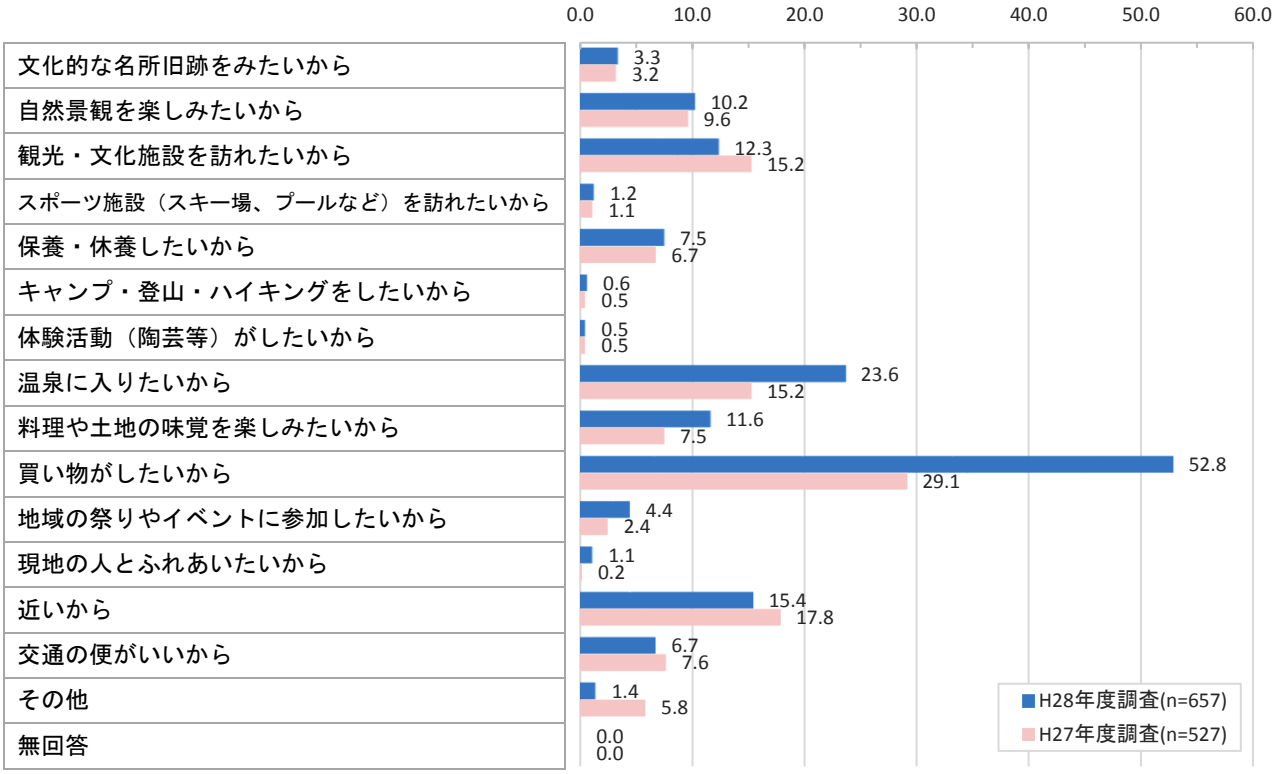




②過去調査との比較

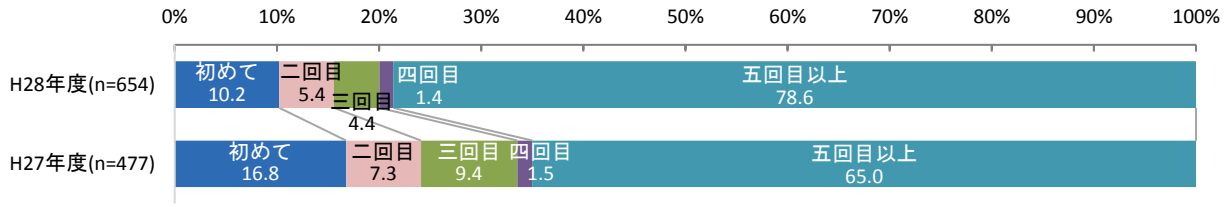
旅行先に選んだ理由は、平成 27 年度調査では「買い物がしたいから」が最も多く 29.1%であったが、平成 28 年度調査では 52.8%と 23.7 ポイント増加した。次いで「近いから」は平成 27 年度調査では 17.8%であったが、平成 28 年度調査では 15.4%と 2.4 ポイント減少した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



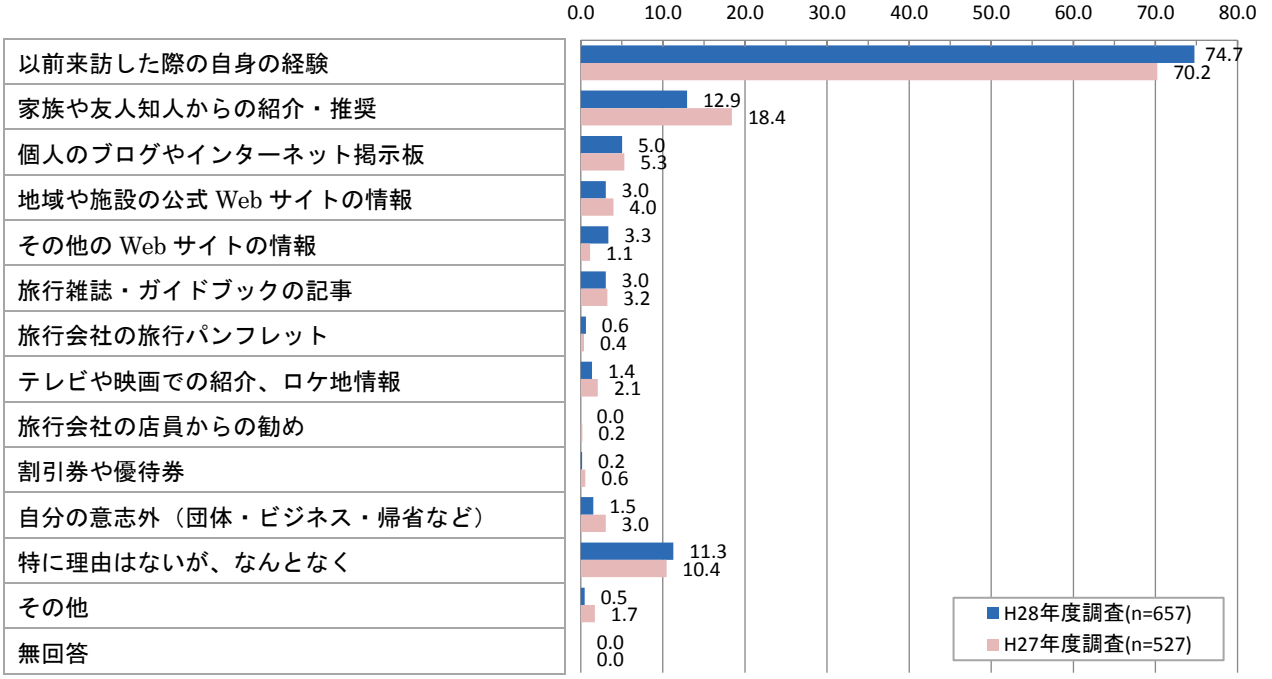
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が平成 27 年度調査では 16.8%であったが、平成 28 年度調査では 10.2%と 6.6 ポイント減少した。一方「五回目以上」が平成 27 年度調査では 65.0%であったが、平成 28 年度調査では 78.6%と 13.6 ポイント増加した。

調査地域周辺への来訪回数　※周辺住民を除く



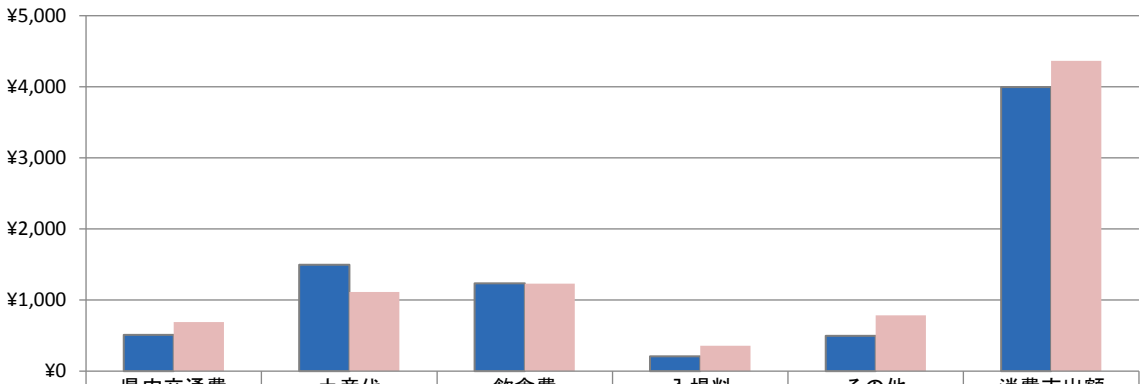
旅行先に選んだ情報源は、平成 27 年度調査では「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く 70.2%であったが、平成 28 年度調査では 74.7%と 4.5 ポイント増加した。次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」は平成 27 年度調査では 18.4%であったが、平成 28 年度調査では 12.9%と 5.9 ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、平成 27 年度調査では 4,363 円であったが、平成 28 年度調査では 3,996 円に減少した。

消費支出　総額

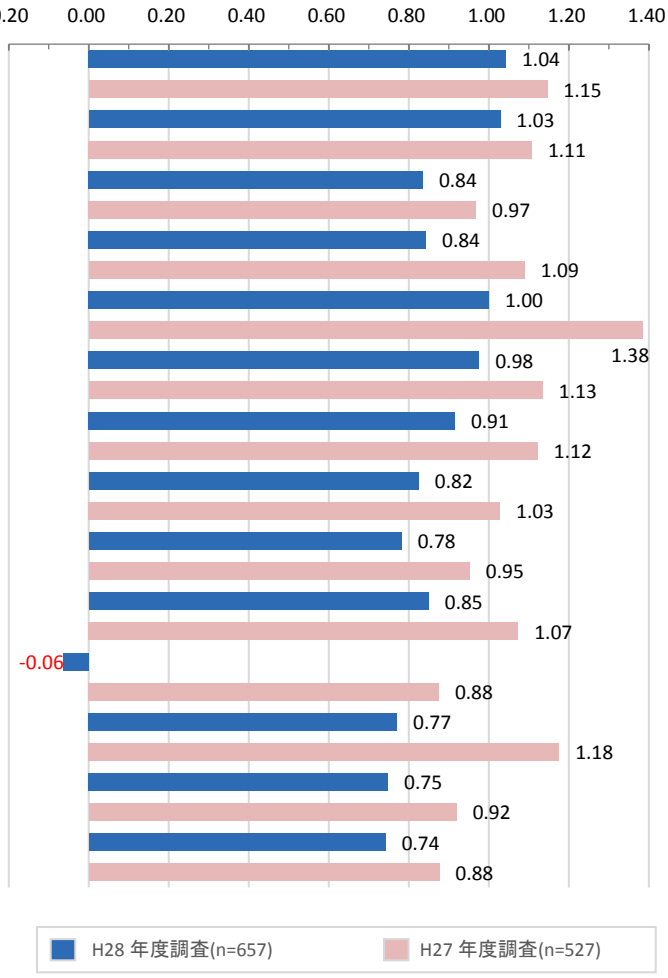


	県内交通費 H28(n=657) H27(n=527)	土産代 H28(n=657) H27(n=527)	飲食費 H28(n=657) H27(n=527)	入場料 H28(n=657) H27(n=527)	その他 H28(n=657) H27(n=527)	消費支出額 H28(n=657) H27(n=527)
H28年度調査	¥509	¥1,498	¥1,237	¥208	¥499	¥3,996
H27年度調査	¥689	¥1,116	¥1,232	¥358	¥783	¥4,363

総合満足度は、平成 27 年度調査では 1.15 であったが、平成 28 年度調査では 1.04 と 0.11 ポイント減少した。満足度を項目別にみると、平成 27 年度調査では「観光施設　体験活動」が 1.38 で最も高かったが、平成 28 年度調査では「景観　自然景観や雰囲気」が 1.03 で最も高かった。

項目別満足度（加重平均値）

総合満足度	H28 年度調査		(n=657)
	H27 年度調査		(n=527)
①景観	自然景観や雰囲気	H28	(n=625)
		H27	(n=503)
	街並みの景観や雰囲気	H28	(n=600)
		H27	(n=502)
③観光施設	観光施設	H28	(n=515)
		H27	(n=379)
	体験活動	H28	(n=19)
		H27	(n=39)
④食	食	H28	(n=373)
		H27	(n=342)
⑤土産	お土産	H28	(n=329)
		H27	(n=287)
⑥おもてなし	観光施設	H28	(n=411)
		H27	(n=325)
	飲食店	H28	(n=362)
		H27	(n=313)
	土産物店	H28	(n=319)
		H27	(n=273)
	交通事業者	H28	(n=16)
		H27	(n=8)
	地域住民	H28	(n=157)
		H27	(n=165)
⑦その他	地域内での移動	H28	(n=274)
		H27	(n=309)
	現地での観光情報・案内	H28	(n=182)
		H27	(n=234)



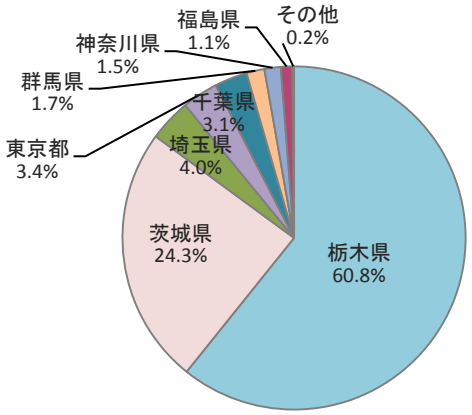
ⅳ.県東エリア

①平成 28 年度調査結果

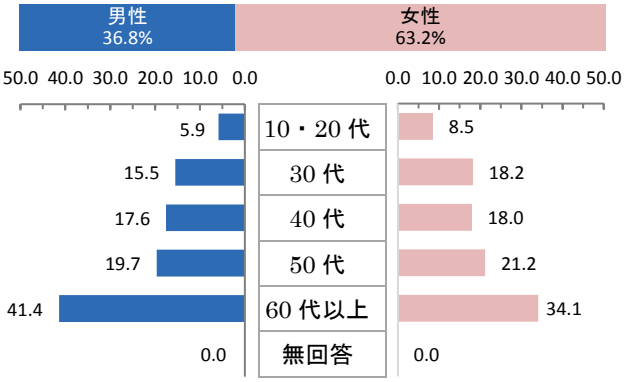
日帰り客（県東エリア）　　サンプル数：650

お住まいは「栃木県」が最も多く 60.8%、次いで「茨城県」が 24.3%、「埼玉県」が 4.0%であった。年代は、男女ともに「60 代以上」が最も多く、「男性」が 41.4%、「女性」が 34.1%であった。
調査地域周辺の来訪回数は、「五回目以上」のリピーターが 73.6%で最も多かった。
同行者数は「2 人」が 58.2%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」40.0%で最も多かった。

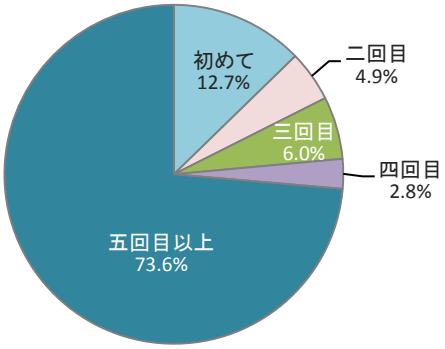
お住まい（n=650）



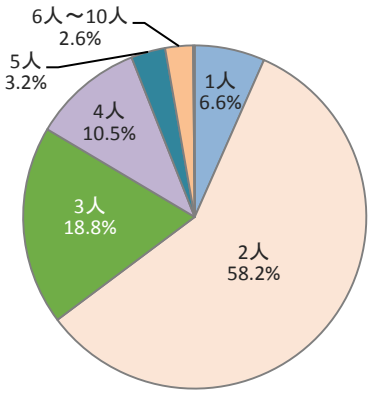
性別・年代（n=650）



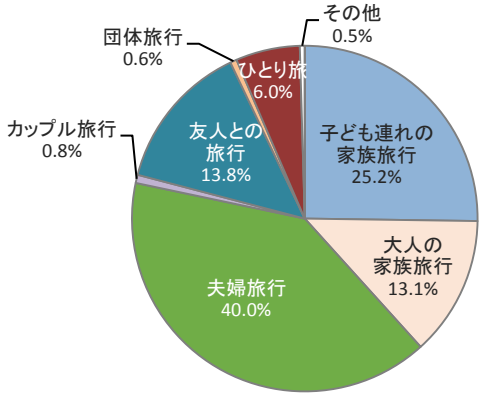
調査地域周辺への来訪回数（n=637）



同行人数 ※回答者を含む（n=650）

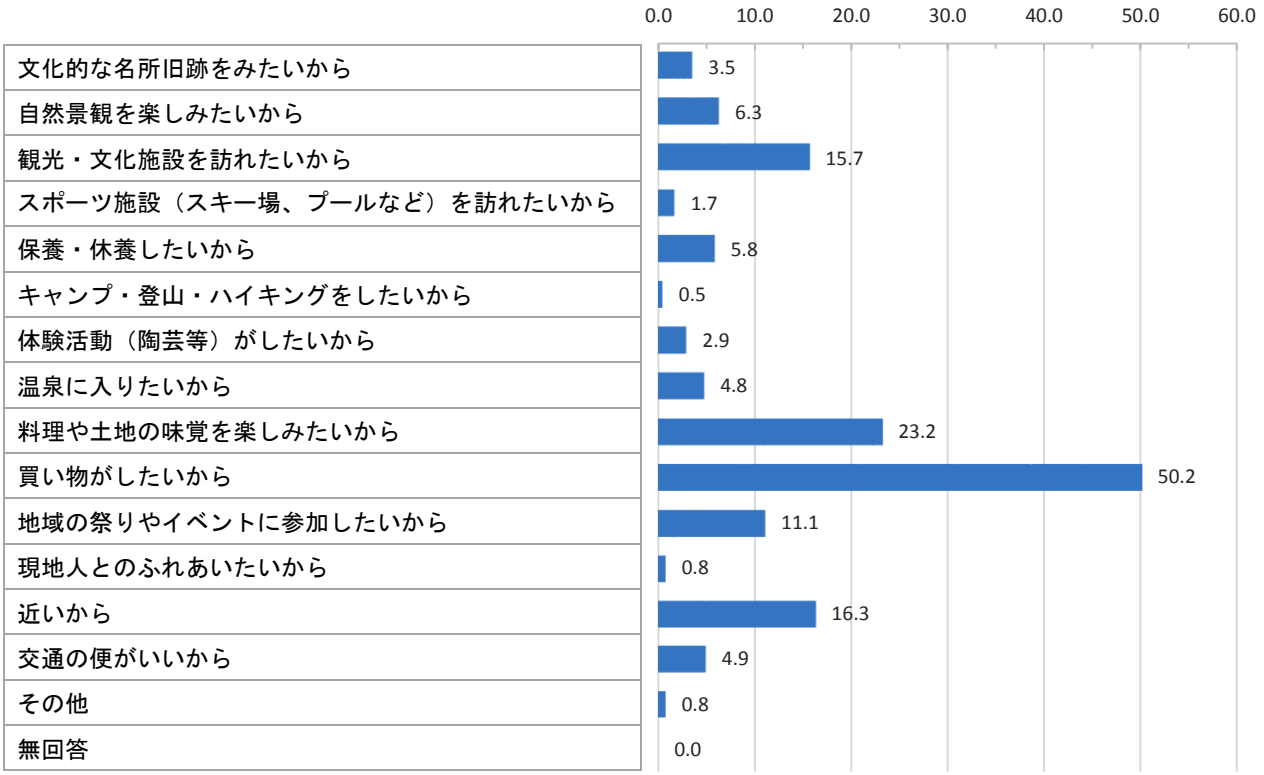


同行者の関係（n=650）



旅行先に選んだ理由は「買い物がしたいから」が 50.2%で最も多く、次いで「料理や土地の味覚を楽しみたいから」が 23.2%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が 64.9%で最も多く、決め手となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が 59.2%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=650）



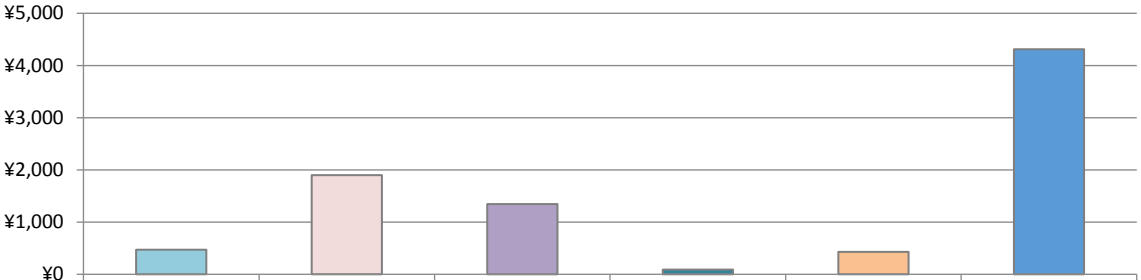
旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=650）

“決め手”となった情報源（単一回答）（n=650）

消費支出の平均は、総額で 4,314 円であった。内訳は、「土産代」が 1,899 円で最も多く、次いで「飲食費」が 1,345 円であった。利用交通機関は、「自家用車・社用・公用車」が 93.8%で最も多かった。

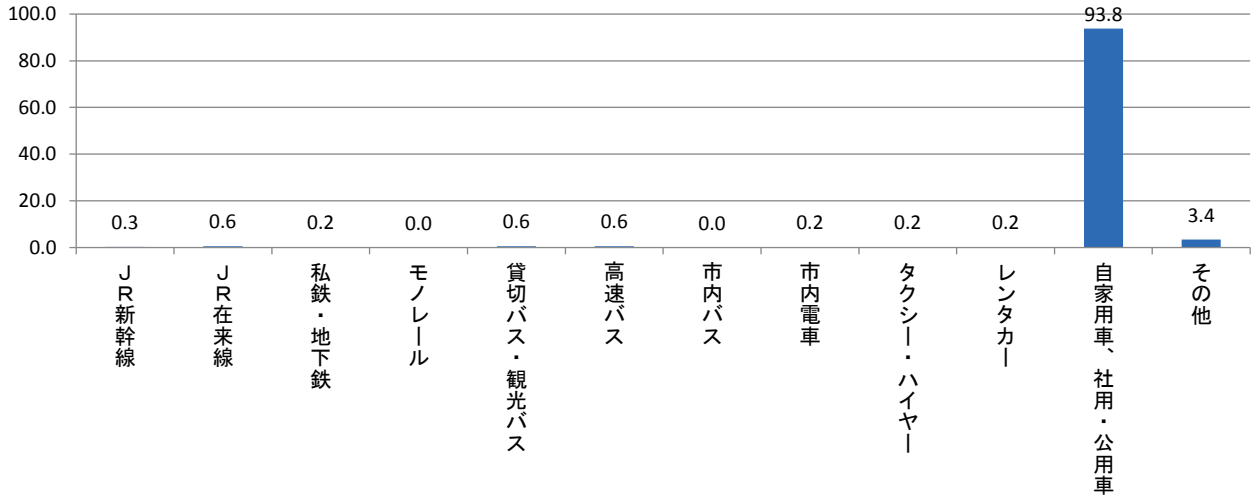
立ち寄り観光施設は、「道の駅サシバの里いちかい」が 26 人で最も多く、次いで「道の駅もてぎ」が 25 人であった。

消費支出（平均）



	県内交通費 (n=650)	土産代 (n=650)	飲食費 (n=650)	入場料 (n=650)	その他 (n=650)	消費支出額 (n=650)
消費支出（平均）	¥471	¥1,899	¥1,345	¥90	¥429	¥4,314

利用交通機関（複数回答）（n=650）



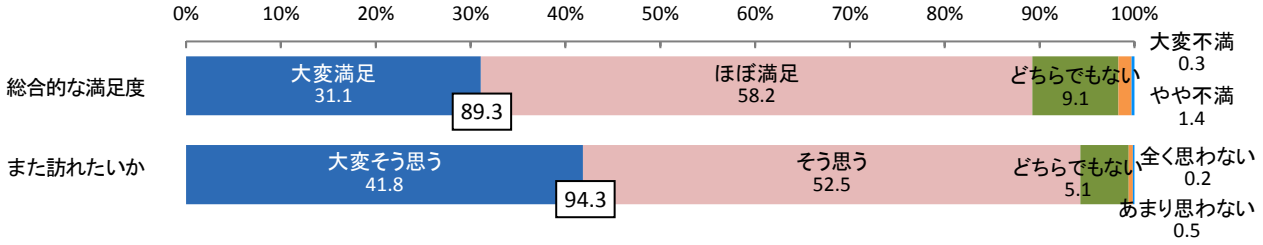
立ち寄り観光施設（n=650）※（　）内は施設に立ち寄った人数

那須	県東	県南
道の駅やいた(2)	道の駅サシバの里いちかい(26)	道の駅　しもつけ(1)
御亭山（キャンプ場含む）(1)	道の駅もてぎ(25)	
那須岳（茶臼岳）(1)	芳賀温泉ロマンの湯(11)	
那須ロープウェイ(1)	ツインリンクもてぎ(8)	
日光	益子焼(6)	
日光湯元温泉(1)	井頭公園(5)	
霧降の滝(1)	友遊はが(5)	
県央	陶芸メッセ・益子(4)	
道の駅きつれがわ(1)	大瀬観光やな(3)	
元気あっぷむら(1)	大前神社(2)	
道の駅ばとう(1)	真岡鐵道(1)	
うぐいすの森ゴルフクラブ(1)	陶器市（秋）(1)	

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
道の駅もてぎ（287）、陶芸メッセ益子（135）、道の駅はが（228）

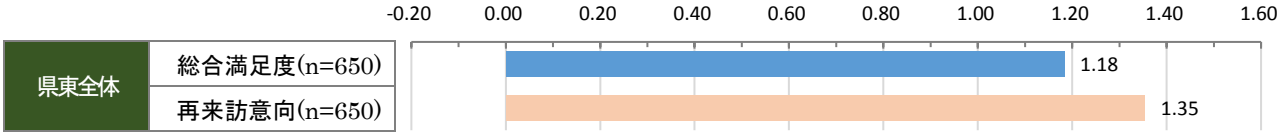
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が 89.3%であった。
また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が 94.3%であった。

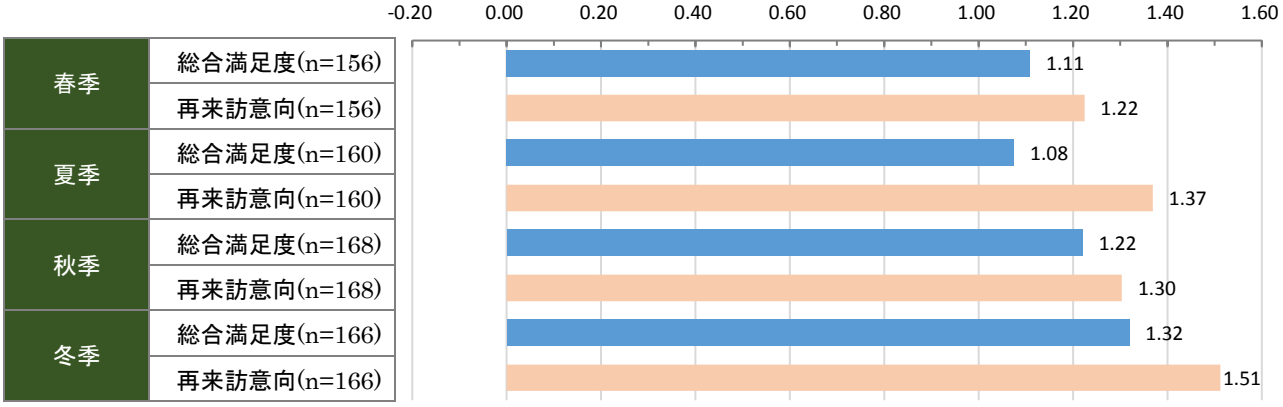
調査地域の総合満足度／再来訪意向（n=650）

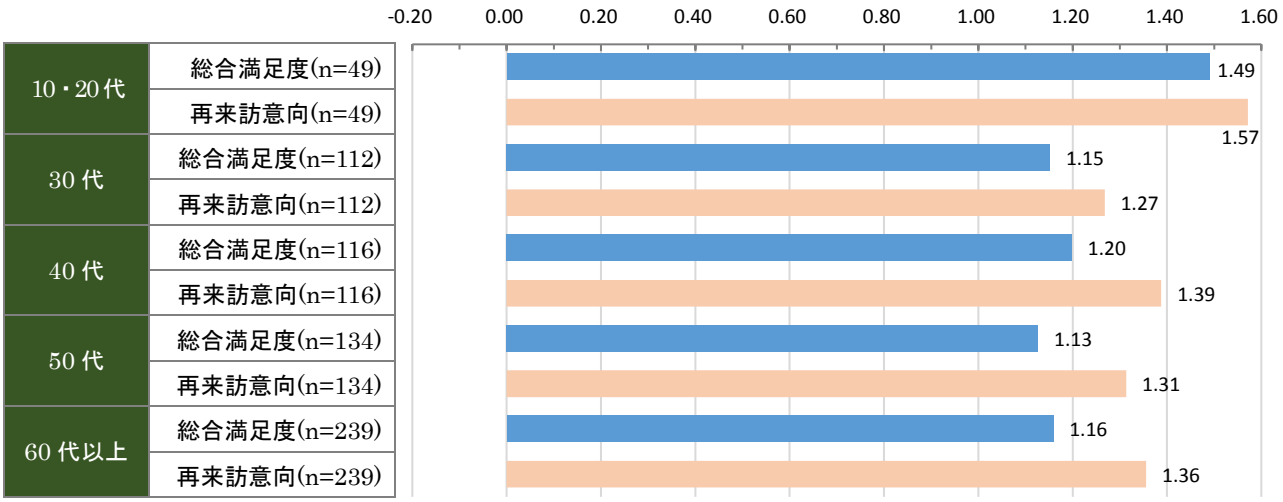


調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「冬季」が 1.32 で最も高く、「夏季」が 1.08 で最も低かった。
また、再来訪意向も、「冬季」が 1.51 で最も高く、「春季」が 1.22 で最も低かった。
年代別にみると、総合満足度は「10・20 代」が 1.49 で最も高く、「50 代」が 1.13 で最も低かった。
また、再来訪意向については、「10・20 代」が 1.57 で最も高く、「30 代」が 1.27 で最も低かった。



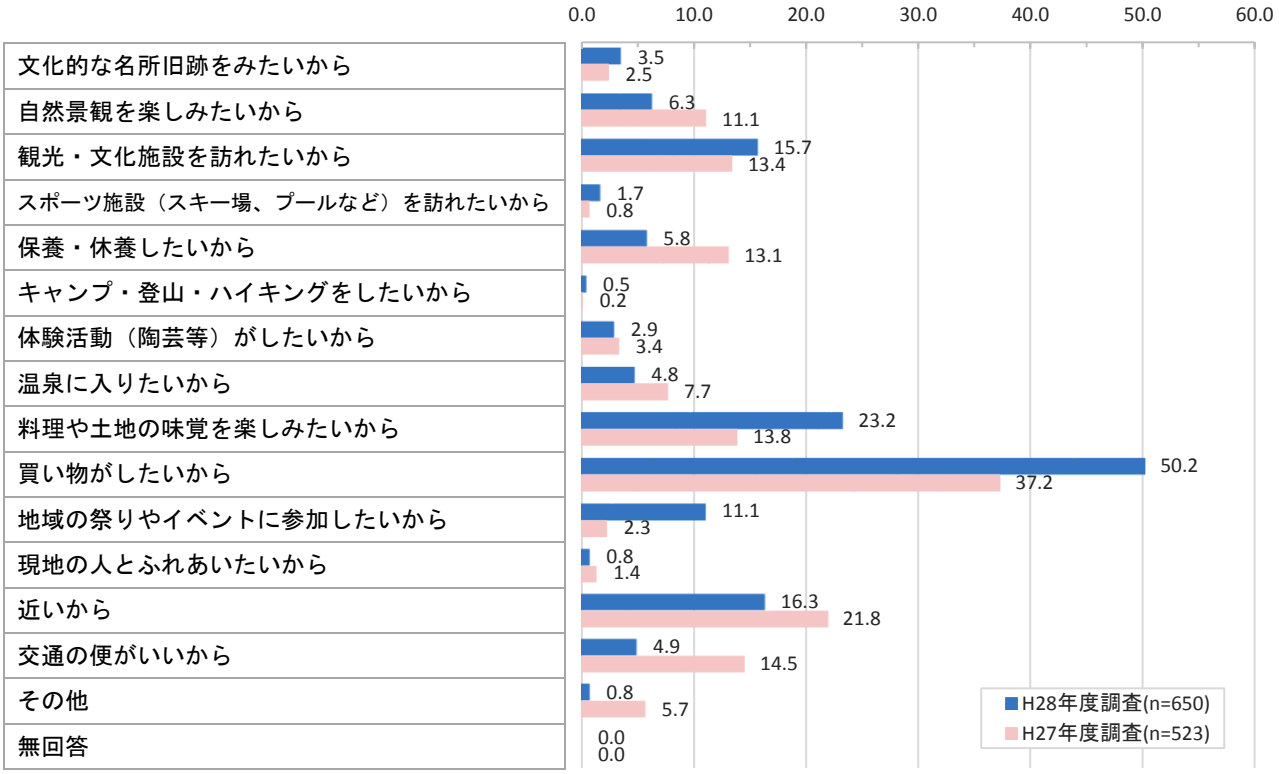




②過去調査との比較

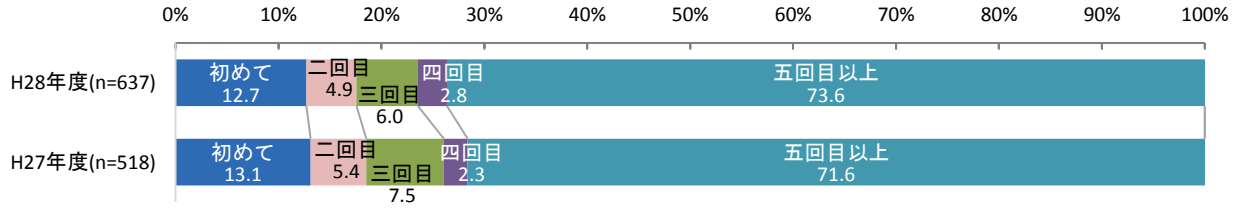
旅行先に選んだ理由は、平成 27 年度調査では「買い物がしたいから」が最も多く 37.2%であったが、平成 28 年度調査では 50.2%と 13.0 ポイント増加した。次いで「料理や土地の味覚を楽しみたい」は平成 27 年度調査では 13.8%であったが、平成 28 年度調査では 23.2%と 9.4 ポイント増加した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



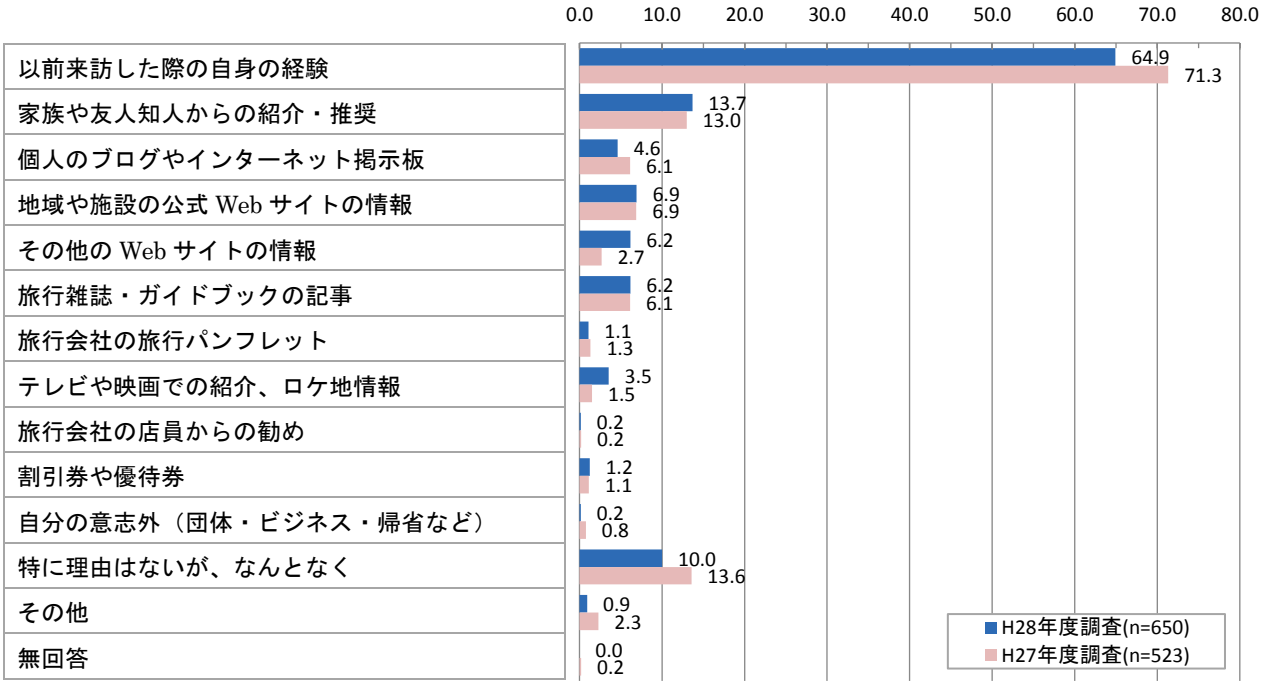
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が平成 27 年度調査では 13.1%であったが、平成 28 年度調査では 12.7%と 0.4 ポイント減少した。一方「五回目以上」が平成 27 年度調査では 71.6%であったが、平成 28 年度調査では 73.6%と 2.0 ポイント増加した。

調査地域周辺への来訪回数※周辺住民を除く



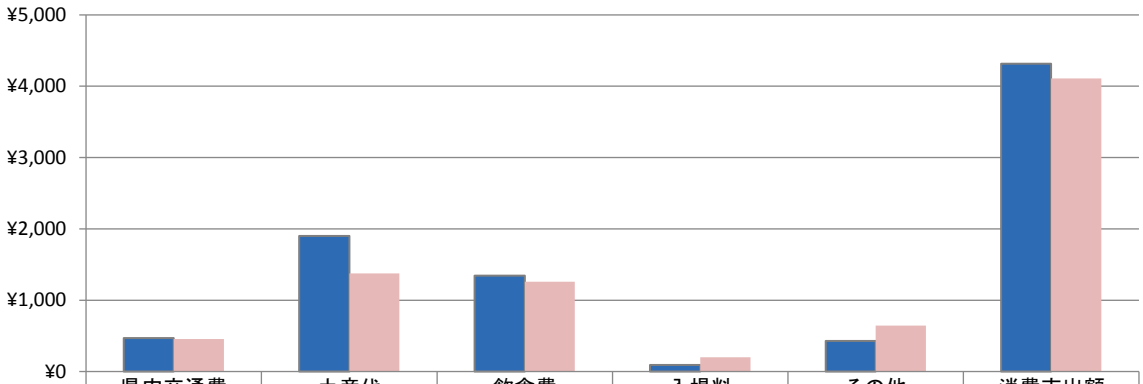
旅行先に選んだ情報源は、平成 27 年度調査では「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く 71.3%であったが、平成 28 年度調査では 64.9%と 6.4 ポイント減少した。次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」は平成 27 年度調査では 13.0%であったが、平成 28 年度調査では 13.7%と 0.7 ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、平成 27 年度調査では 4,110 円であったが、平成 28 年度調査では 4,314 円に増加した。

消費支出　総額

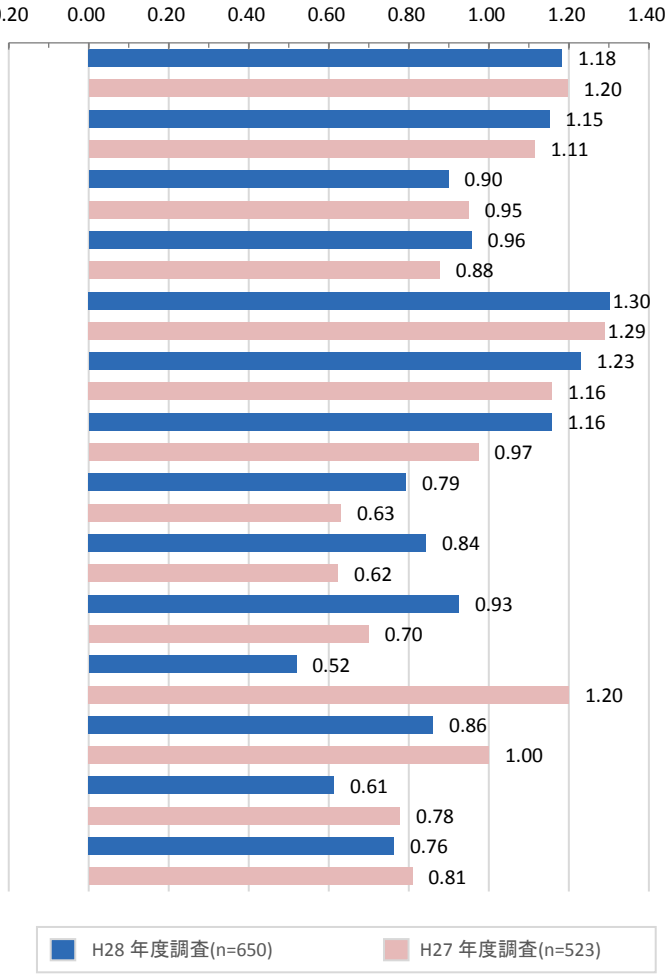


	県内交通費 H28(n=650) H27(n=523)	土産代 H28(n=650) H27(n=523)	飲食費 H28(n=650) H27(n=523)	入場料 H28(n=650) H27(n=523)	その他 H28(n=650) H27(n=523)	消費支出額 H28(n=650) H27(n=523)
H28年度調査	¥471	¥1,899	¥1,345	¥90	¥429	¥4,314
H27年度調査	¥455	¥1,374	¥1,257	¥200	¥646	¥4,110

総合満足度は、平成 27 年度調査では 1.20 であったが、平成 28 年度調査では 1.18 と 0.02 ポイント減少した。満足度を項目別にみると、平成 27 年度調査では「観光施設　体験活動」が 1.29 で最も高く、平成 28 年度調査でも 1.30 と最も高かった。

項目別満足度（加重平均値）

総合満足度	H28 年度調査		(n=650)
	H27 年度調査		(n=523)
①景観	自然景観や雰囲気	H28	(n=634)
		H27	(n=516)
	街並みの景観や雰囲気	H28	(n=633)
		H27	(n=512)
③観光施設	観光施設	H28	(n=534)
		H27	(n=276)
	体験活動	H28	(n=43)
		H27	(n=31)
④食	食	H28	(n=479)
		H27	(n=311)
⑤土産	お土産	H28	(n=319)
		H27	(n=152)
⑥おもてなし	観光施設	H28	(n=323)
		H27	(n=192)
	飲食店	H28	(n=368)
		H27	(n=260)
	土産物店	H28	(n=267)
		H27	(n=153)
	交通事業者	H28	(n=27)
		H27	(n=5)
	地域住民	H28	(n=229)
		H27	(n=34)
⑦その他	地域内での移動	H28	(n=284)
		H27	(n=72)
	現地での観光情報・案内	H28	(n=219)
		H27	(n=47)



v.県南エリア

①平成 28 年度調査結果

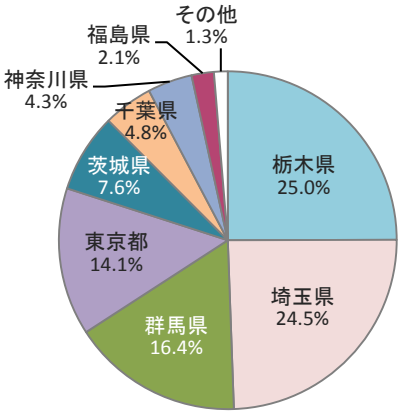
日帰り客（県南エリア）　　サンプル数：609

お住まいは「栃木県」が最も多く 25.0%、次いで「埼玉県」が 24.5%、「群馬県」が 16.4%であった。年代は、男女ともに「60 代以上」が最も多く「男性」が 39.7%、「女性」が 29.2%であった。

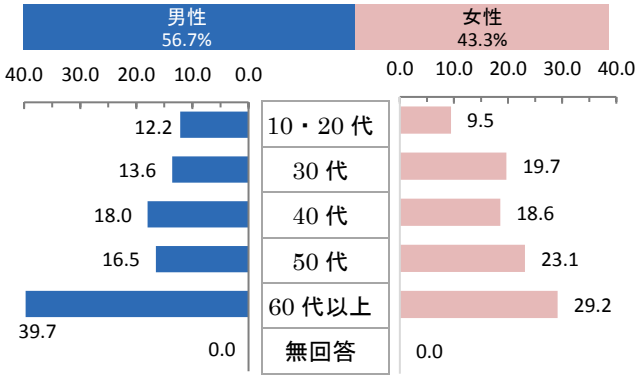
調査地域周辺への来訪回数は、「五回目以上」のリピーターが 41.1%で最も多く、次いで「初めて」が 31.5%であった。

同行者数は「2 人」が 51.9%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 30.5%で最も多かった。

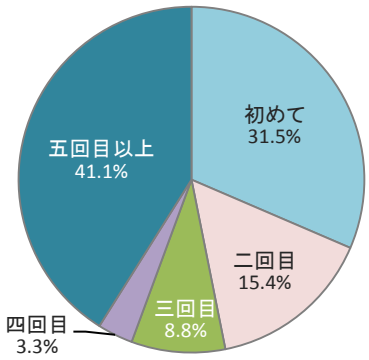
お住まい（n=609）



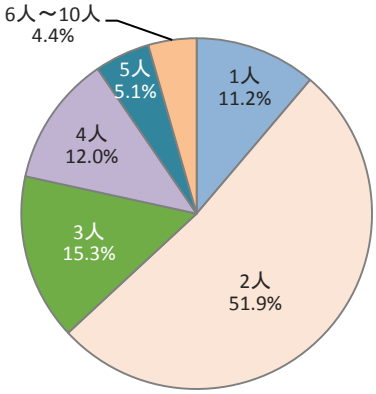
性別・年代（n=609）



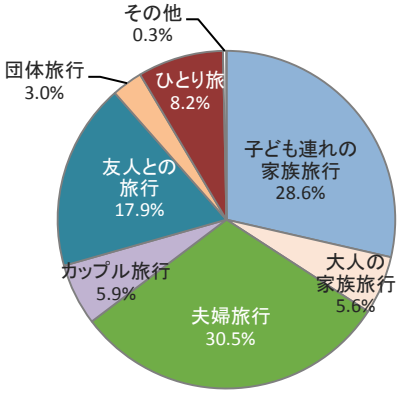
調査地域周辺への来訪回数（n=604）



同行者数 ※回答者を含む（n=609）

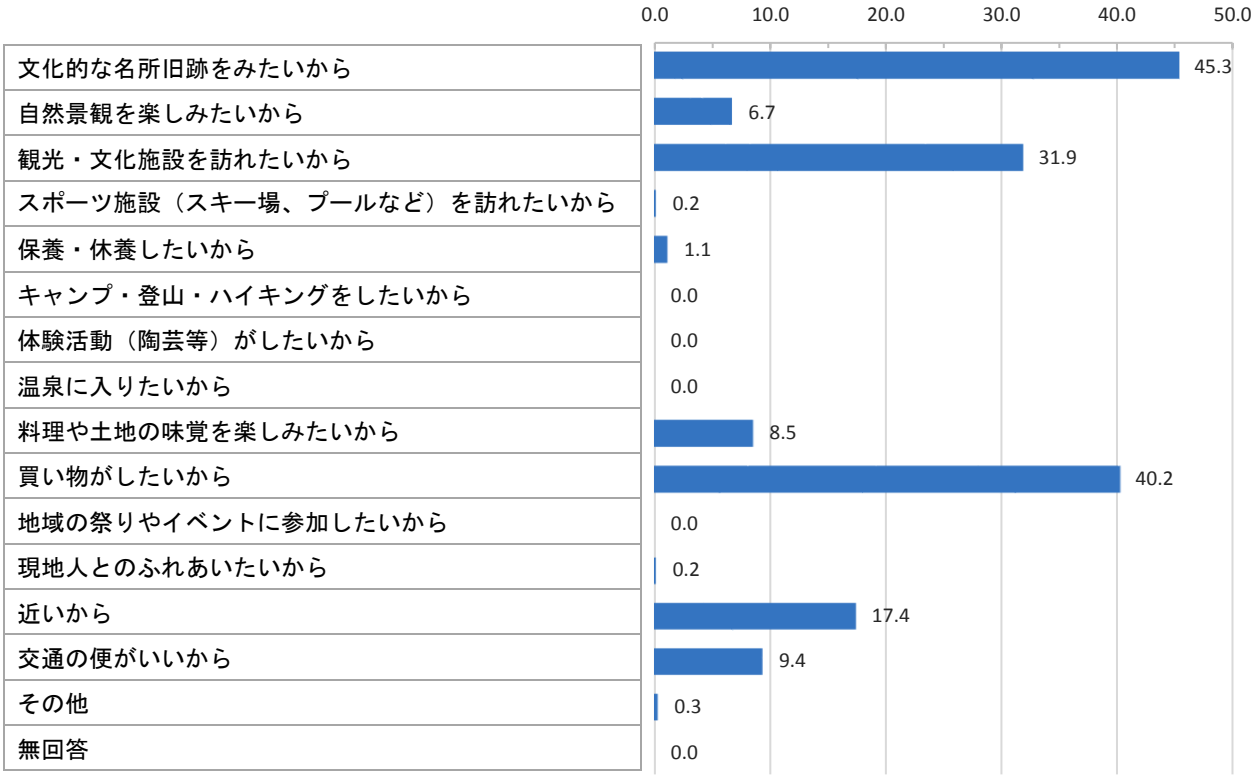


同行者の関係（n=609）



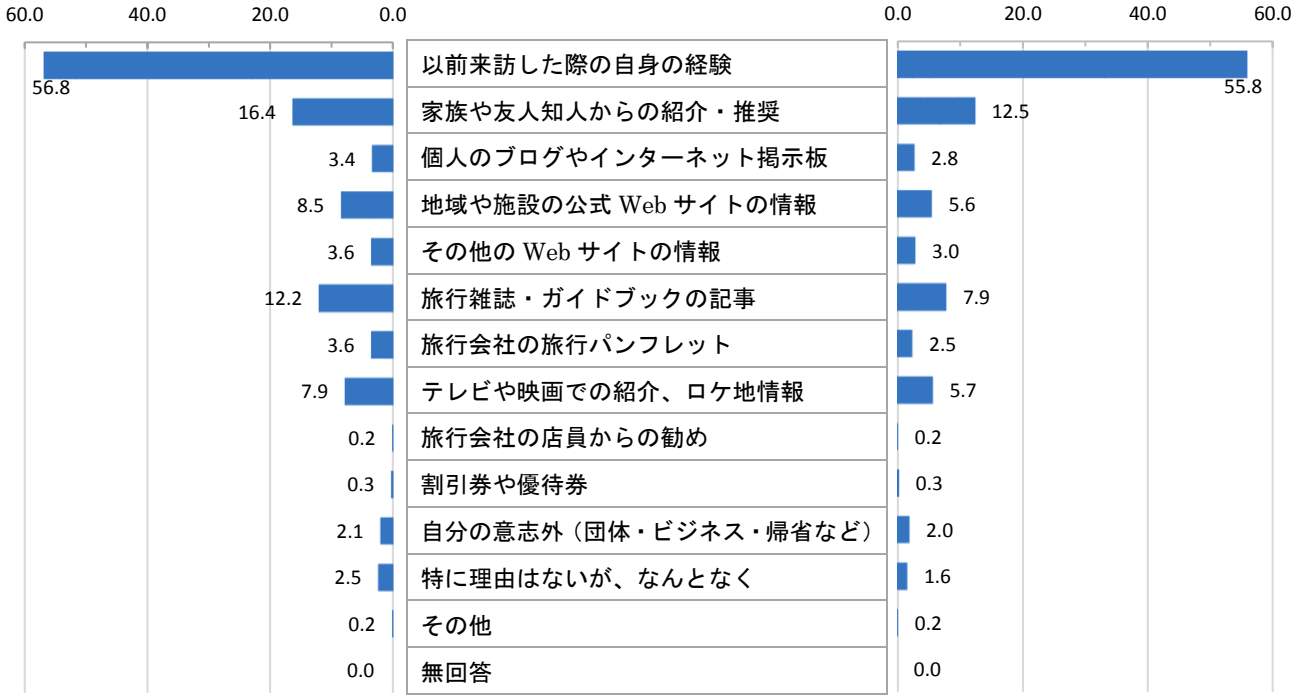
旅行先に選んだ理由は「文化的な名所旧跡をみたいから」が 45.3%で最も多く、次いで「買い物がしたいから」が 40.2%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が 56.8%で最も多く、決め手となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が 55.8%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=609）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=609）

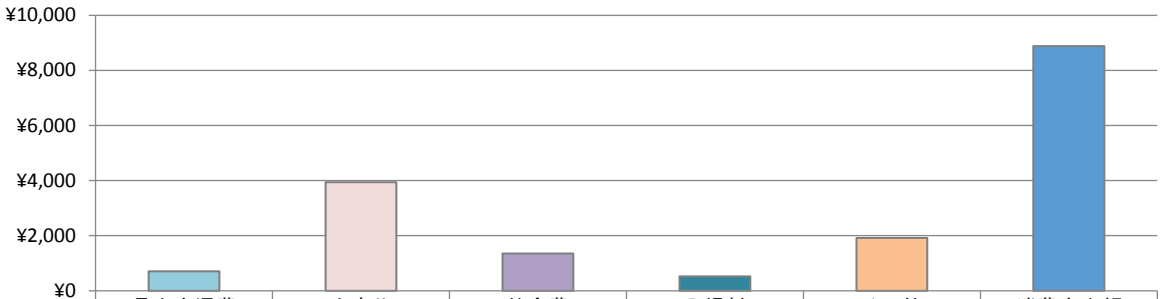
“決め手”となった情報源（単一回答）（n=609）



消費支出の平均は、総額で 8,883 円であった。内訳は、「土産代」が 3,943 円で最も多かった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 79.5%であった。

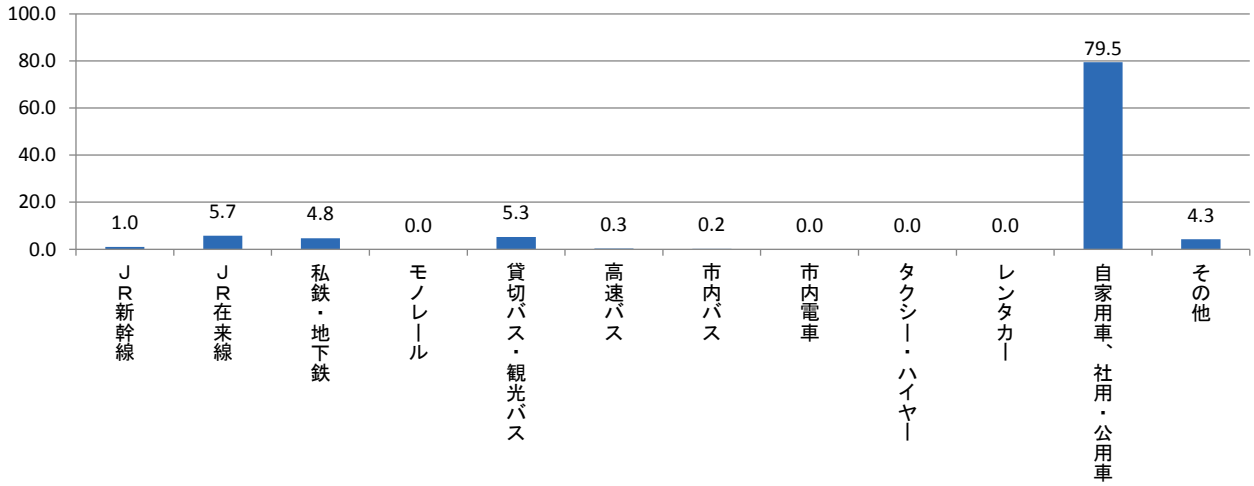
立ち寄り観光施設は、「鑁阿寺」「あしかがフラワーパーク」が 37 人で最も多く、次いで「織姫公園」「佐野厄よけ大師」が 15 人であった。

消費支出（平均）



	県内交通費 (n=609)	土産代 (n=609)	飲食費 (n=609)	入場料 (n=609)	その他 (n=609)	消費支出額 (n=609)
消費支出（平均）	¥708	¥3,943	¥1,355	¥524	¥1,919	¥8,883

利用交通機関（複数回答）（n=609）



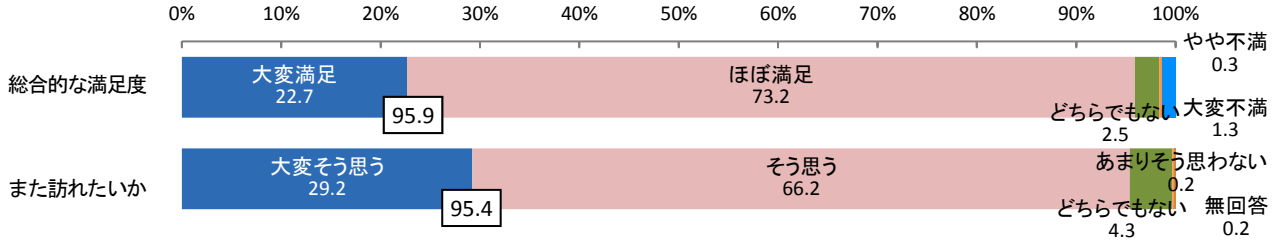
立ち寄り観光施設（n=609）※（　）内は施設に立ち寄った人数

那須	県南	県南
もみじ谷大吊橋(1)	鑁阿寺(37)	とちぎ蔵の街美術館(2)
日光	あしかがフラワーパーク(37)	史跡足利学校(1)
二社一寺参拝者(5)	織姫公園(15)	横山郷土館(1)
県央	佐野厄よけ大師(15)	みかも山観光物産会館(1)
フェスタｉｎ大谷(1)	佐野プレミアム・アウトレット(7)	
県東	太平山(5)	
友遊はが(1)	道の駅どまんなかたぬま(4)	
	栗田美術館(3)	
	市立美術館(3)	
	塚田歴史伝説館(2)	

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
足利学校（235）、佐野プレミアムアウトレット（238）、とちぎ山車会館（136）

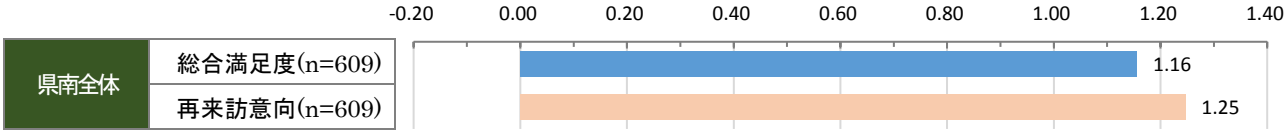
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が 95.9%であった。
また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が 95.4%であった。

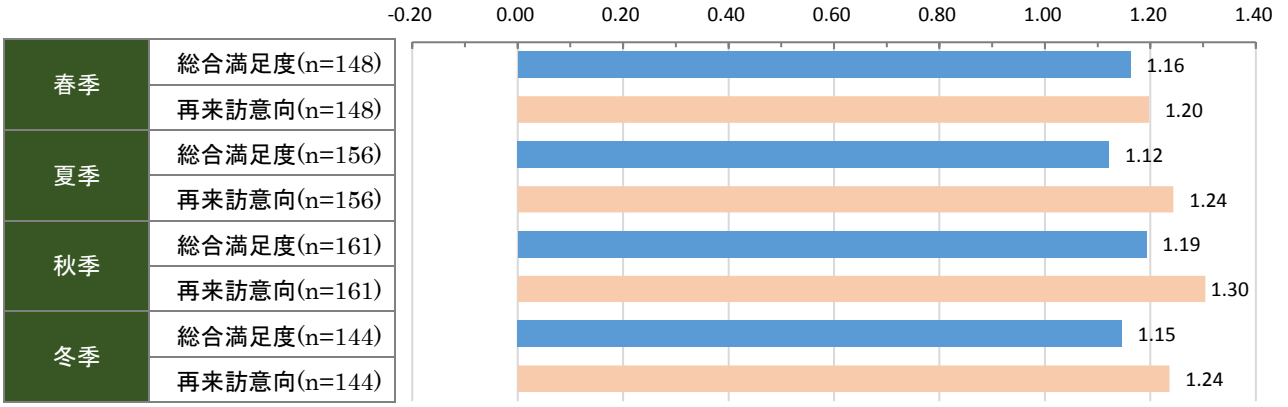
調査地域の総合満足度／再来訪意向（n=609）

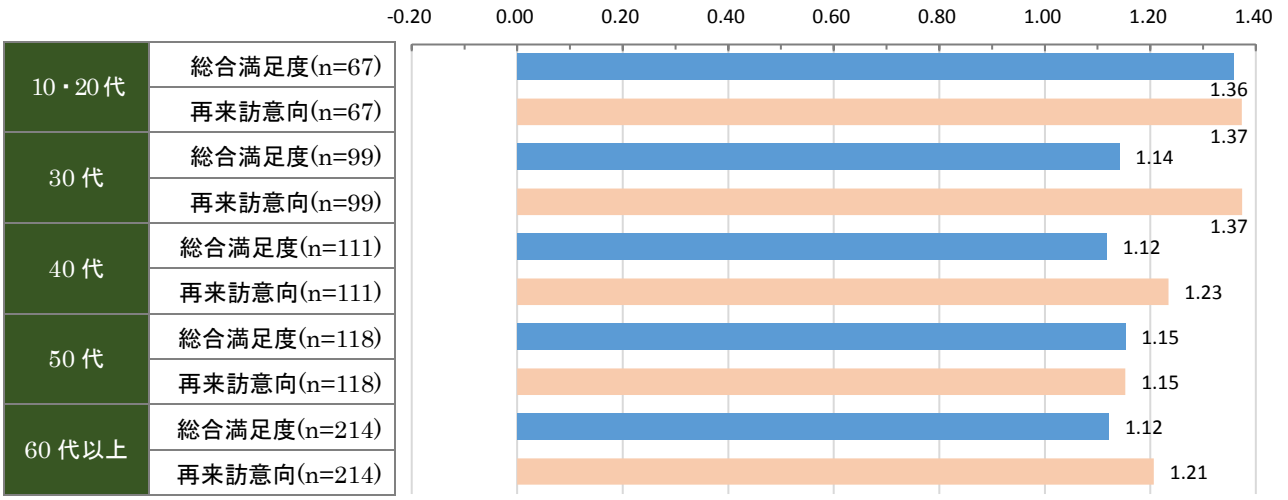


調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「秋季」が 1.19 で最も高く、四季を通して高い傾向にあった。
また、再来訪意向についても、「秋季」が 1.30 で最も高く、四季を通して高い傾向にあった。
年代別にみると、総合満足度は「10・20 代」が 1.36 で最も高く、「40 代」「60 代以上」が 1.12 で最も低かった。また、再来訪意向については、「10・20 代」「30 代」がともに 1.37 で最も高く、「50 代」が 1.15 で最も低かった。



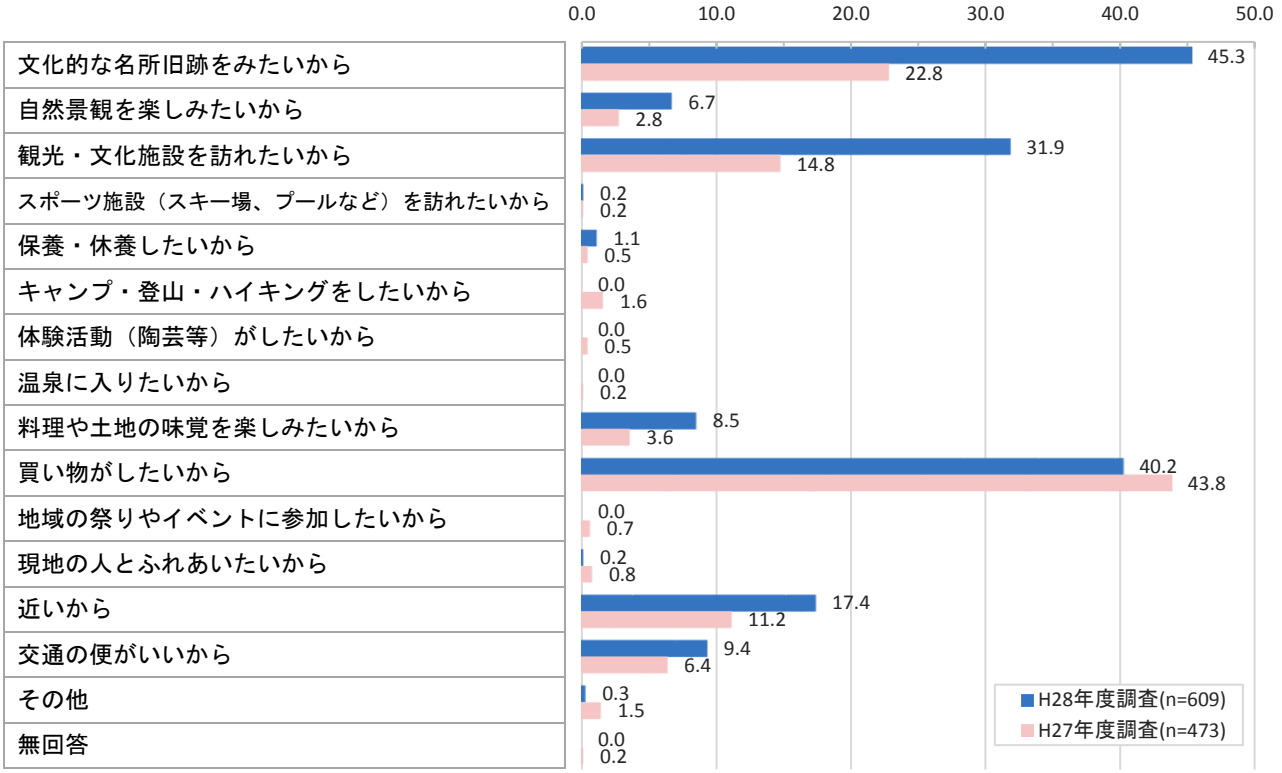




②過去調査との比較

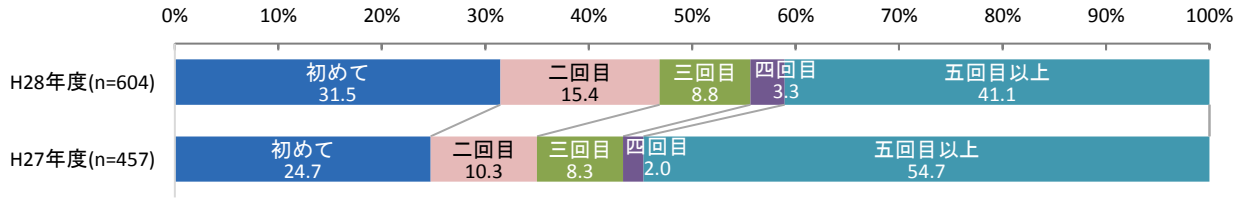
旅行先に選んだ理由は、「文化的な名所旧跡をみたいから」が平成 28 年度調査では 45.3%と最も多く、平成 27 年度調査の 22.8%と比較して 22.5 ポイント増加した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



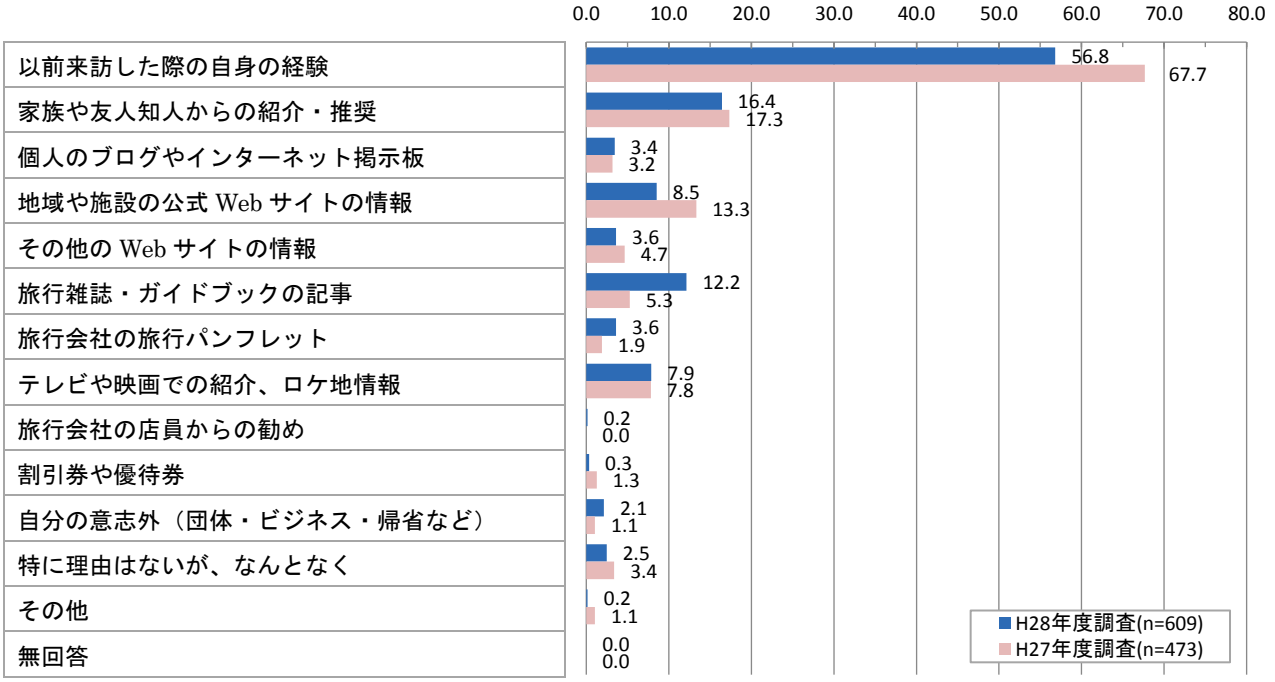
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が平成 27 年度調査では 24.7%であったが、平成 28 年度調査では 31.5%と 6.8 ポイント増加した。一方「五回目以上」が平成 27 年度調査では 54.7%であったが、平成 28 年度調査では 41.1%と 13.6 ポイント減少した。

調査地域周辺への来訪回数　※周辺住民を除く



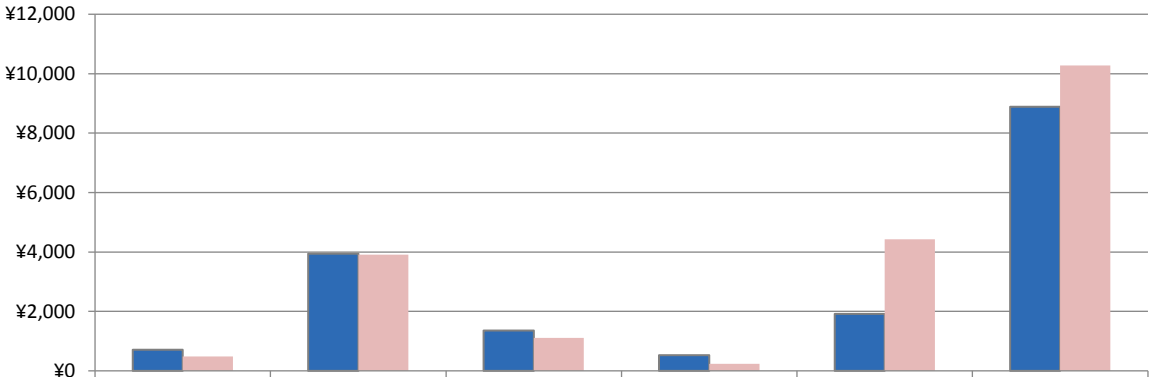
旅行先に選んだ情報源は、平成 27 年度調査では「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く 67.7%であったが、平成 28 年度調査では 56.8%と 10.9 ポイント減少した。一方、「旅行雑誌・ガイドブックの記事」は平成 27 年度調査では 5.3%であったが、平成 28 年度調査では 12.2%と 6.9 ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、平成 27 年度調査では 10,278 円であったが、平成 28 年度調査では 8,883 円に減少した。

消費支出　総額

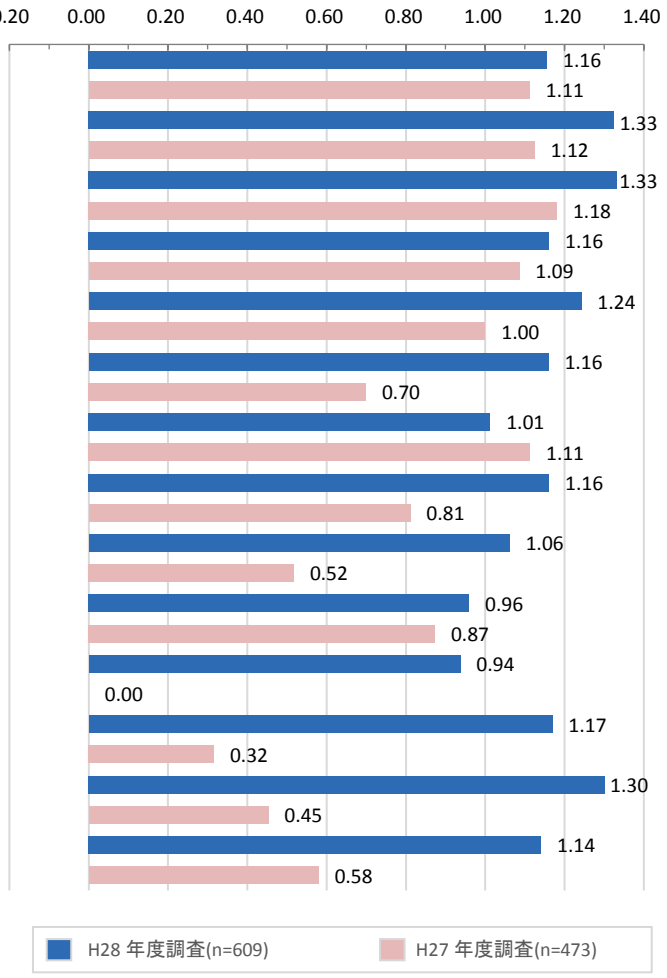


	県内交通費 H28(n=609) H27(n=473)	土産代 H28(n=609) H27(n=473)	飲食費 H28(n=609) H27(n=473)	入場料 H28(n=609) H27(n=473)	その他 H28(n=609) H27(n=473)	消費支出額 H28(n=609) H27(n=473)
H28年度調査	¥708	¥3,943	¥1,355	¥524	¥1,919	¥8,883
H27年度調査	¥489	¥3,910	¥1,112	¥235	¥4,427	¥10,278

総合満足度は、平成 27 年度調査では 1.11 であったが、平成 28 年度調査では 1.16 と 0.05 ポイント増加した。満足度を項目別にみると、平成 27 年度調査では「景観　街並みの景観や雰囲気」が 1.18 で最も高く、平成 28 年度調査でも「景観　自然景観や雰囲気」とともに 1.33 と最も高かった。

項目別満足度（加重平均値）

総合満足度	H28 年度調査		(n=609)
	H27 年度調査		(n=473)
①景観	自然景観や雰囲気	H28	(n=609)
		H27	(n=386)
	街並みの景観や雰囲気	H28	(n=609)
		H27	(n=424)
③観光施設	観光施設	H28	(n=435)
		H27	(n=139)
	体験活動	H28	(n=33)
		H27	(n=8)
④食	食	H28	(n=351)
		H27	(n=236)
⑤土産	お土産	H28	(n=158)
		H27	(n=133)
⑥おもてなし	観光施設	H28	(n=398)
		H27	(n=106)
	飲食店	H28	(n=326)
		H27	(n=143)
	土産物店	H28	(n=147)
		H27	(n=63)
	交通事業者	H28	(n=96)
		H27	(n=6)
	地域住民	H28	(n=195)
		H27	(n=19)
⑦その他	地域内での移動	H28	(n=554)
		H27	(n=287)
	現地での観光情報・案内	H28	(n=589)
		H27	(n=283)



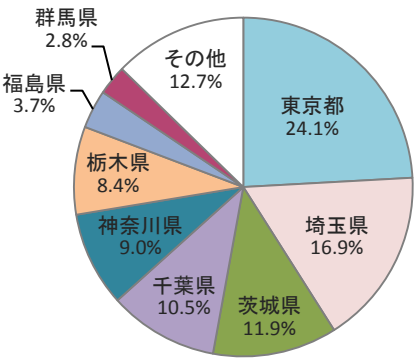
2.宿泊客

(1)県全体

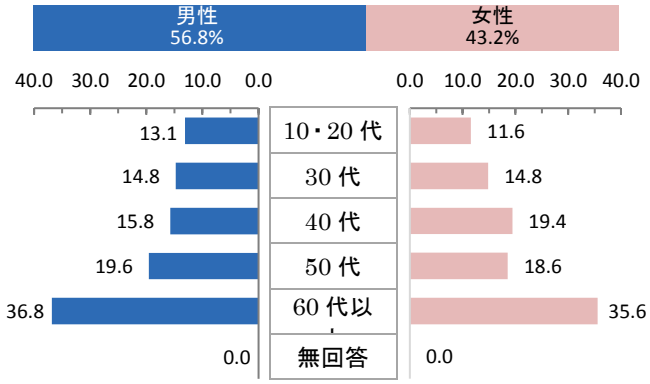
①平成 28 年度調査結果

お住まいは「東京都」が 24.1%で最も多く、次いで「埼玉県」が 16.9%、「茨城県」が 11.9%であった。
性別は、「男性」が 56.8%、「女性」が 43.2%であった。
年代は、男性は「60 代以上」が 36.8%で最も多く、女性も「60 代以上」が 35.6%で最も多かった。

お住まい（n=1061）

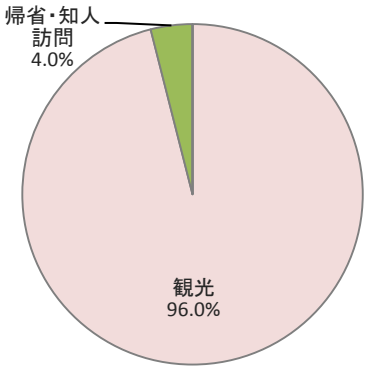


性別・年代（n=1061）

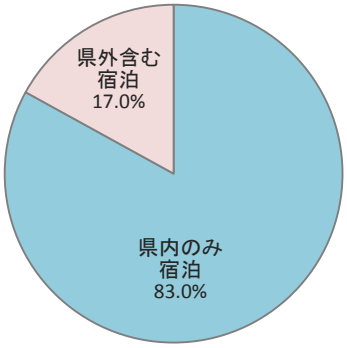


旅行の主要目的は、「観光」が 96.0%と 9 割を超えた。
宿泊旅程は、「県内のみ宿泊」が 83.0%と 8 割を超えた。

旅行の主要目的（n=1061）

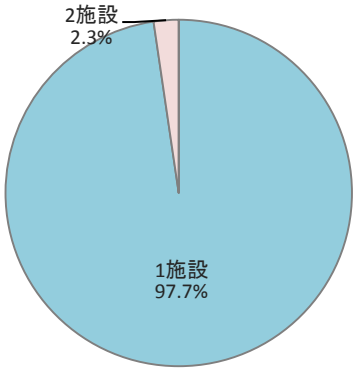


宿泊旅程（n=153）
※今回の旅行の宿泊日数（県内に限らない）が 2 泊以上の方のみ集計



県内に 2 泊以上した方の宿泊施設数は、「1 施設」が 97.7%と 9 割を超えた。

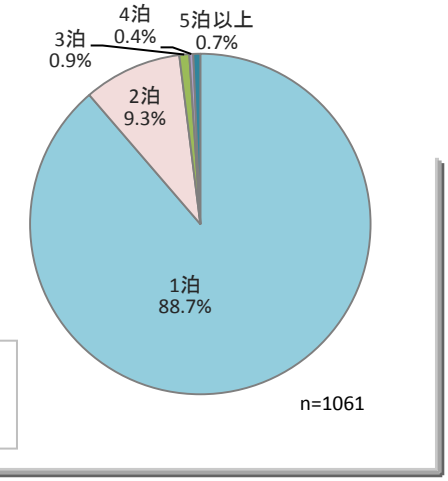
栃木県内の宿泊施設数（n=129）



県内での宿泊日数は、県全体、エリアともに「1 泊」が 8 割を超えた。

平均宿泊日数をエリア別にみると、那須エリアで 1.21 泊、県東エリアで 1.20 泊と他のエリアと比較して高かった。

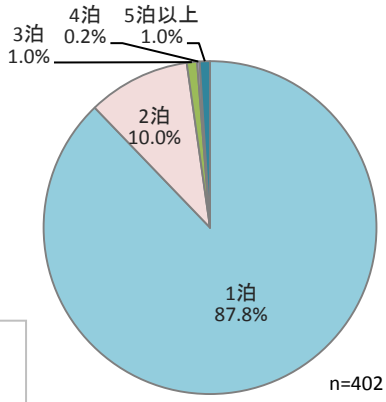
【県全体】



平均宿泊日数
1.15 泊

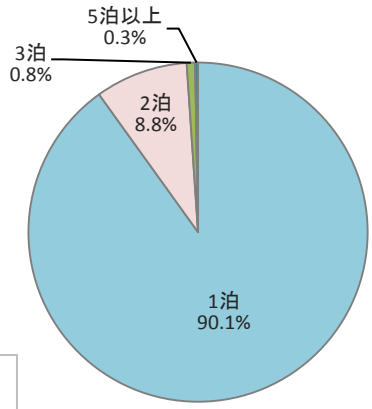
n=1061

【エリア別】



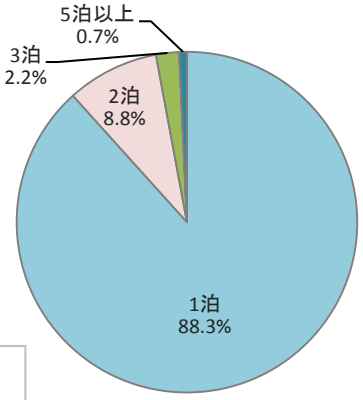
那須エリア
平均宿泊日数
1.17 泊

n=402



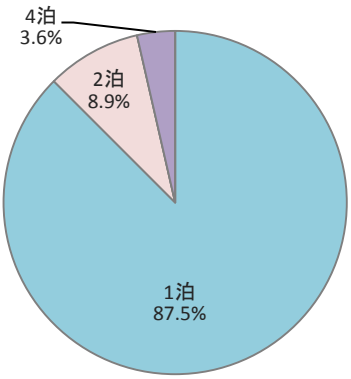
日光エリア
平均宿泊日数
1.12 泊

n=373



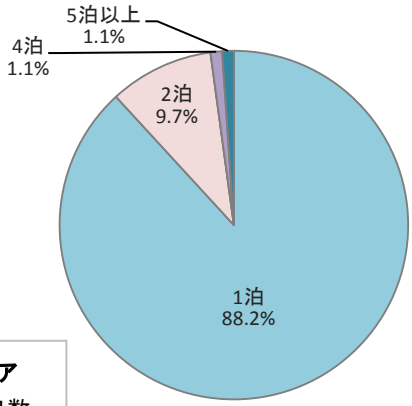
県央エリア
平均宿泊日数
1.16 泊

n=137



県東エリア
平均宿泊日数
1.20 泊

n=56

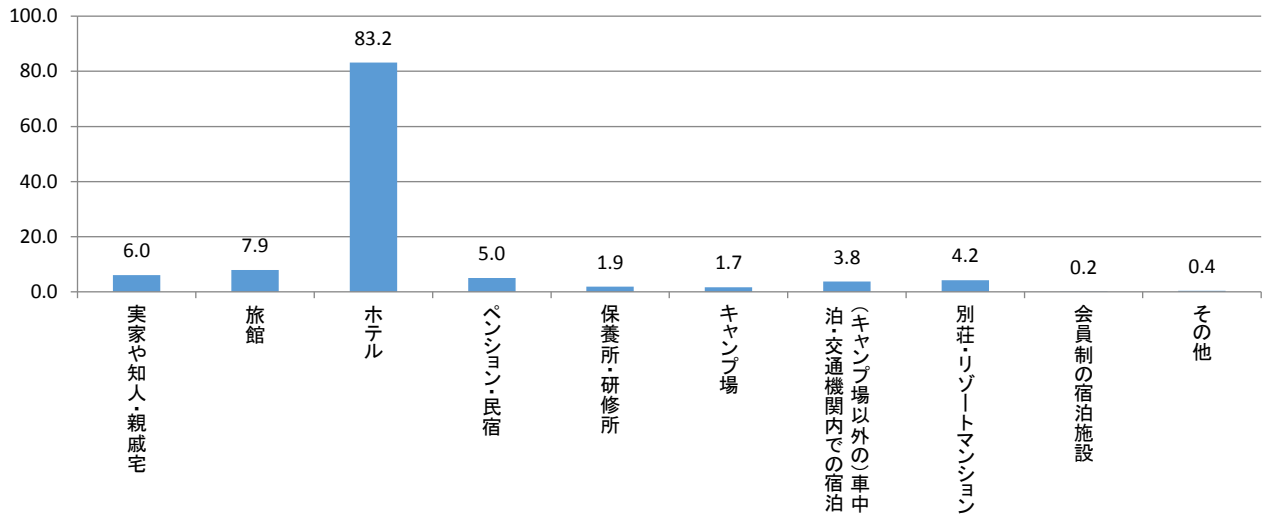


県南エリア
平均宿泊日数
1.17 泊

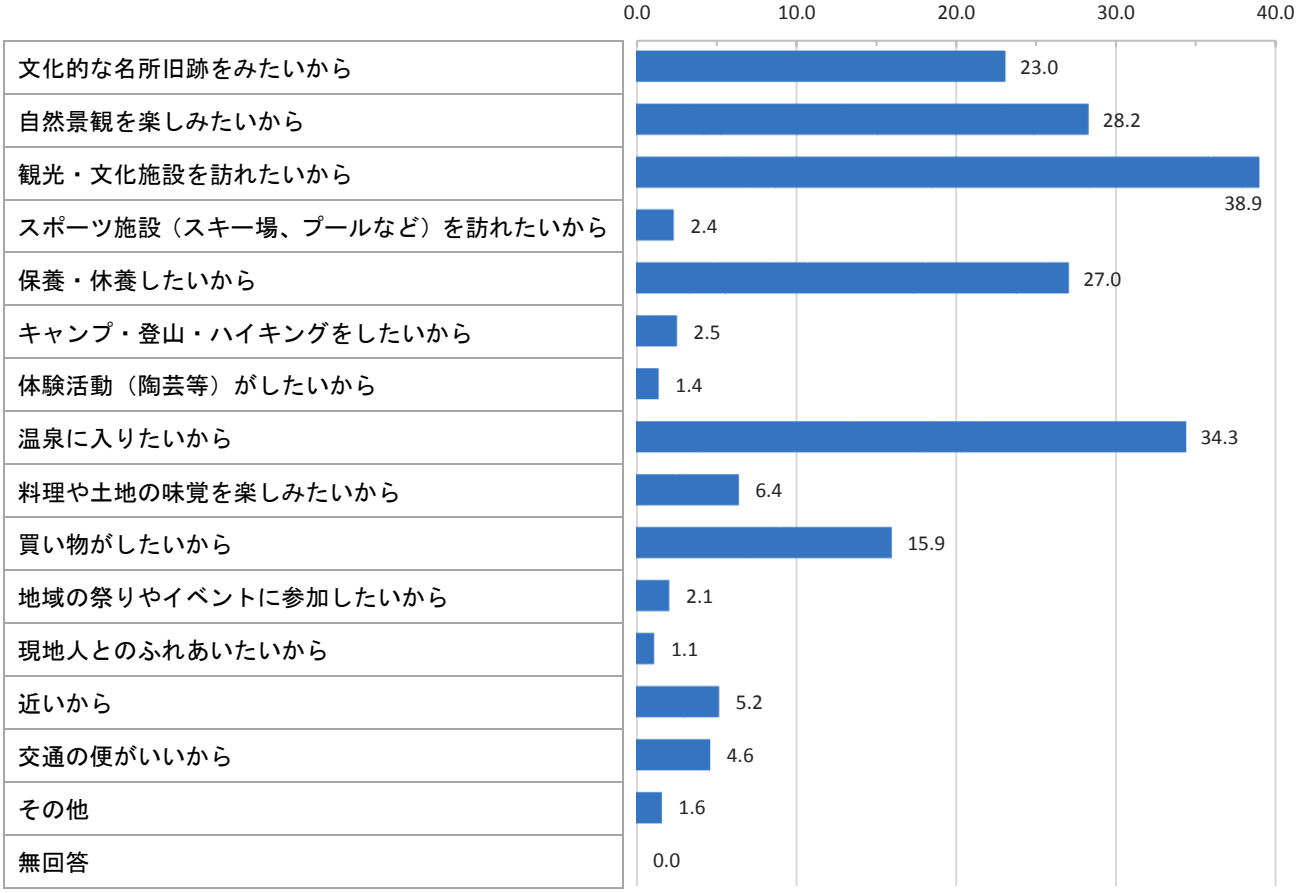
n=93

県内での利用宿泊施設は「ホテル」が 83.2%で最も多く、次いで「旅館」が 7.9%であった。

栃木県内での利用宿泊施設（複数回答）（n=1061）

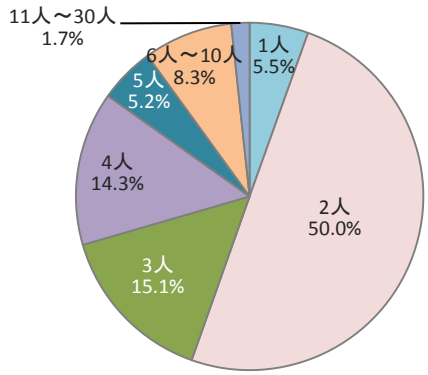


旅行先に選んだ理由は、「観光・文化施設を訪れたいから」が 38.9%で最も多く、次いで「温泉に入りたいから」が 34.3%、「自然景観を楽しみたいから」が 28.2%、「保養・休養したいから」が 27.0%であった。

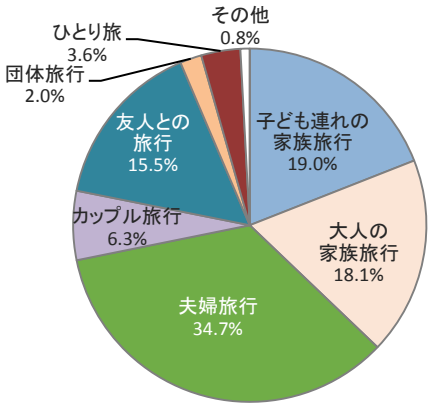


回答者を含む同行者数は、「2 人」が 50.0%で最も多く、次いで「3 人」が 15.1%、「4 人」が 14.3%であった。
同行者の関係は、「夫婦旅行」が 34.7%で最も多く、次いで「子ども連れの家族旅行」が 19.0%、「大人の家族旅行」が 18.1%、「友人との旅行」が 15.5%であった。

同行者数 ※回答者を含む（n=1061）

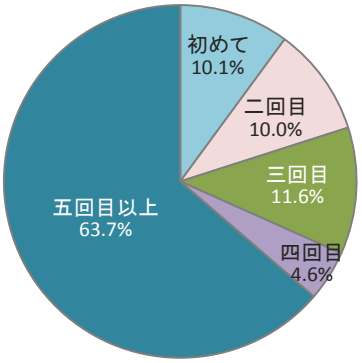


同行者の関係（n=1061）



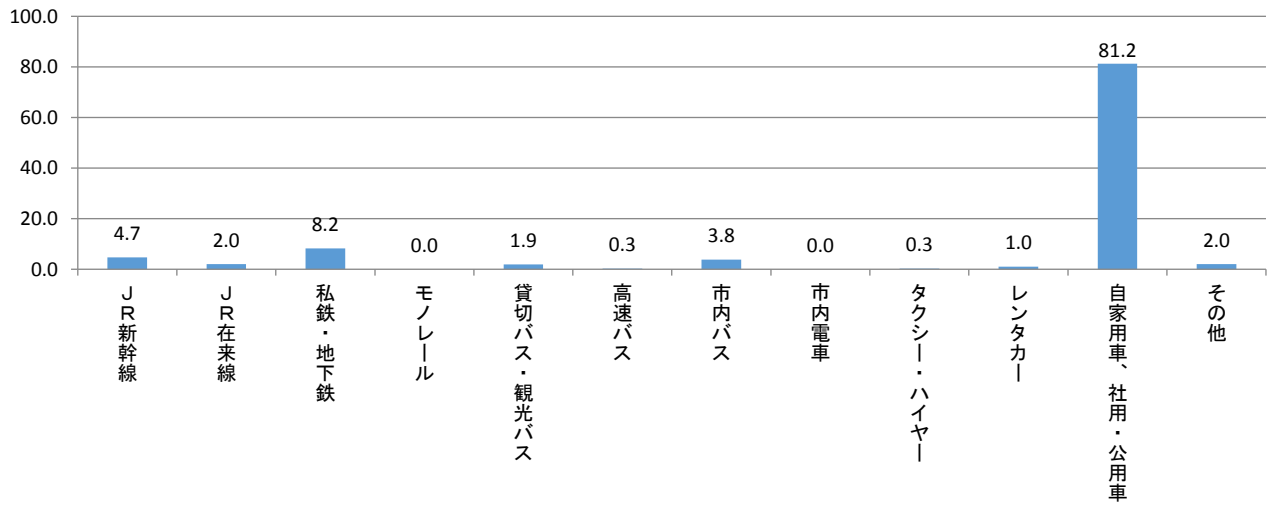
県外客の栃木県への来訪回数は、「五回目以上」が 63.7%と 6 割を超えた。一方、「初めて」は 10.1%であった。

県外客の栃木県への来訪回数（n=972）



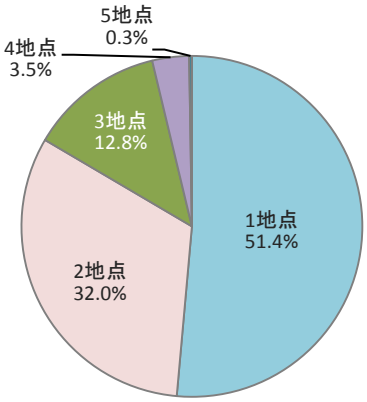
利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 81.2%で大半を占めた。その他の交通機関としては「私鉄・地下鉄」が 8.2%、「ＪＲ新幹線」が 4.7%、「市内バス」が 3.8%であった。

利用交通機関（複数回答）（n=1061）



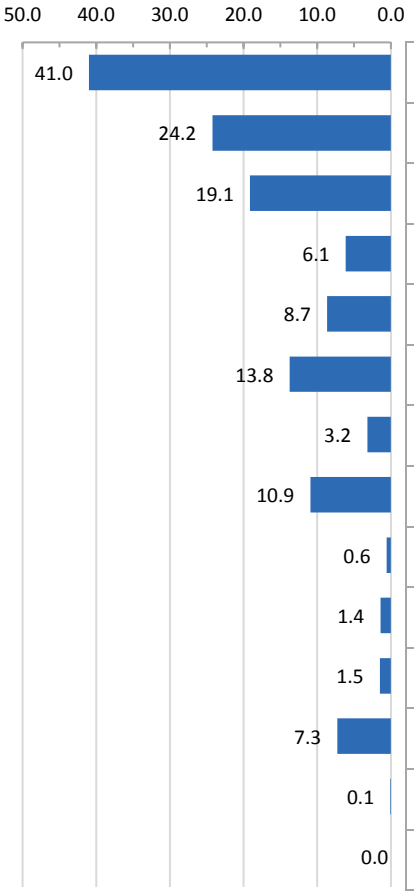
立ち寄り観光施設は、「1 地点」が 51.4%で最も多く、次いで「2 地点」が 32.0%であった。

立ち寄り観光施設数（n=774）※「0 地点（調査地点以外立ち寄りなし）」を除く）

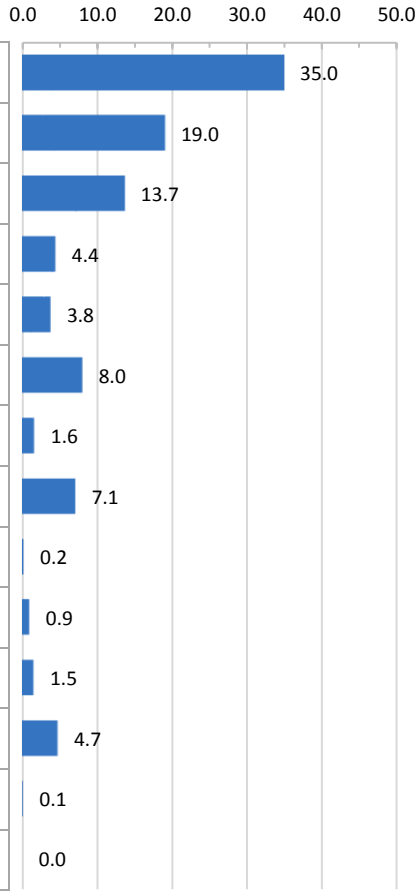


旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が 41.0%で最も多く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が 24.2%であった。
“決め手”となった情報源も、旅行先に選んだ情報源とほぼ同様の傾向で、「以前来訪した際の自身の経験」が 35.0%で最も多く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が 19.0%であった。

旅行先に選んだ情報源
（複数回答）（n=1061）



“決め手”となった情報源
（単一回答）（n=1061）



旅行先を選んだ“決め手”となった情報源　年代別

※回答数の多い順（「その他」「無回答」を除く）

NO.	全体（n=1061）	
1	以前来訪した際の自身の経験	35.0
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	19.0
3	個人のブログやインターネット掲示板	13.7
4	旅行雑誌・ガイドブックの記事	8.0
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	7.1
6	特に理由はないが、なんとなく	4.7
7	地域や施設の公式 Web サイトの情報	4.4
8	その他の Web サイトの情報	3.8
9	旅行会社の旅行パンフレット	1.6
10	自分の意志外（団体・ビジネス・帰省など）	1.5
11	割引券や優待券	0.9
12	旅行会社の店員からの勧め	0.2

NO.	10・20 代（n=132）	
1	個人のブログやインターネット掲示板	30.3
2	以前来訪した際の自身の経験	15.9
3	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	12.9
4	家族や友人知人からの紹介・推奨	12.1
5	旅行雑誌・ガイドブックの記事	8.3
6	地域や施設の公式 Web サイトの情報	6.8
7	その他の Web サイトの情報	6.8
8	特に理由はないが、なんとなく	3.0
9	旅行会社の旅行パンフレット	1.5
10	自分の意志外（団体・ビジネス・帰省など）	1.5
11	旅行会社の店員からの勧め	0.0
12	割引券や優待券	0.0

NO.	30 代（n=157）	
1	以前来訪した際の自身の経験	26.8
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	21.7
3	個人のブログやインターネット掲示板	14.6
4	旅行雑誌・ガイドブックの記事	9.6
5	その他の Web サイトの情報	7.0
6	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	5.7
7	地域や施設の公式 Web サイトの情報	5.1
8	特に理由はないが、なんとなく	4.5
9	自分の意志外（団体・ビジネス・帰省など）	2.5
10	旅行会社の旅行パンフレット	1.3
11	割引券や優待券	1.3
12	旅行会社の店員からの勧め	0.0

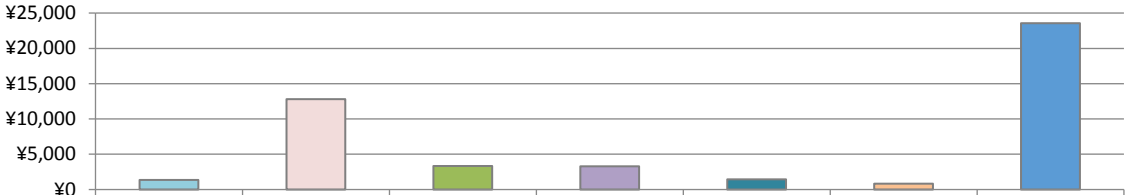
NO.	40 代（n=184）	
1	以前来訪した際の自身の経験	27.7
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	21.2
3	個人のブログやインターネット掲示板	15.8
4	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	9.2
5	地域や施設の公式 Web サイトの情報	7.6
6	特に理由はないが、なんとなく	6.0
7	旅行雑誌・ガイドブックの記事	5.4
8	旅行会社の旅行パンフレット	3.3
9	その他の Web サイトの情報	2.7
10	旅行会社の店員からの勧め	0.5
11	割引券や優待券	0.5
12	自分の意志外（団体・ビジネス・帰省など）	0.0

NO.	50 代（n=203）	
1	以前来訪した際の自身の経験	37.4
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	18.7
3	個人のブログやインターネット掲示板	11.3
4	旅行雑誌・ガイドブックの記事	8.4
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	7.4
6	特に理由はないが、なんとなく	6.9
7	その他の Web サイトの情報	3.9
8	地域や施設の公式 Web サイトの情報	3.0
9	旅行会社の旅行パンフレット	1.0
10	割引券や優待券	1.0
11	自分の意志外（団体・ビジネス・帰省など）	1.0
12	旅行会社の店員からの勧め	0.0

NO.	60 代（n=385）	
1	以前来訪した際の自身の経験	47.0
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	19.5
3	旅行雑誌・ガイドブックの記事	8.3
4	個人のブログやインターネット掲示板	7.8
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	4.4
6	特に理由はないが、なんとなく	3.6
7	地域や施設の公式 Web サイトの情報	2.6
8	自分の意志外（団体・ビジネス・帰省など）	2.1
9	その他の Web サイトの情報	1.8
10	旅行会社の旅行パンフレット	1.3
11	割引券や優待券	1.3
12	旅行会社の店員からの勧め	0.3

宿泊客一人当たりの消費支出平均は、総額で 23,544 円であった。
内訳は、「宿泊費」の消費支出平均が 12,803 円で最も多く、次いで「土産代」が 3,334 円であった。

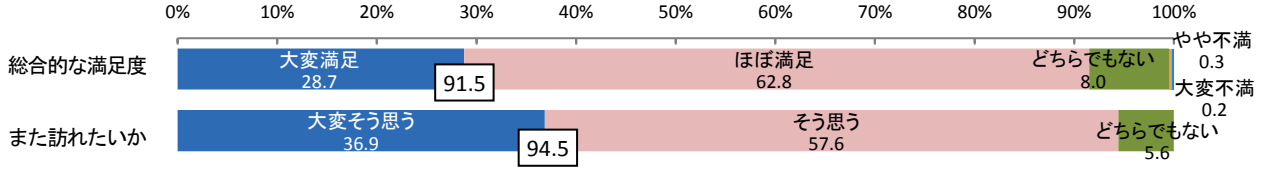
消費支出（平均）



	県内交通費 (n=1061)	宿泊費 (n=1061)	土産代 (n=1061)	飲食費 (n=1061)	入場料 (n=1061)	その他 (n=1061)	消費支出額 (n=1061)
消費支出（平均）	¥1,359	¥12,803	¥3,334	¥3,290	¥1,443	¥830	¥23,544

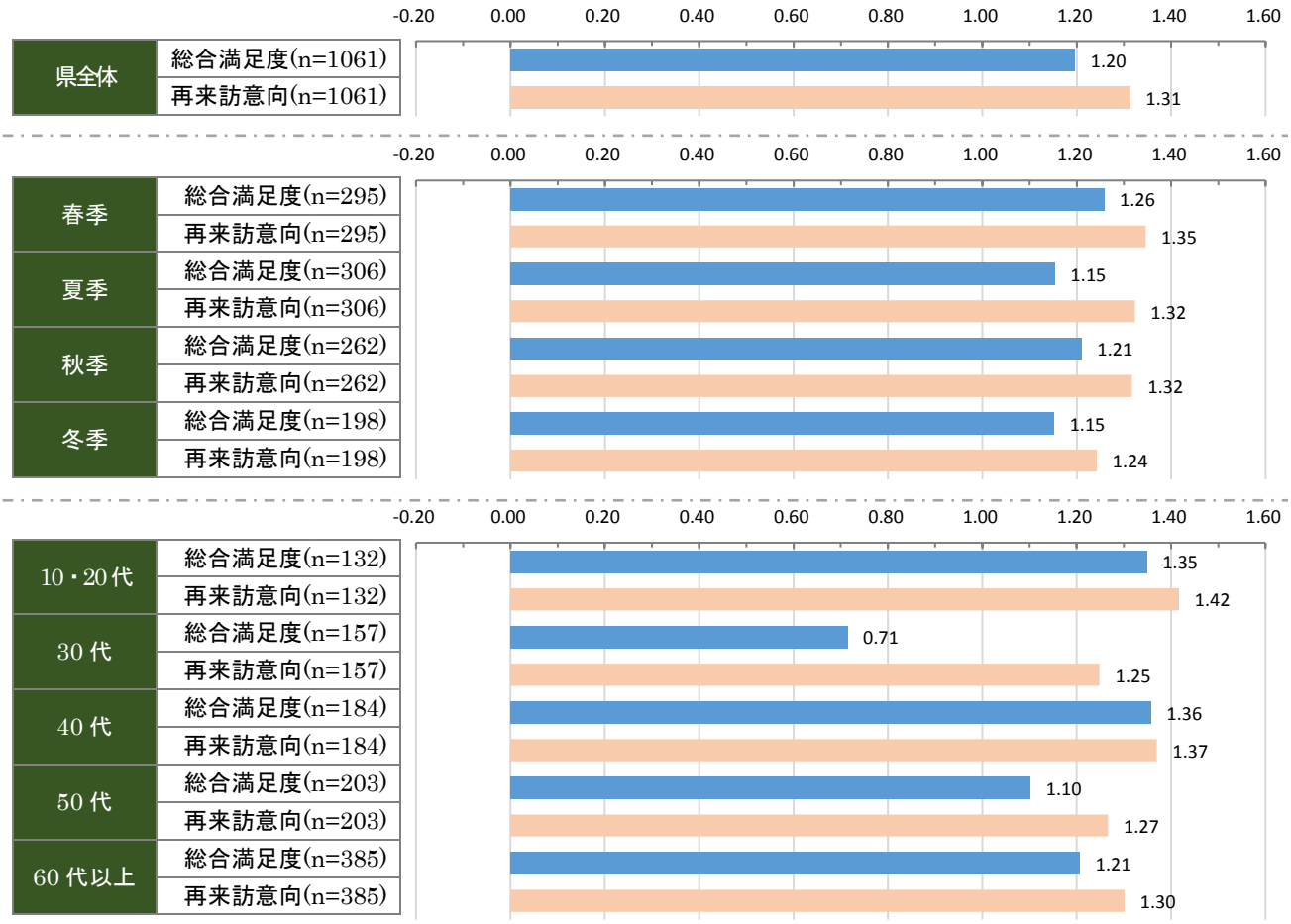
調査地域への総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】は 91.5%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】は 94.5%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向（n=1061）



調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

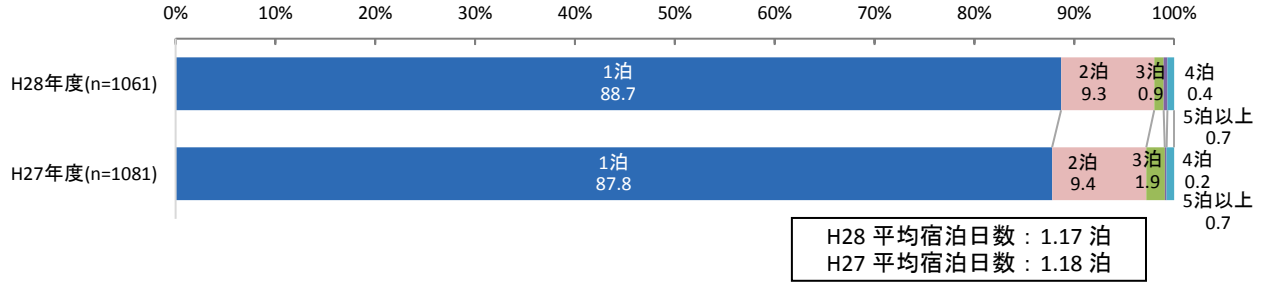
総合満足度を季節別にみると、「春季」が 1.26 で最も高かった。再来訪意向についても「春季」が 1.35 で最も高かった。
年代別にみると、総合満足度は「40 代」が 1.36 で最も高く、「30 代」が 0.71 で最も低かった。また、再来訪意向は、「10・20 代」が 1.42 で最も高かった。



②過去調査との比較

栃木県内での宿泊日数は、「1 泊」が平成 27 年度調査では 87.8%であったが、平成 28 年度調査では 88.7%と 0.9 ポイント増加した。一方、2 泊以上の宿泊者の割合は平成 27 年度調査と比較して減少した。平均宿泊日数は、平成 27 年度は 1.18 泊、平成 28 年度は 1.17 泊とほぼ同様であった。

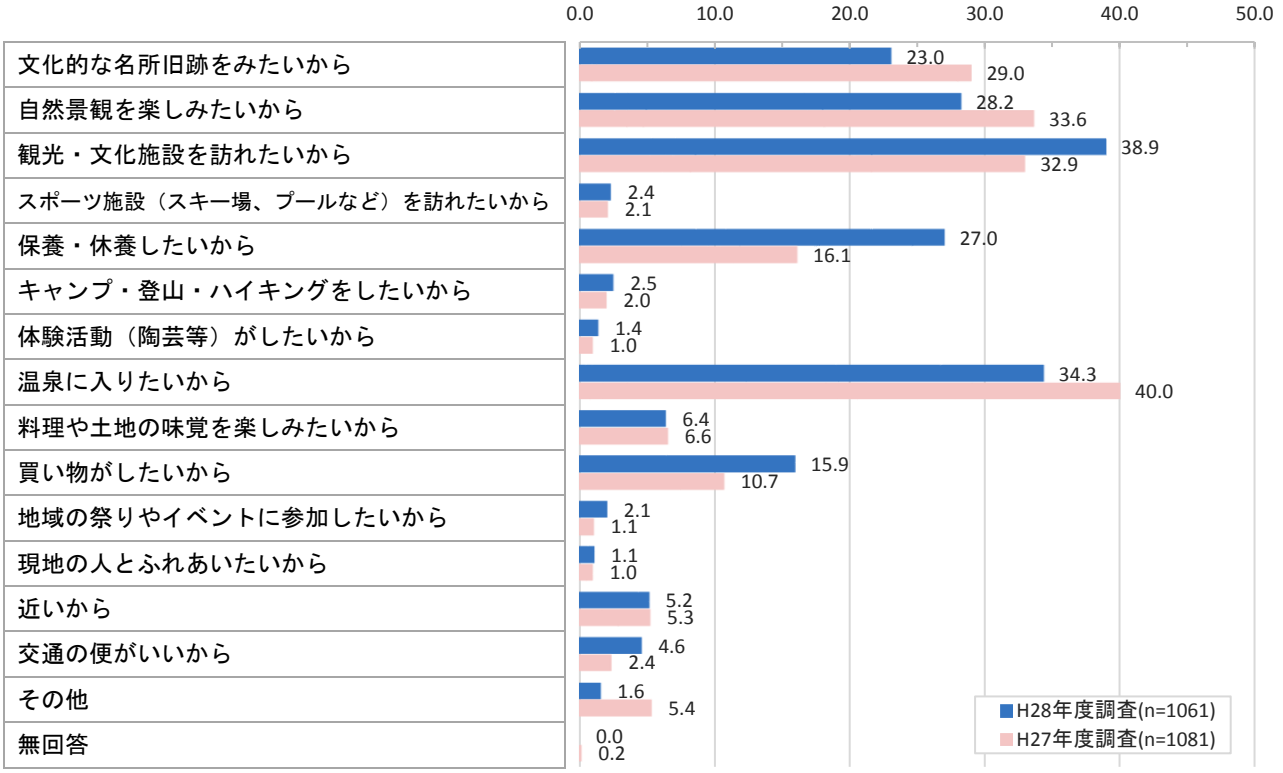
栃木県内での宿泊日数



H28 平均宿泊日数：1.17 泊
H27 平均宿泊日数：1.18 泊

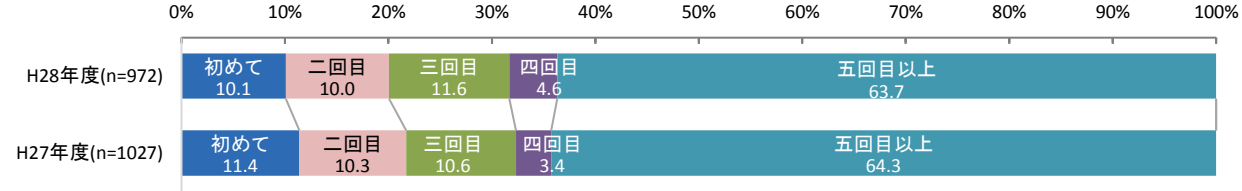
旅行先に選んだ理由は、「観光・文化施設を訪れたいから」が平成 28 年度の調査では 38.9%と最も多く、平成 27 年度調査と比較して 6.0 ポイント増加した。次いで「温泉に入りたいから」が平成 27 年度の調査では 40.0%であったが、平成 28 年度調査では 34.3%と 5.7 ポイント減少した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



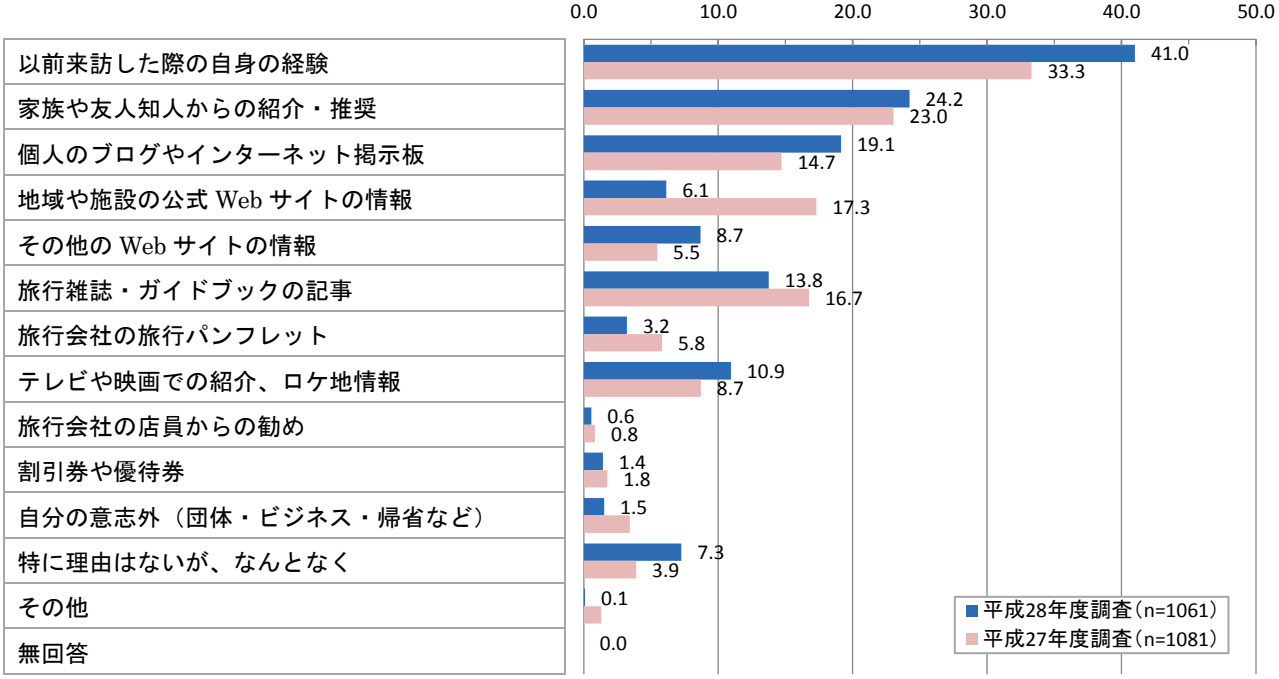
県外客の栃木県への来訪回数は、「四回目」が平成 27 年度の調査では 3.4%であったが、平成 28 年度調査では 4.6%と 1.2 ポイント増加した。一方「初めて」が平成 27 年度の調査では 11.4%であったが、平成 28 年度調査では 10.1%と 1.3 ポイント減少した。

県外客の栃木県への来訪回数



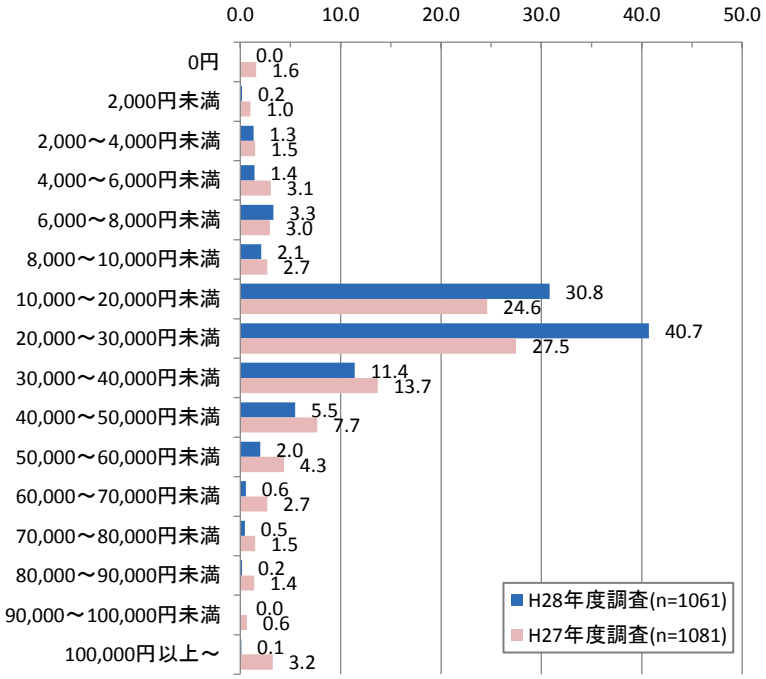
旅行先に選んだ情報源は、平成 27 年度調査では「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く 33.3%であったが、平成 28 年度調査では 41.0%と 7.7 ポイント増加した。次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」は平成 27 年度調査では 23.0%であったが、平成 28 年度調査では 24.2%と 1.2 ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、「10,000～20,000 円未満」は平成 27 年度調査の 24.6%に対し、平成 28 年度調査では 30.8%で 6.2 ポイント増加し、「20,000～30,000 円未満」も平成 27 年度調査の 27.5%に対し、平成 28 年度調査では 40.7%で 13.2 ポイント増加した。一方、30,000 以上の割合は平成 27 年度調査と比較して減少した。宿泊客の一人当たり平均は、平成 27 年度調査では 30,568 円であったが、平成 28 年度調査では 23,544 円と減少した。

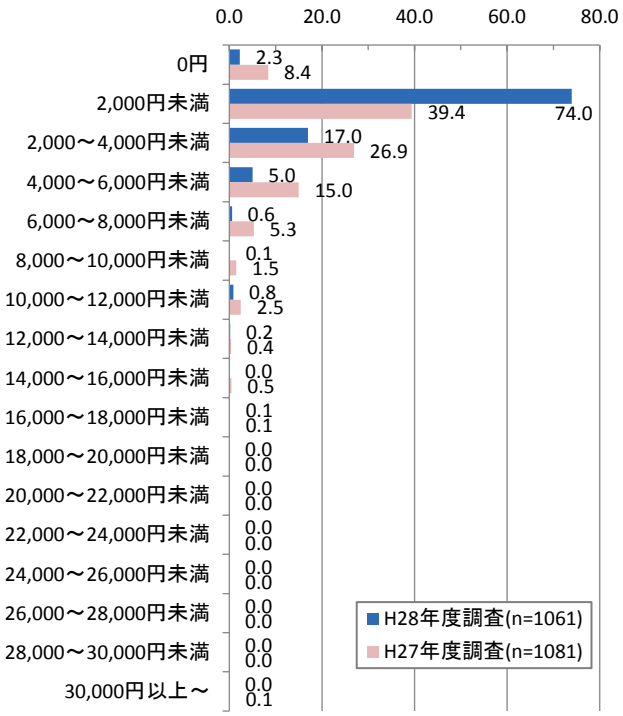
消費支出　総額



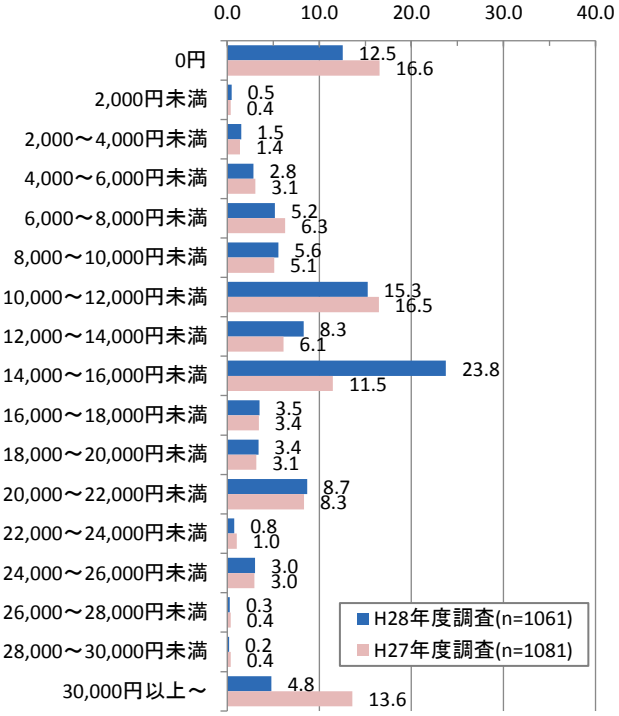
宿泊客の一人当たり平均
平成 28 年度調査：23,544 円
平成 27 年度調査：30,568 円

県内交通費は、「2,000 円未満」が平成 27 年度調査の 39.4%に対し、平成 28 年度調査では 74.0%で 34.6 ポイント増加した。宿泊費は「14,000～16,000 円未満」が平成 27 年度調査の 11.5%に対し、平成 28 年度調査では 23.8%で 12.3 ポイント増加した。一方、「30,000 円以上」が 13.6%から 4.8%で 8.8 ポイント減少した。

消費支出　県内交通費

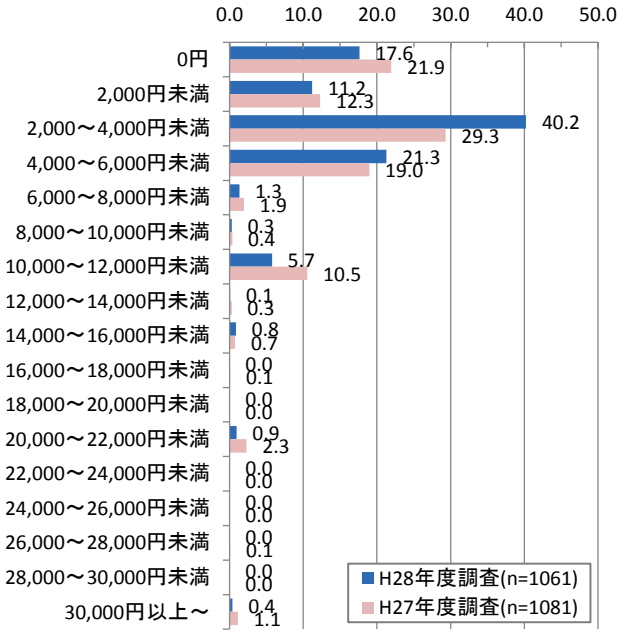


消費支出　宿泊費

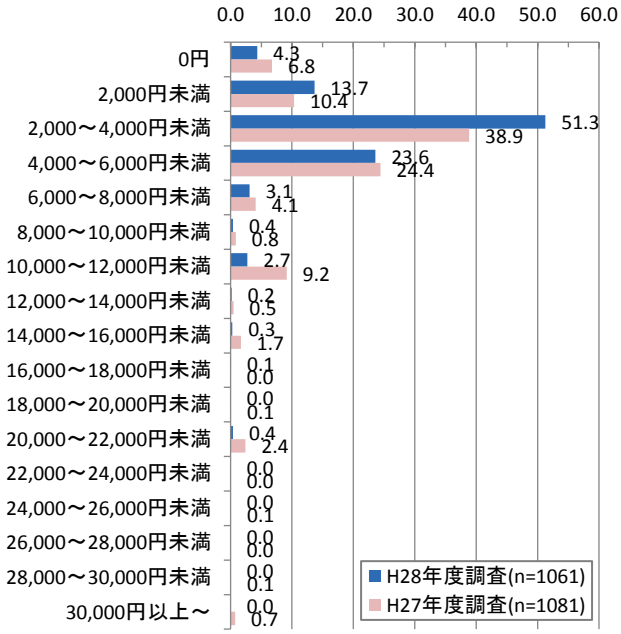


土産代は、「2,000～4,000 円未満」が平成 27 年度調査の 29.3%に対し、平成 28 年度調査では 40.2%で 10.9 ポイント増加した。飲食費は、「2,000～4,000 円未満」が平成 27 年度調査の 38.9%に対し、平成 28 年度調査では 51.3%で 12.4 ポイント増加した。

消費支出　土産代



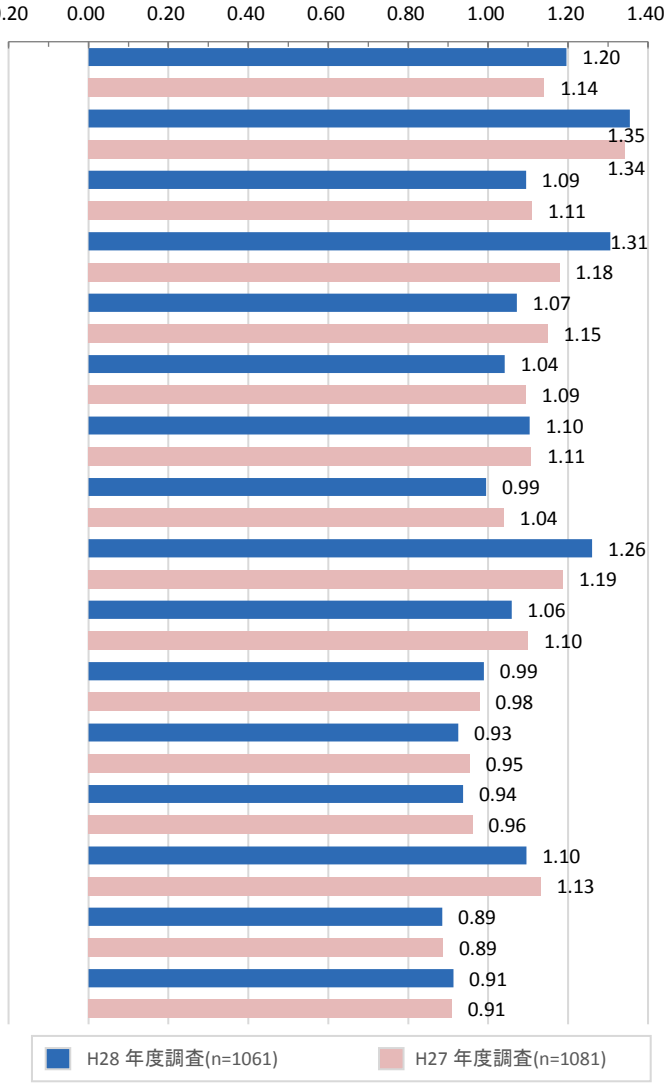
消費支出　飲食費



総合満足度は、平成 27 年度調査では 1.14 であったが、平成 28 年度調査では 1.20 と 0.06 ポイント増加した。満足度を項目別にみると、平成 27 年度調査では「景観　自然景観や雰囲気」が 1.34 で最も高く、平成 28 年度調査でも 1.35 と最も高かった。

項目別満足度（加重平均値）

総合満足度	H28 年度調査		(n=1,061)
	H27 年度調査		(n=1,081)
①景観	自然景観や雰囲気	H28	(n=1,036)
		H27	(n=1,063)
	街並みの景観や雰囲気	H28	(n=1,014)
		H27	(n=1,061)
②宿泊施設	宿泊施設	H28	(n=628)
		H27	(n=689)
③観光施設	観光施設	H28	(n=917)
		H27	(n=932)
	体験活動	H28	(n=96)
		H27	(n=148)
④食	食	H28	(n=788)
		H27	(n=896)
⑤土産	お土産	H28	(n=567)
		H27	(n=560)
⑥おもてなし	宿泊施設	H28	(n=607)
		H27	(n=672)
	観光施設	H28	(n=869)
		H27	(n=866)
	飲食店	H28	(n=769)
		H27	(n=834)
	土産物店	H28	(n=550)
		H27	(n=589)
	交通事業者	H28	(n=160)
		H27	(n=205)
	地域住民	H28	(n=240)
		H27	(n=281)
⑦その他	地域内での移動	H28	(n=748)
		H27	(n=825)
	現地での観光情報・案内	H28	(n=425)
		H27	(n=770)



(2)エリア別

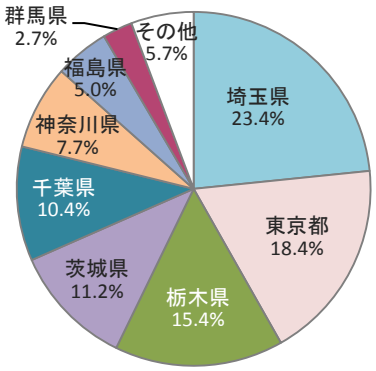
ⅰ.那須エリア

①平成 28 年度調査結果

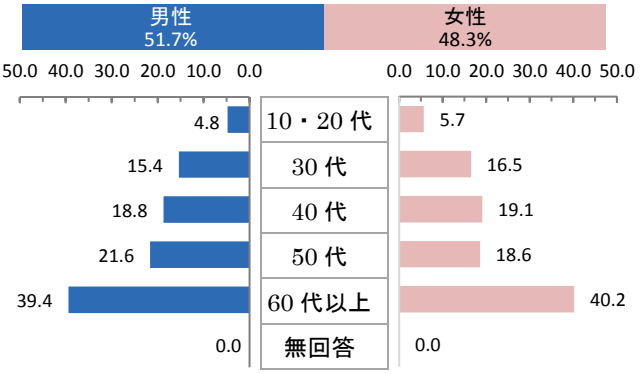
宿泊客（那須エリア）　　サンプル数：402

お住まいは「埼玉県」が最も多く 23.4%、次いで「東京都」が 18.4%、「栃木県」が 15.4%であった。年代は、男女ともに「60 代以上」が最も多く「男性」が 39.4%、「女性」が 40.2%であった。
調査地域周辺への来訪回数は、「五回目以上」のリピーターが 53.0%で最も多かった。
同行者数は「2 人」が 41.8%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 34.3%で最も多かった。

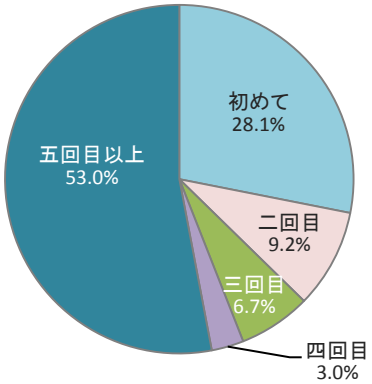
お住まい（n=402）



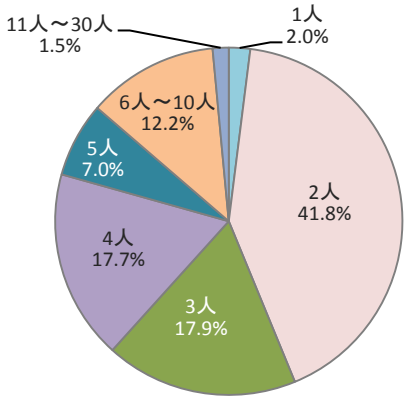
性別・年代（n=402）



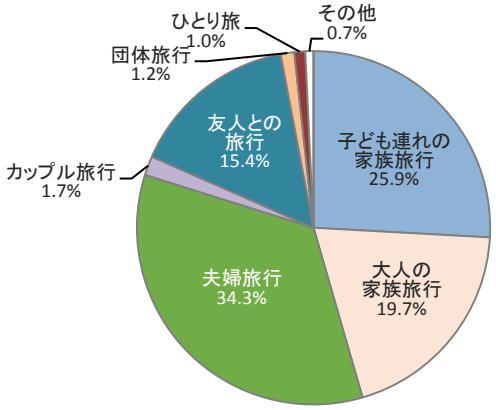
調査地域周辺への来訪回数（n=402）



同行者数 ※回答者を含む（n=402）

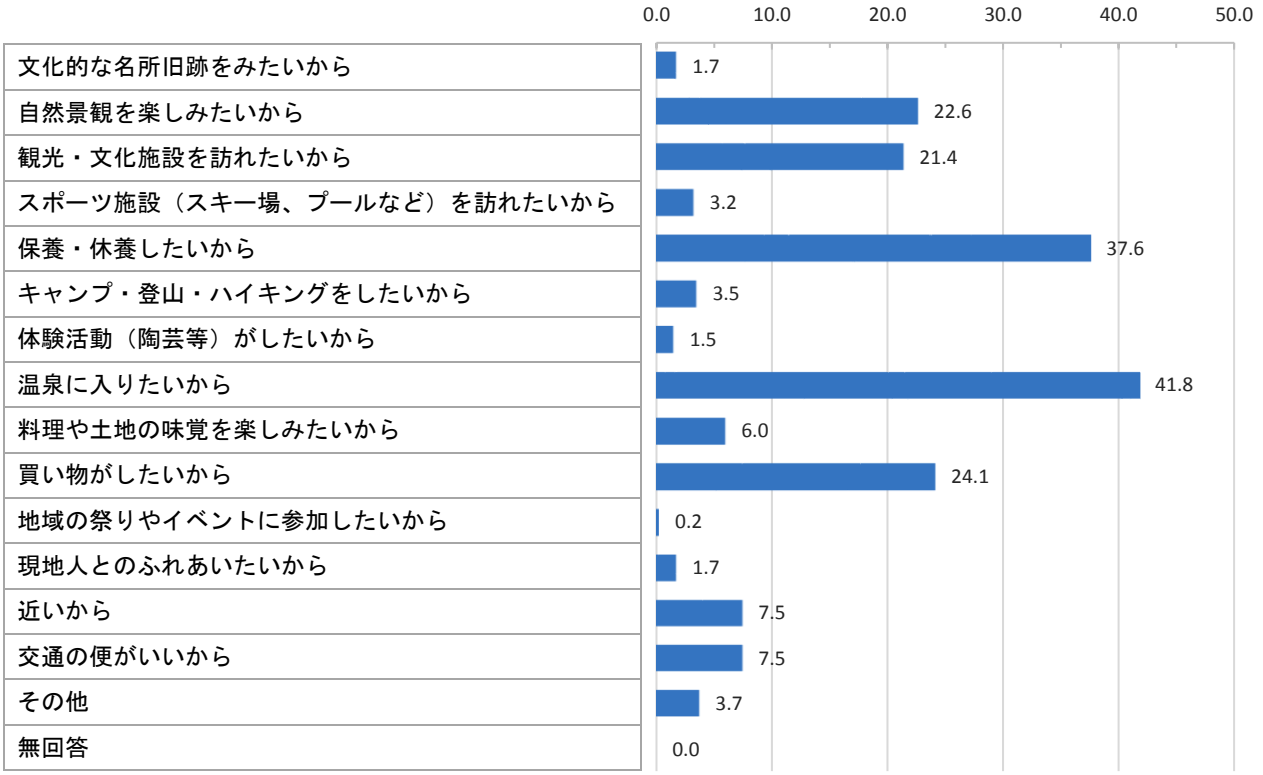


同行者の関係（n=402）



旅行先に選んだ理由は「温泉に入りたいから」が 41.8%で最も多く、次いで「保養・休養したいから」が 37.6%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が 48.8%で最も多く、決め手となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が 41.5%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=402）

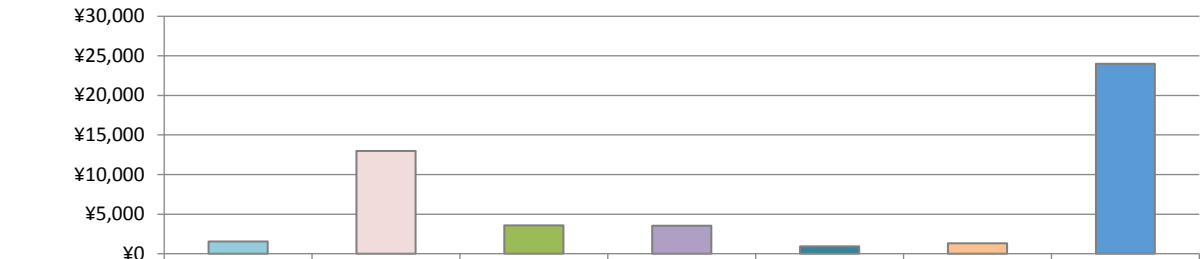


旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=402）

“決め手”となった情報源（単一回答）（n=402）

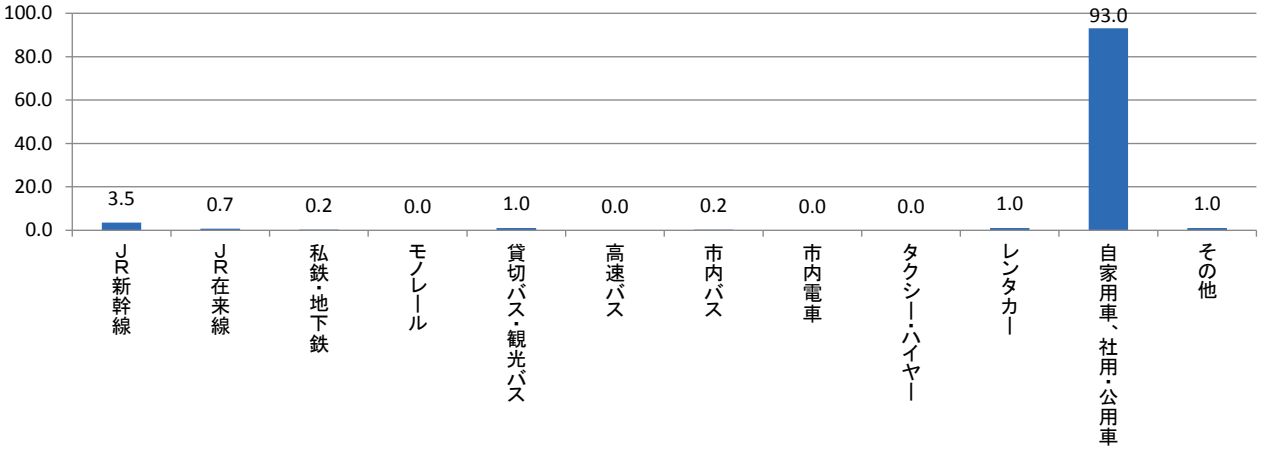
消費支出の平均は、総額で 24,002 円であった。内訳は、「宿泊費」が 12,982 円で最も多く、次いで「土産代」が 3,576 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 93.0%であった。
立ち寄り観光施設は、「塩原温泉郷」が 67 人で最も多く、次いで「千本松牧場」が 39 人であった。

消費支出（平均）



	県内交通費 (n=402)	宿泊費 (n=402)	土産代 (n=402)	飲食費 (n=402)	入場料 (n=402)	その他 (n=402)	消費支出額 (n=402)
消費支出（平均）	¥1,542	¥12,982	¥3,576	¥3,533	¥927	¥1,313	¥24,002

利用交通機関（複数回答）（n=402）



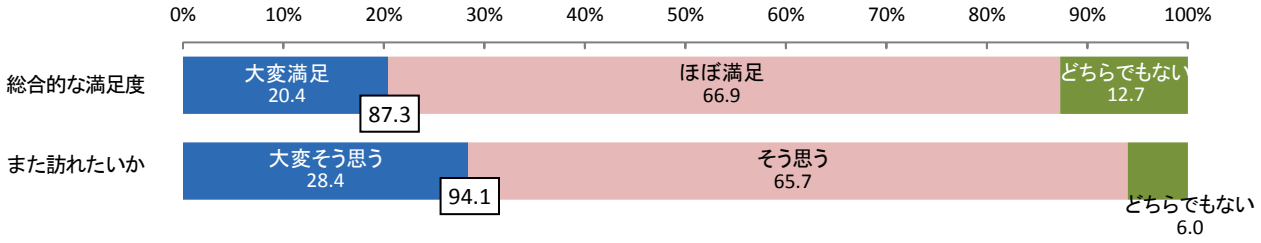
立ち寄り観光施設（n=402）※（　）内は施設に立ち寄った人数

那須	那須	日光
塩原温泉郷(67)	那須野が原公園ｵｰﾄｷｬﾝﾌﾟ場(2)	日光湯元温泉(2)
千本松牧場(39)	塩原カントリークラブ(2)	華厳滝(2)
那須ガーデンアウトレット(37)	那須サファリパーク(2)	大笹牧場(1)
もみじ谷大吊橋(17)	トリックアートの館(2)	戦場ヶ原・小田代原(1)
南ヶ丘牧場(15)	那須オルゴール美術館(2)	川治温泉(1)
ホテルエピナール那須(15)	くろばね紫陽花まつり(1)	日光江戸村(1)
ホテルサンバレー那須(14)	栃木県なかがわ水遊園(1)	県央
りんどう湖ファミリー牧場(13)	道の駅「明治の森黒磯」(1)	道の駅ばとう(5)
那須ロープウェイ(12)	ハンターマウンテン塩原(1)	大谷資料館(1)
那須どうぶつ王国(9)	那須ステンドグラス美術館(1)	フェスタｉｎ大谷(1)
那須高原友愛の森(8)	那須フラワーワールド(1)	県東
那須岳（茶臼岳）(7)	那須アルパカ牧場(1)	益子焼(1)
那須ハイランドパーク(6)	芦野温泉(1)	道の駅もてぎ(1)
板室温泉郷(5)	那須平成の森フィールドセンター(1)	県南
鹿の湯(5)	日光	栗田美術館(1)
道の駅那須与一の郷(4)	二社一寺参拝者(11)	あしかがフラワーパーク(1)
アグリパル塩原(4)	鬼怒川温泉(10)	佐野厄よけ大師(1)
東山道伊王野(3)	湯西川温泉(7)	道の駅どまんなかたぬま(1)

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
那須高原友愛の森（141）、那須ガーデンアウトレット（96）、アグリパル塩原（165）

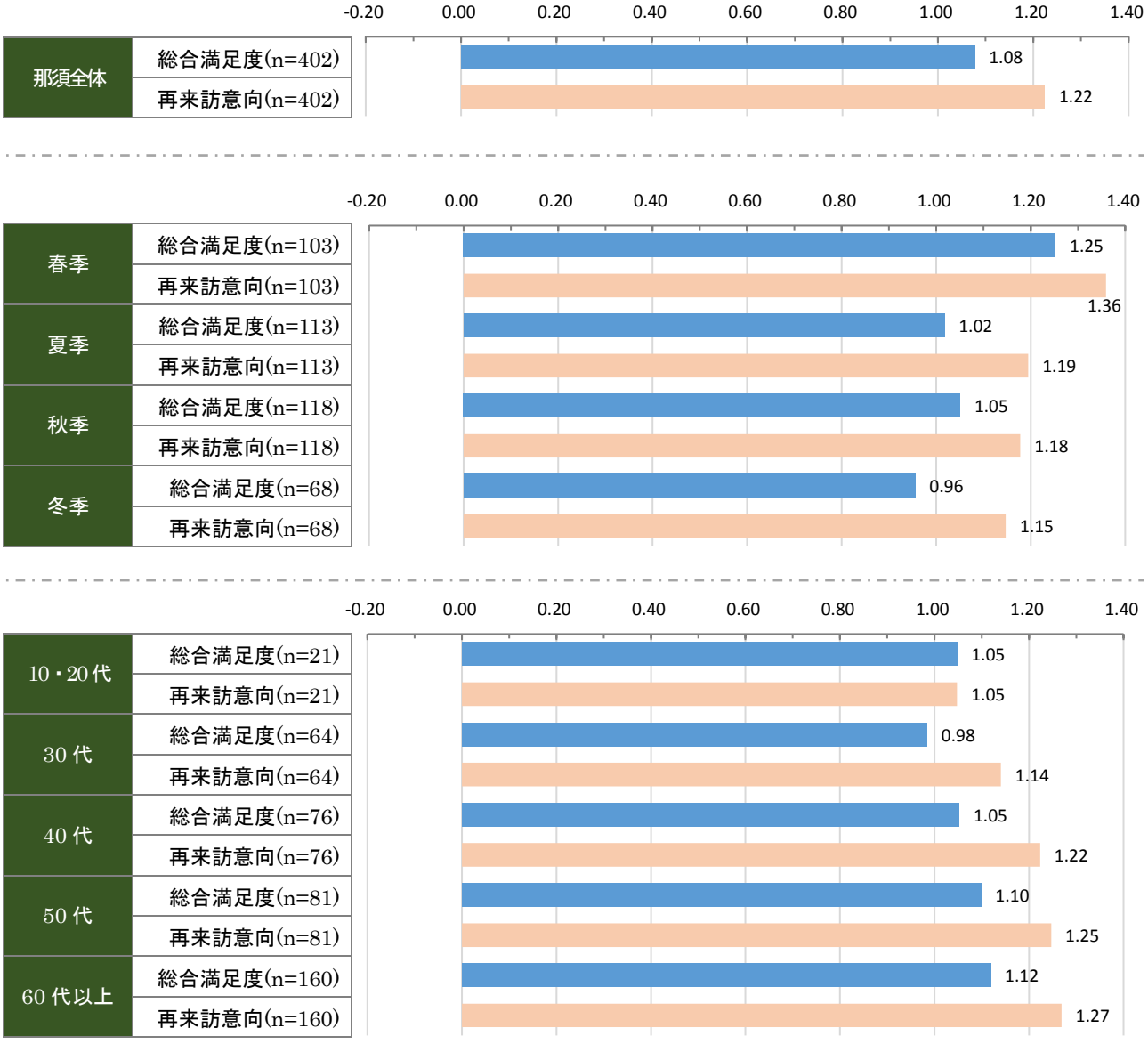
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が 87.3%であった。
また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が 94.1%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向（n=402）



調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

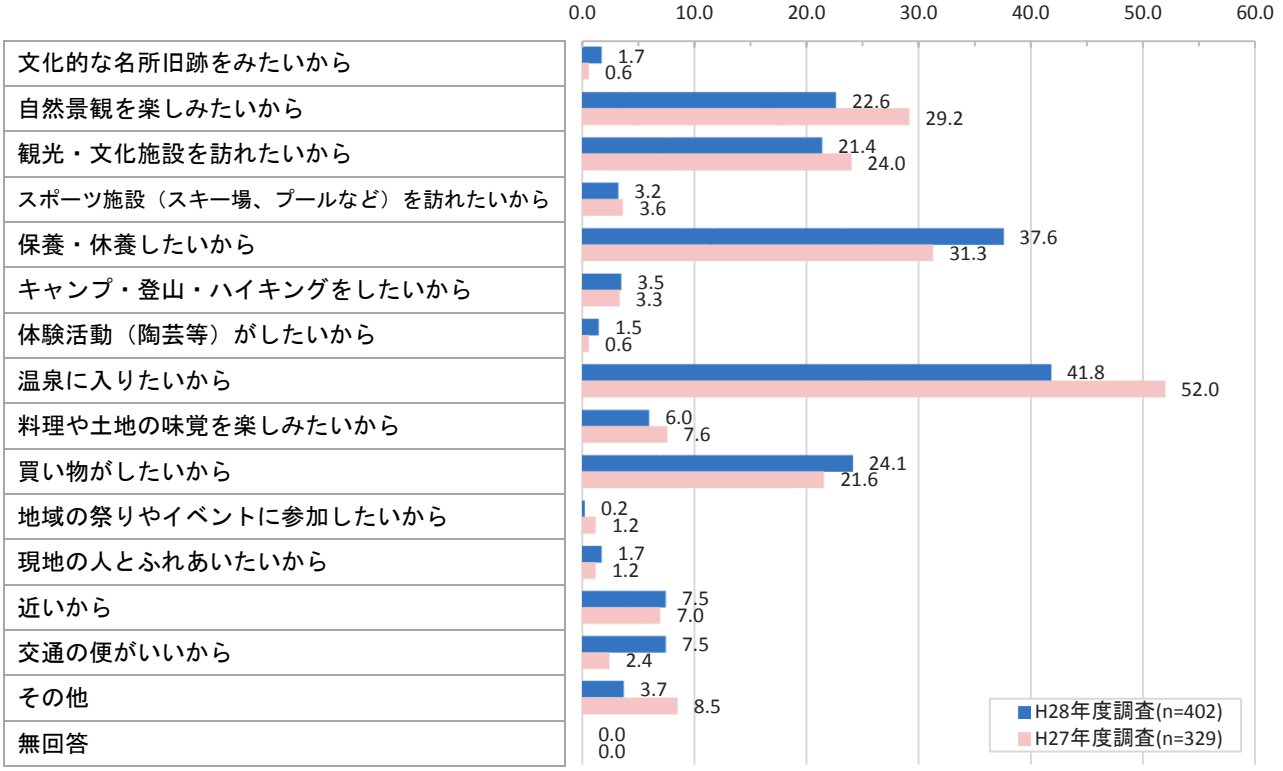
総合満足度を季節別にみると、「春季」が 1.25 で最も高く、「冬季」が 0.96 で最も低かった。
また、再来訪意向についても、「春季」が 1.36 で最も高く、「冬季」が 1.15 で最も低かった。
年代別にみると、総合満足度は「60 代以上」が 1.12 で最も高く、「30 代」が 0.98 で最も低かった。
また、再来訪意向については「60 代以上」が 1.27 で最も高く、「10・20 代」が 1.05 で最も低かった。



②過去調査との比較

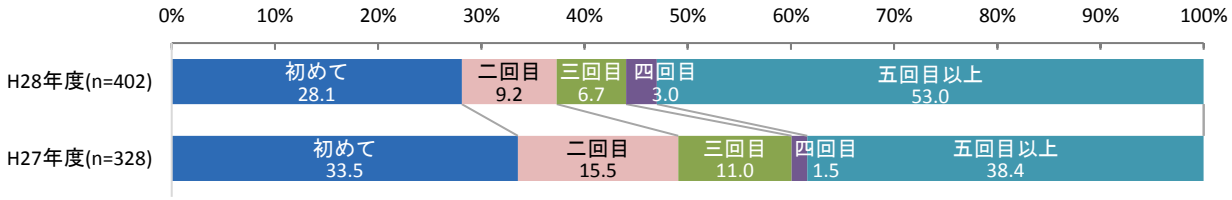
旅行先に選んだ理由は、平成 27 年度の調査では「温泉に入りたいから」が最も多く 52.0%であったが、平成 28 年度調査では 41.8%と 10.2 ポイント減少した。次いで「保養・休養したいから」が平成 27 年度の調査では 31.3%であったが、平成 28 年度調査では 37.6%と 6.3 ポイント増加した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



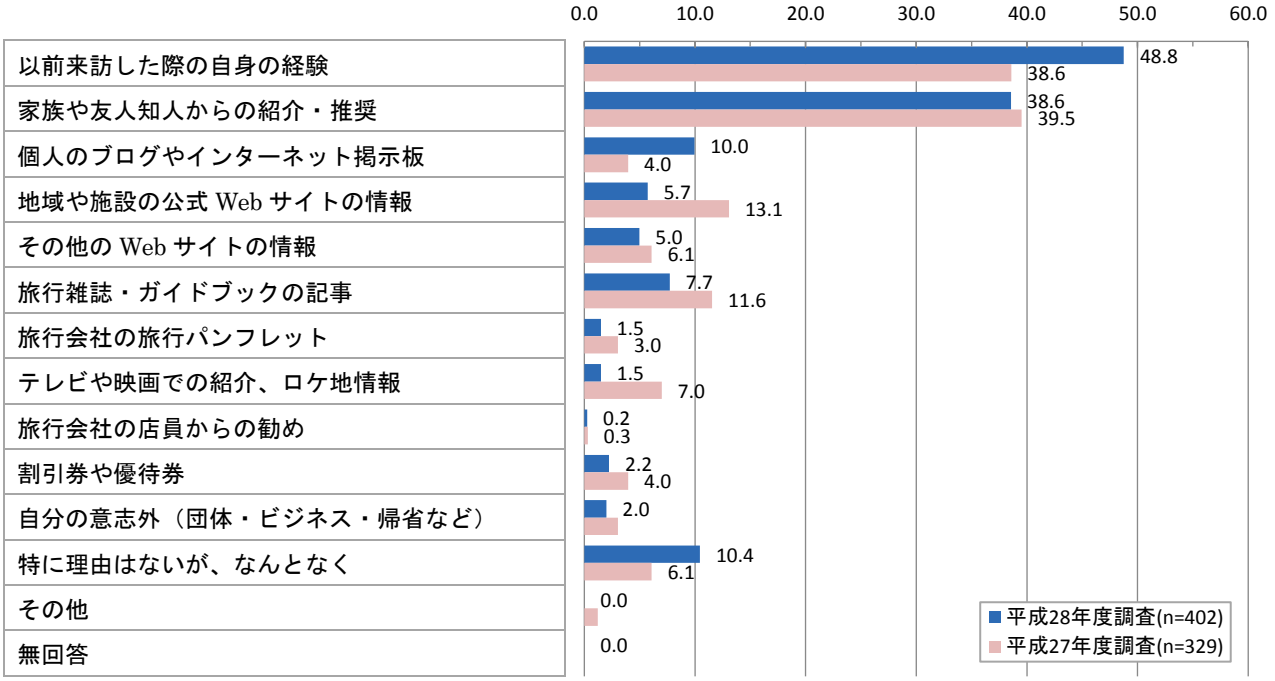
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が平成 27 年度調査では 33.5%であったが、平成 28 年度調査では 28.1%と 7.4 ポイント減少した。一方「五回目以上」が平成 27 年度調査では 38.4%であったが、平成 28 年度調査では 53.0%と 14.6 ポイント増加した。

調査地域周辺への来訪回数　※周辺住民を除く



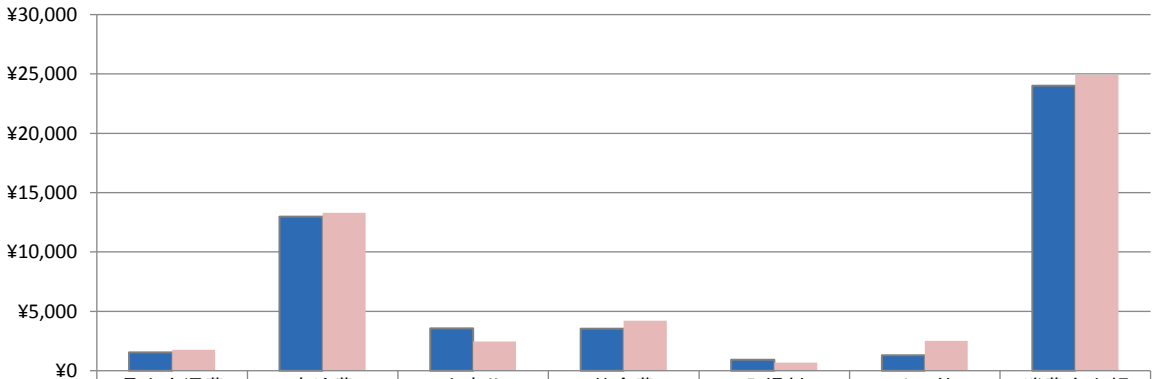
旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が平成 28 年度調査では 48.8%と最も多く、平成 27 年度調査と比較して 10.2 ポイント増加した。次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が平成 28 年度調査では 38.6%と平成 27 年度と比較して 0.9 ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、平成 27 年度調査では 24,937 円であったが、平成 28 年度調査では 24,002 円に減少した。

消費支出（平均）

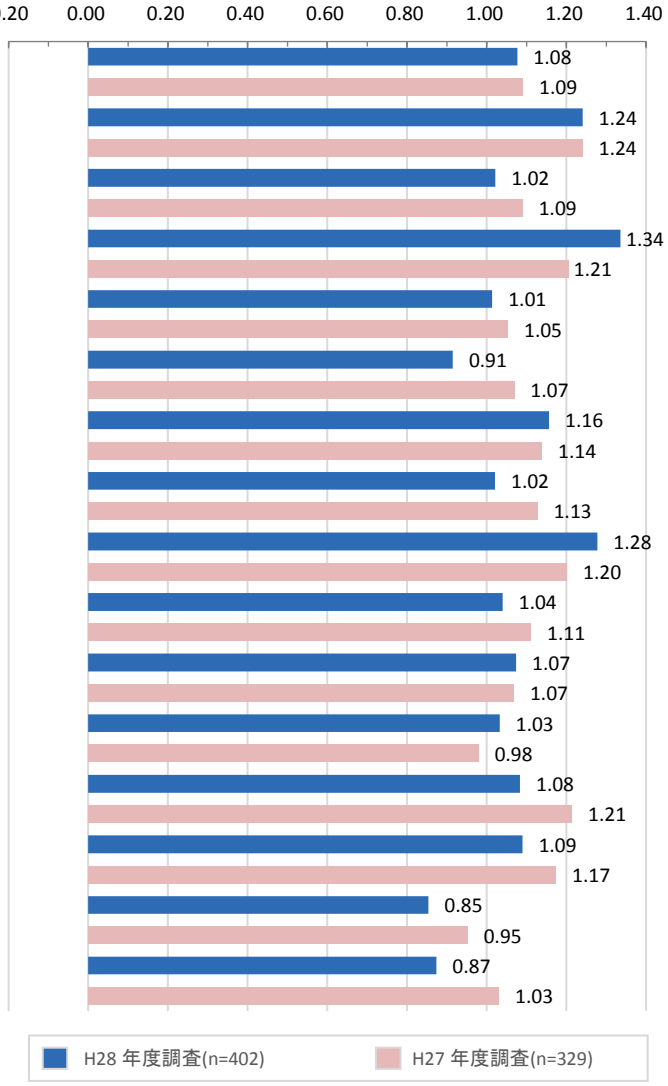


	県内交通費 H28(n=402) H27(n=329)	宿泊費 H28(n=402) H27(n=329)	土産代 H28(n=402) H27(n=329)	飲食費 H28(n=402) H27(n=329)	入場料 H28(n=402) H27(n=329)	その他 H28(n=402) H27(n=329)	消費支出額 H28(n=402) H27(n=329)
H28年度調査	¥1,542	¥12,982	¥3,576	¥3,533	¥927	¥1,313	¥24,002
H27年度調査	¥1,766	¥13,300	¥2,458	¥4,224	¥669	¥2,520	¥24,937

総合満足度は、平成 27 年度、平成 28 年度ともにほぼ横ばいであった。満足度を項目別にみると、平成 27 年度調査では「景観　自然景観や雰囲気」が 1.24 で最も高かったが、平成 28 年度調査では「宿泊施設　宿泊施設」が 1.34 で最も高かった。

項目別満足度（加重平均値）

総合満足度	H28 年度調査		(n=402)
	H27 年度調査		(n=329)
①景観	景観や雰囲気	H28	(n=382)
		H27	(n=320)
	街並みの景観や雰囲気	H28	(n=374)
		H27	(n=318)
②宿泊施設	宿泊施設	H28	(n=253)
		H27	(n=239)
③観光施設	観光施設	H28	(n=362)
		H27	(n=281)
	体験活動	H28	(n=47)
		H27	(n=72)
④食	食	H28	(n=326)
		H27	(n=295)
⑤土産	お土産	H28	(n=242)
		H27	(n=196)
⑥おもてなし	宿泊施設	H28	(n=245)
		H27	(n=233)
	観光施設	H28	(n=351)
		H27	(n=270)
	飲食店	H28	(n=326)
		H27	(n=279)
	土産物店	H28	(n=247)
		H27	(n=195)
	交通事業者	H28	(n=24)
		H27	(n=42)
	地域住民	H28	(n=78)
		H27	(n=138)
⑦その他	地域内での移動	H28	(n=239)
		H27	(n=208)
	現地での観光情報・案内	H28	(n=87)
		H27	(n=161)



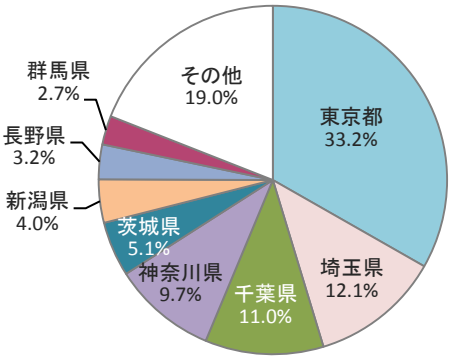
ⅱ.日光エリア

①平成 28 年度調査結果

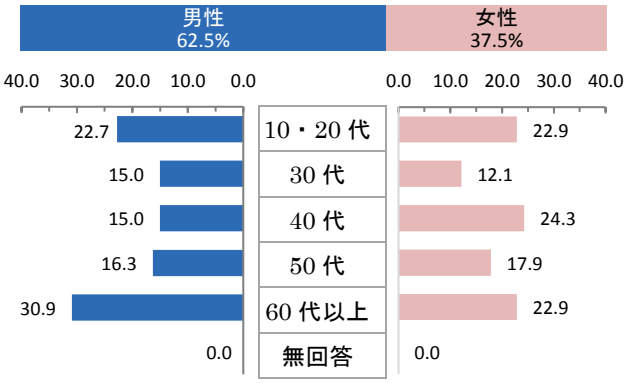
宿泊客（日光エリア）　　サンプル数：373

お住まいは「東京都」が最も多く 33.2%、次いで「埼玉県」が 12.1%、「千葉県」が 11.0%であった。
年代は、男性は「60 代以上」が 30.9%、女性は「10・20 代」「60 代以上」が 22.9%で最も多かった。
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が 44.2%で最も多かった。
同行者数は「2 人」が 59.0%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 34.3%で最も多かった。

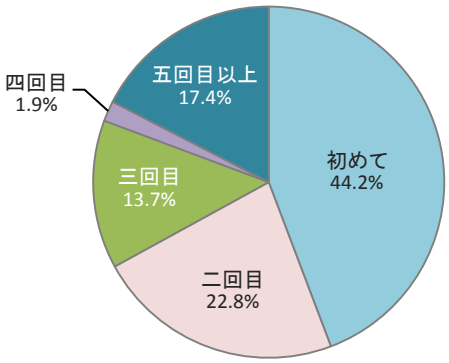
お住まい（n=373）



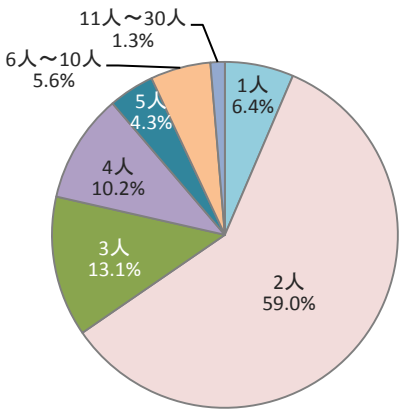
性別・年代（n=373）



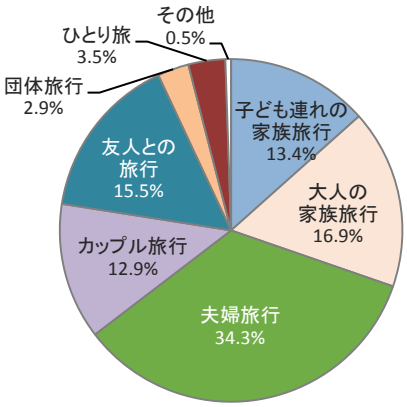
調査地域周辺への来訪回数（n=373）



同行者数 ※回答者を含む（n=373）

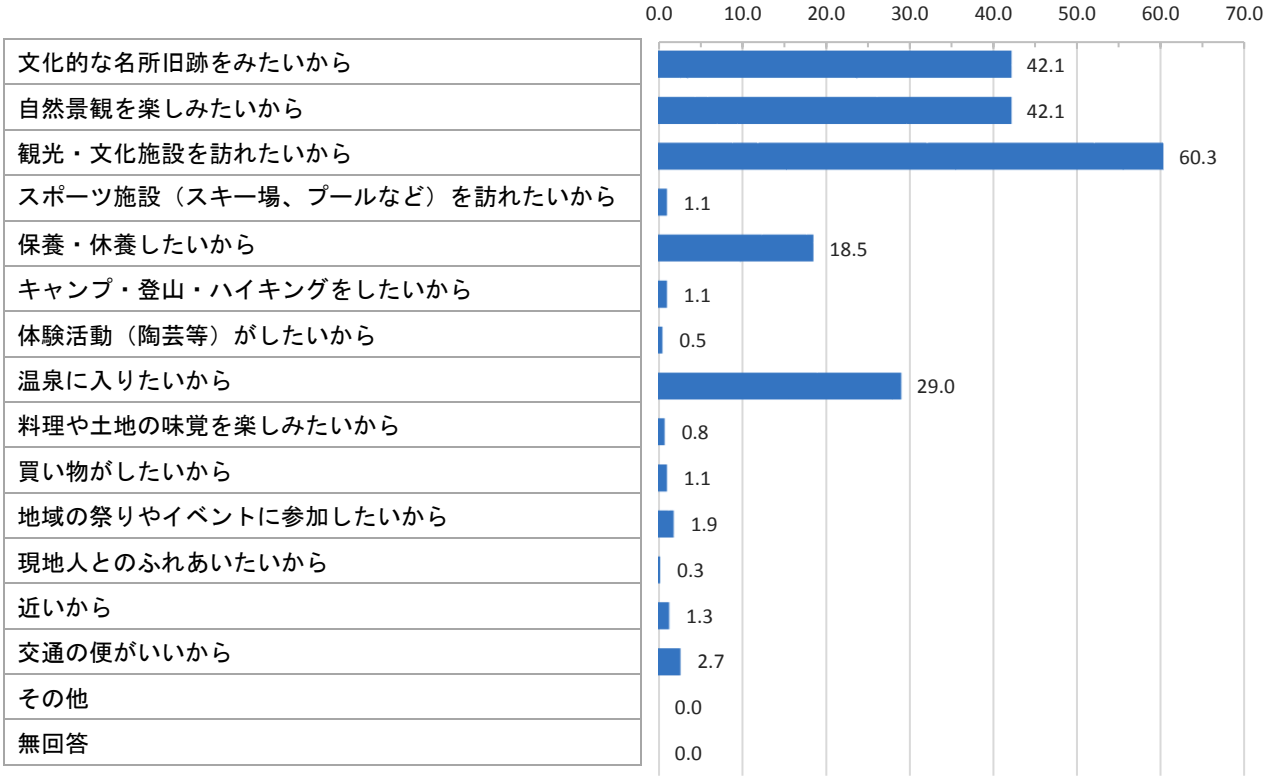


同行者の関係（n=373）



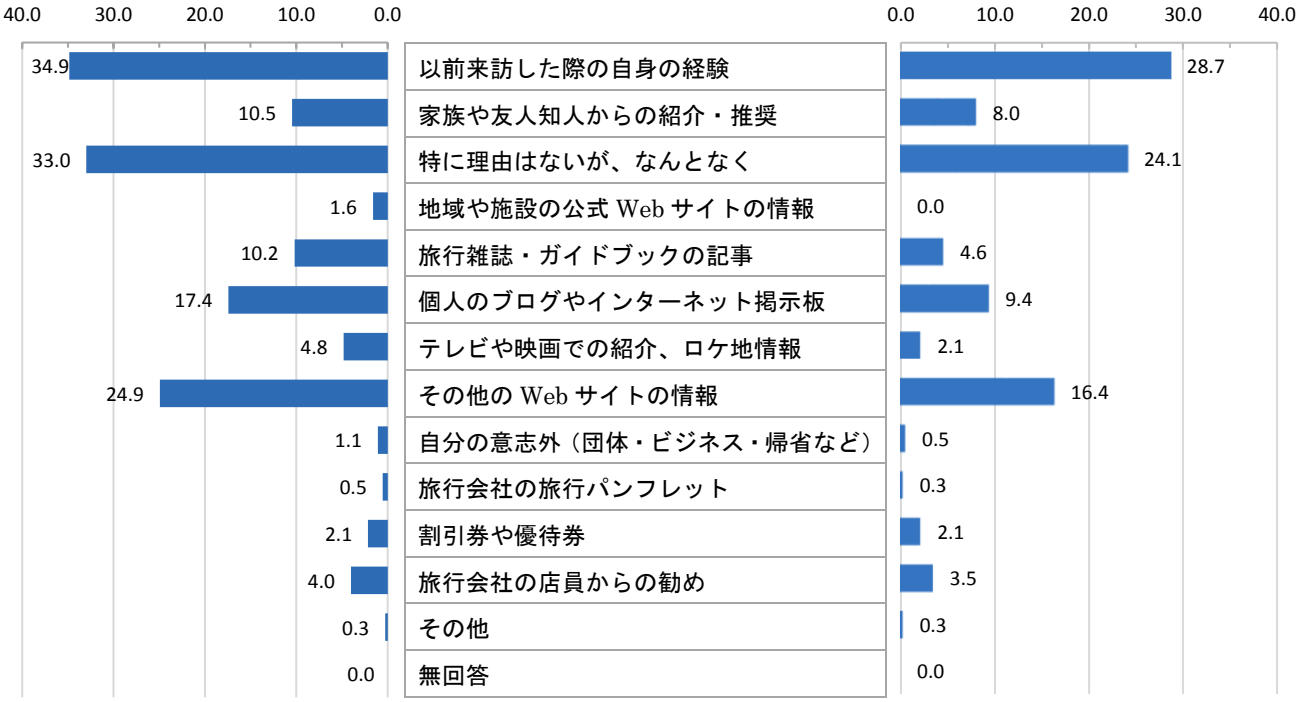
旅行先に選んだ理由は「観光・文化施設を訪れたいから」が 60.3%で最も多く、次いで「文化的な名所旧跡をみたいから」「自然景観を楽しみたいから」がともに 42.1%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が 34.9%で最も多く、決め手となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が 28.7%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=373）



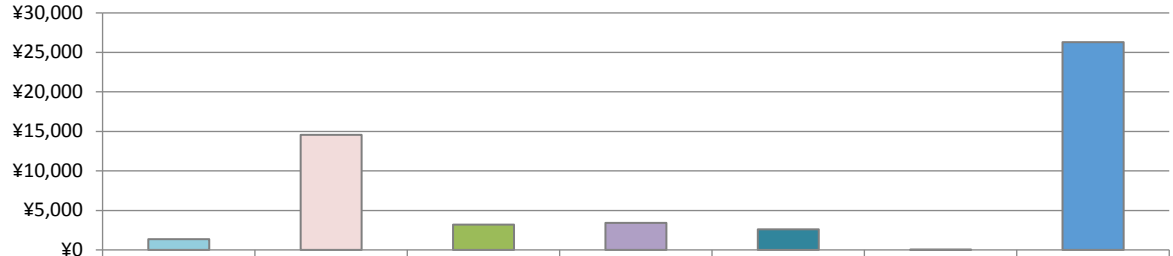
旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=373）

“決め手”となった情報源（単一回答）（n=373）



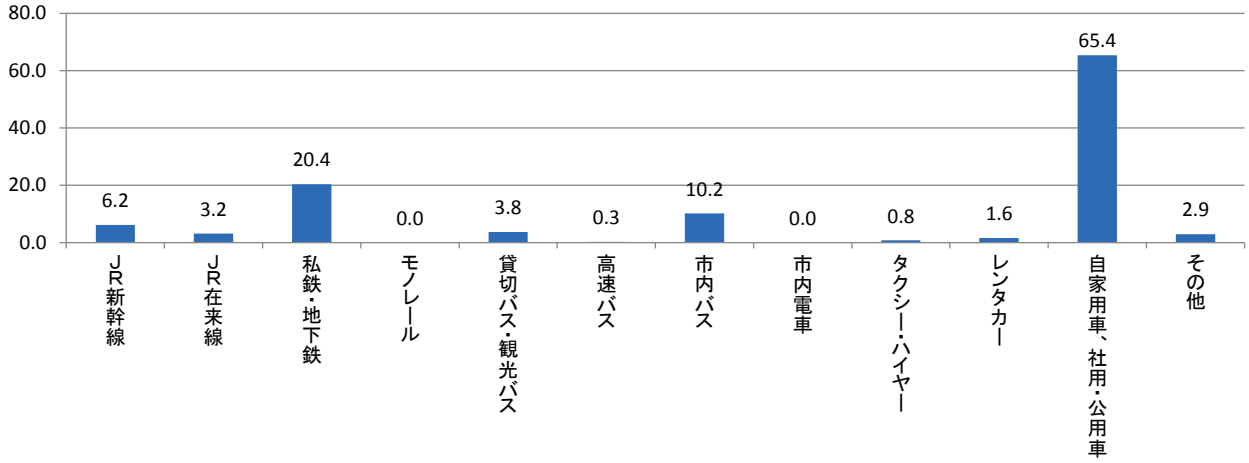
消費支出の平均は、総額で 26,298 円であった。内訳は、「宿泊費」が 14,566 円で最も多く、次いで「飲食費」が 3,420 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 65.4%で最も多かった。
立ち寄り観光施設は、「二社一寺」が 100 人と最も多く、次いで「鬼怒川温泉」が 76 人であった。

消費支出（平均）



	県内交通費 (n=373)	宿泊費 (n=373)	土産代 (n=373)	飲食費 (n=373)	入場料 (n=373)	その他 (n=373)	消費支出額 (n=373)
消費支出（平均）	¥1,358	¥14,566	¥3,200	¥3,420	¥2,604	¥31	¥26,298

利用交通機関（複数回答）（n=373）



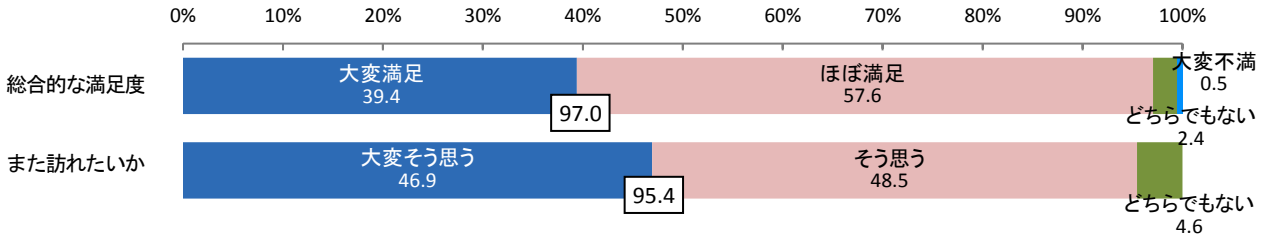
立ち寄り観光施設（n=373）※（　）内は施設に立ち寄った人数

那須	日光	県央
塩原温泉郷(6)	日光湯元温泉(15)	大谷資料館(3)
千本松牧場(3)	霧降の滝(12)	サンタヒルズキャンプ場(1)
アグリパル塩原(2)	湯西川温泉(8)	県東
もみじ谷大吊橋(2)	東武ワールドスクウェア(6)	陶芸メッセ・益子(1)
道の駅やいた(1)	明智平(4)	益子焼(1)
那須ガーデンアウトレット(1)	龍王峡(3)	県南
ハンターマウンテン塩原(1)	二荒山神社中宮祠(2)	佐野プレミアム・アウトレット(4)
那須サファリパーク(1)	川治温泉(2)	岩下記念館(1)
ホテルサンバレー那須(1)	大笹牧場(1)	
日光	船場亭(1)	
二社一寺参拝者(100)	日光田母沢御用邸記念公園(1)	
鬼怒川温泉(76)	イタリア大使館別荘記念公園(1)	
中禅寺湖(69)	とりっくあーとぴあ日光(1)	
戦場ヶ原・小田代原(34)	足尾銅山観光(1)	
華厳滝(26)	道の駅湯西川(1)	
日光江戸村(19)	川俣温泉(1)	
湯滝・湯の湖(16)		

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
二社一寺（107）、華厳の滝（98）、東武ワールドスクウェア（168）

調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が 97.0%であった。また訪れたいかは「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が 95.4%であった。

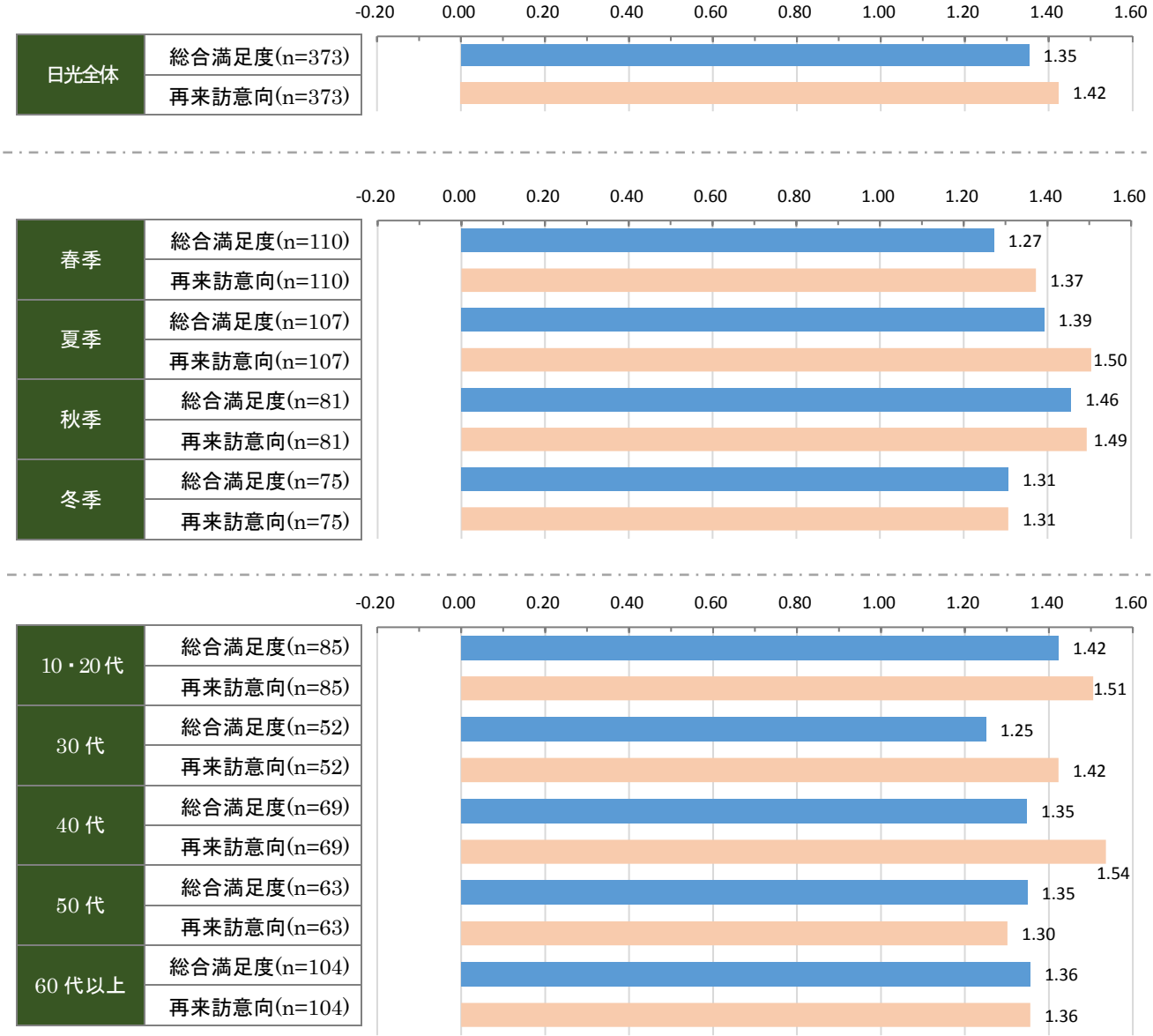
調査地域の総合満足度／再来訪意向（n=373）



調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「秋季」が 1.46 で最も高く、「春季」が 1.27 で最も低かった。また、再来訪意向については、「夏季」が 1.50 で最も高く、「冬季」が 1.31 で最も低かった。

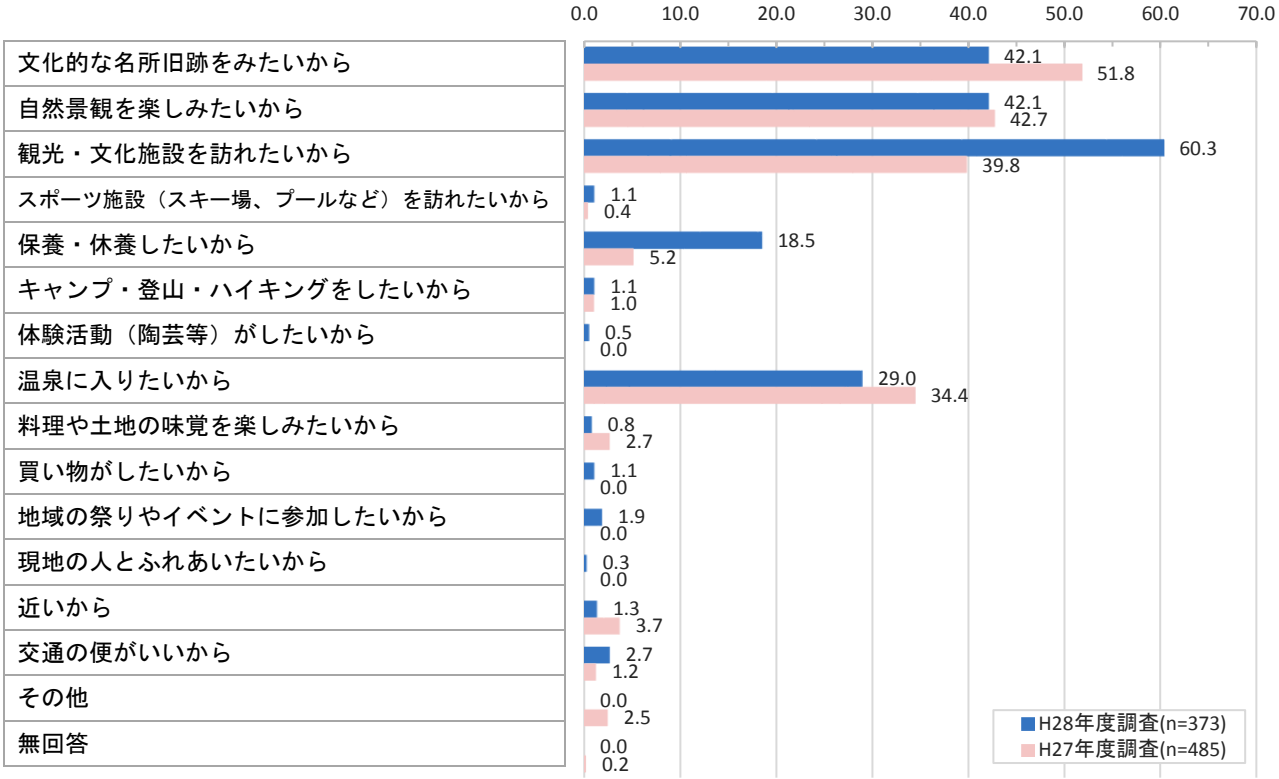
年代別にみると、総合満足度は「10・20 代」が 1.42 で最も高く、「30 代」が 1.25 で最も低かった。また、再来訪意向については「40 代」が 1.54 で最も高く、「50 代」が 1.30 で最も低かった。



②過去調査との比較

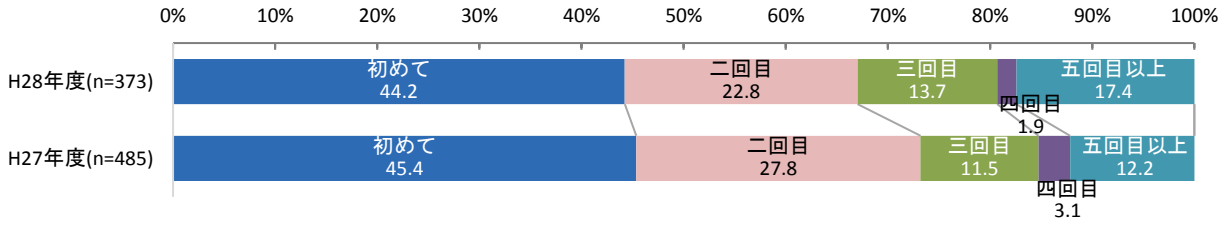
旅行先に選んだ理由は、「観光・文化施設を訪れたいから」が平成 28 年度調査では 60.3%と最も多く、平成 27 年度調査と比較して 20.5 ポイント増加した。次いで、「文化的な名所旧跡をみたいから」「自然景観を楽しみたいから」が平成 28 年度調査では 42.1%と平成 27 年度と比較して減少した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



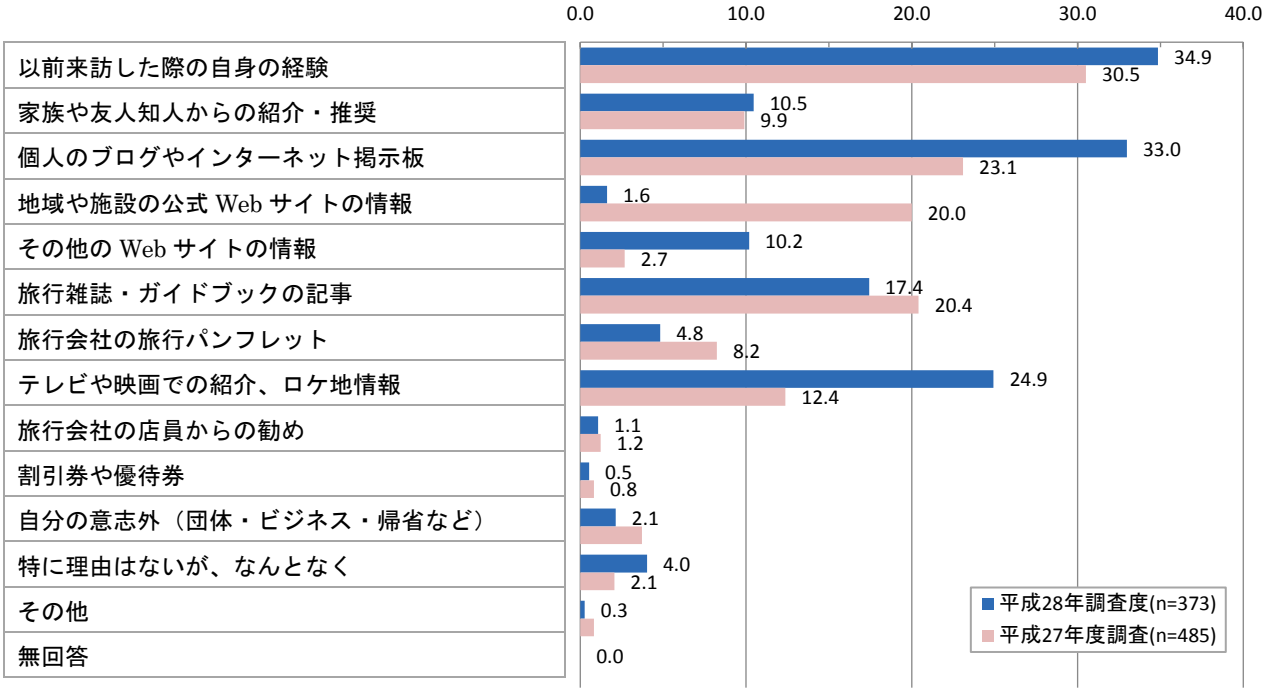
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が平成 27 年度調査では 45.4%であったが、平成 28 年度調査では 44.2%と 1.2 ポイント減少した。一方「五回目以上」が平成 27 年度調査では 12.2%であったが、平成 28 年度調査では 17.4%と 5.2 ポイント増加した。

調査地域周辺への来訪回数　※周辺住民を除く



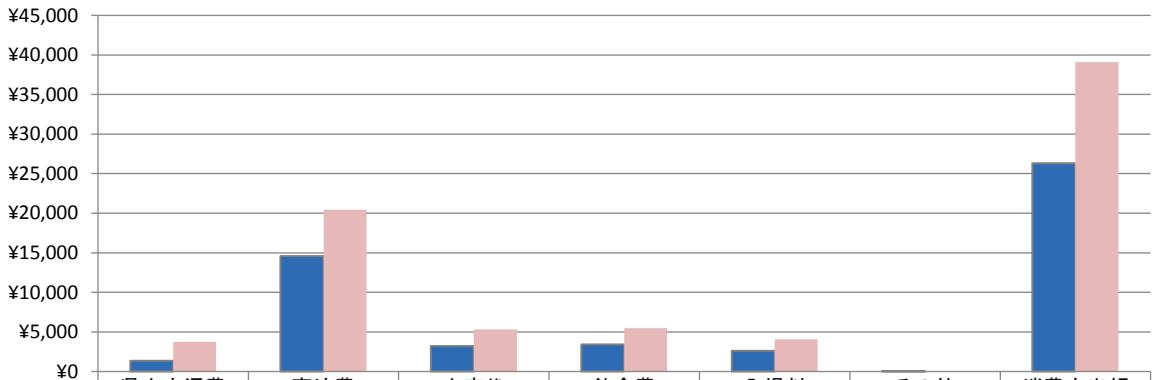
旅行先に選んだ情報源は、平成 27 年度調査では「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く 30.5%であったが、平成 28 年度調査では 34.9%と 4.4 ポイント増加した。次いで「個人のブログやインターネット掲示板」が平成 27 年度調査では 23.1%であったが、平成 28 年度調査では 33.0%と平成 27 年度と比較して 9.9 ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、平成 27 年度調査では 39,115 円であったが、平成 28 年度調査では 26,298 円に減少した。

消費支出（平均）

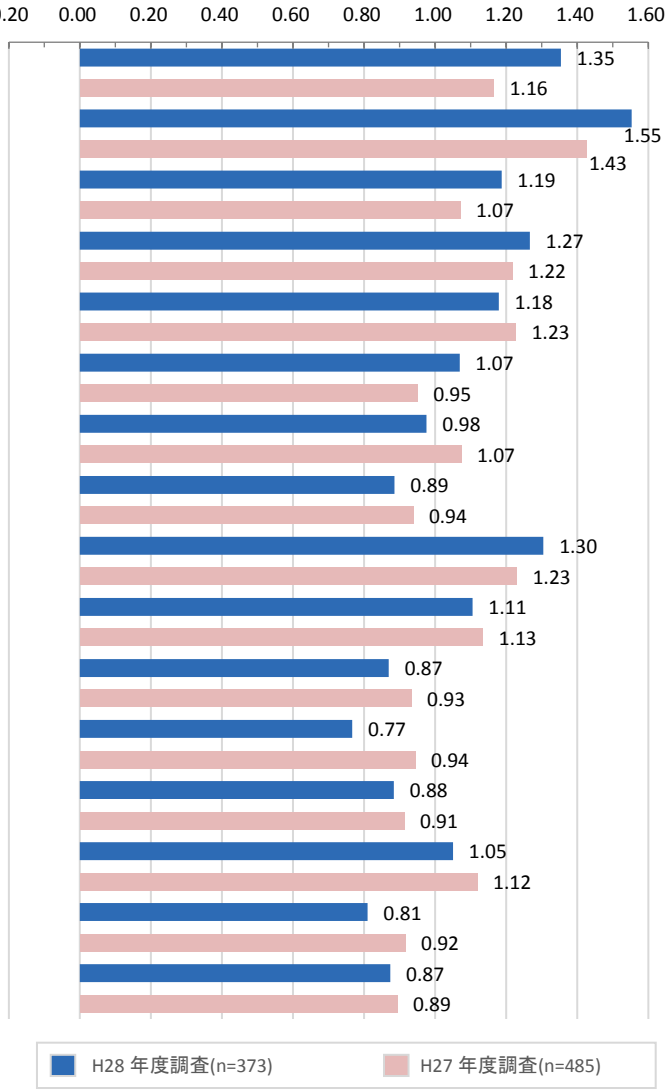


	県内交通費 H28(n=373) H27(n=485)	宿泊費 H28(n=373) H27(n=485)	土産代 H28(n=373) H27(n=485)	飲食費 H28(n=373) H27(n=485)	入場料 H28(n=373) H27(n=485)	その他 H28(n=373) H27(n=485)	消費支出額 H28(n=373) H27(n=485)
H28年度調査	¥1,358	¥14,566	¥3,200	¥3,420	¥2,604	¥31	¥26,298
H27年度調査	¥3,737	¥20,438	¥5,304	¥5,485	¥4,081	¥70	¥39,115

総合満足度は、平成 27 年度調査では 1.16 であったが、平成 28 年度調査では 1.35 と 0.19 ポイント増加した。満足度を項目別にみると、平成 27 年度調査では「景観　自然景観や雰囲気」が 1.43 で最も高く、平成 28 年度調査でも 1.55 と最も高かった。

項目別満足度（加重平均値）

総合満足度	H28 年度調査		(n=373)
	H27 年度調査		(n=485)
①景観	自然景観や雰囲気	H28	(n=371)
		H27	(n=484)
	街並みの景観や雰囲気	H28	(n=358)
		H27	(n=480)
②宿泊施設	宿泊施設	H28	(n=229)
		H27	(n=300)
③観光施設	観光施設	H28	(n=312)
		H27	(n=445)
	体験活動	H28	(n=29)
		H27	(n=40)
④食	食	H28	(n=248)
		H27	(n=397)
⑤土産	お土産	H28	(n=175)
		H27	(n=225)
⑥おもてなし	宿泊施設	H28	(n=220)
		H27	(n=296)
	観光施設	H28	(n=303)
		H27	(n=425)
	飲食店	H28	(n=245)
		H27	(n=373)
	土産物店	H28	(n=167)
		H27	(n=248)
	交通事業者	H28	(n=103)
		H27	(n=137)
	地域住民	H28	(n=60)
		H27	(n=76)
⑦その他	地域内での移動	H28	(n=326)
		H27	(n=462)
	現地での観光情報・案内	H28	(n=198)
		H27	(n=457)



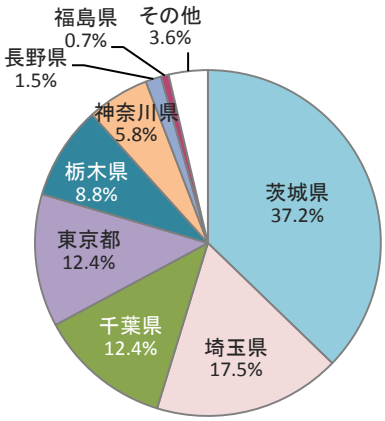
iii.県央エリア

①平成 28 年度調査結果

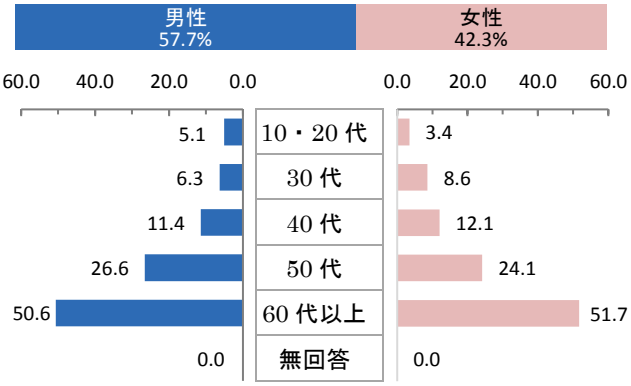
宿泊客（県央エリア）　　サンプル数：137

お住まいは「茨城県」が最も多く 37.2%、次いで「埼玉県」が 17.5%、「千葉県」が 12.4%であった。年代は、男女ともに「60 代以上」が最も多く「男性」が 50.6%、「女性」が 51.7%であった。
調査地域周辺への来訪回数は、「五回目以上」が 50.4%で最も多かった。
同行者数は「2 人」が 49.6%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 39.4%で最も多かった。

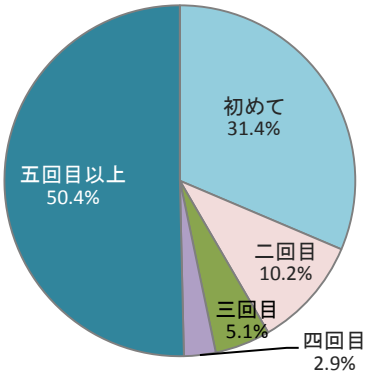
お住まい（n=137）



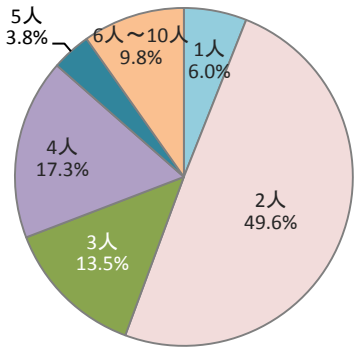
性別・年代（n=137）



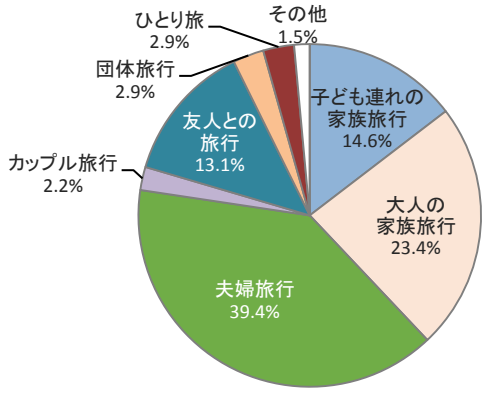
調査地域周辺への来訪回数（n=137）



同行者数 ※回答者を含む（n=137）

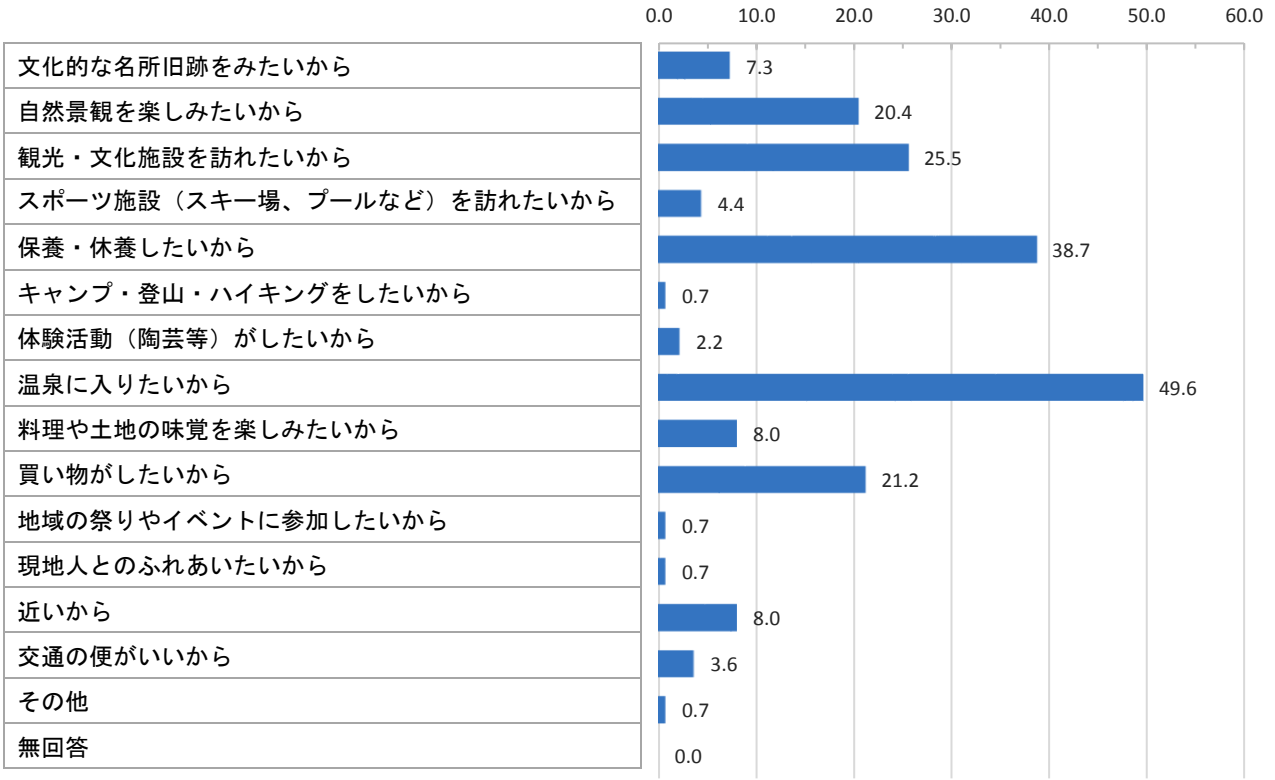


同行者の関係（n=137）

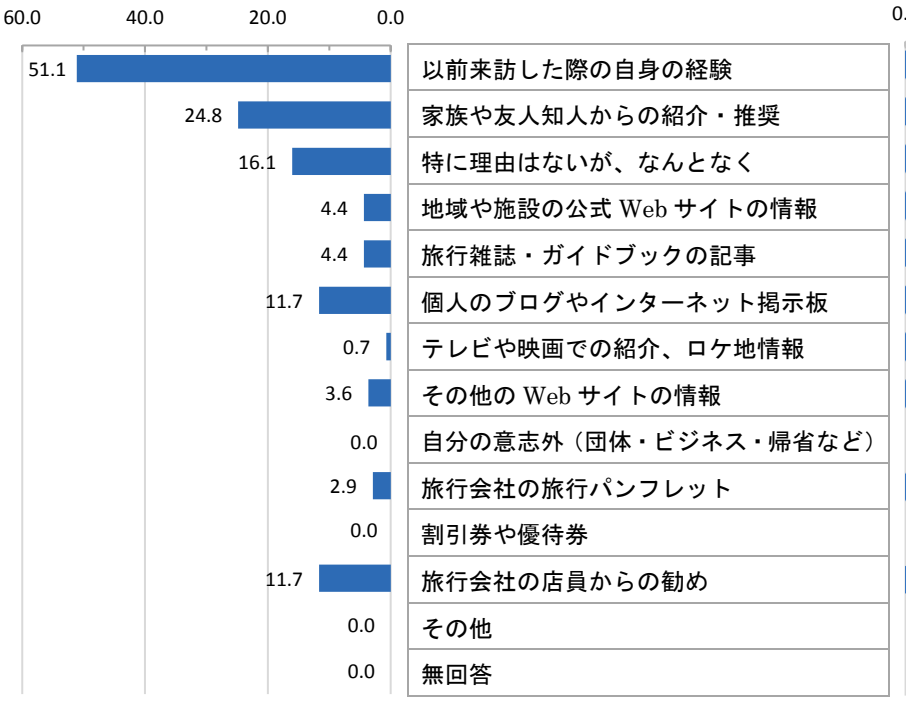


旅行先に選んだ理由は「温泉に入りたいから」が 49.6%で最も多く、次いで「保養・休養したいから」が 38.7%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が 51.1%で最も多く、決め手となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が 44.5%で最も多かった。

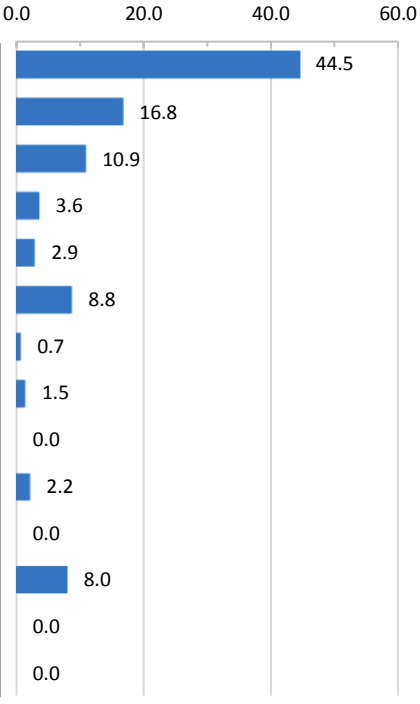
旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=137）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=137）

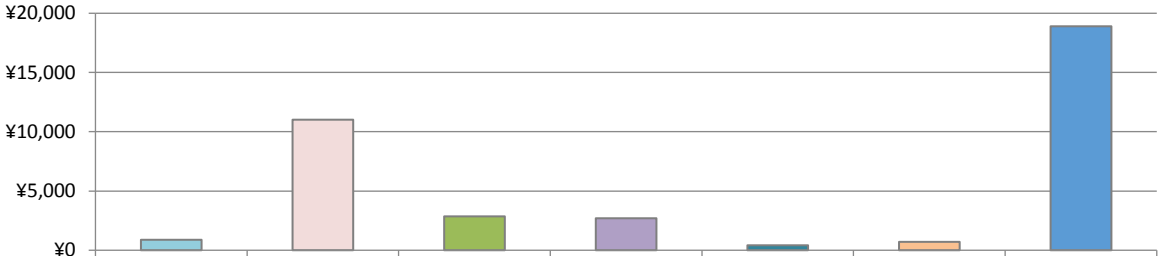


“決め手”となった情報源（単一回答）（n=137）



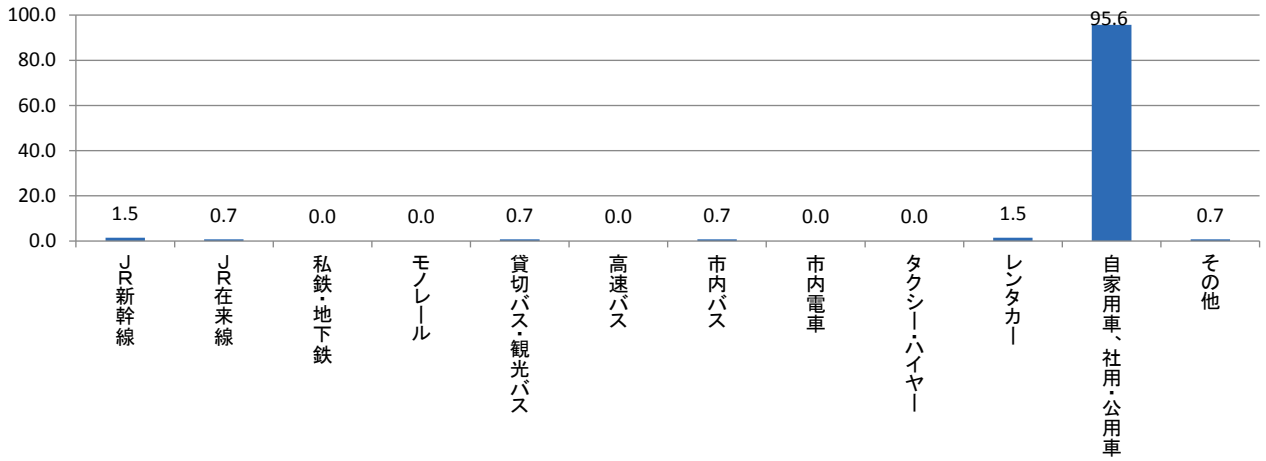
消費支出の平均は、総額で 18,912 円であった。内訳は、「宿泊費」が 11,018 円で最も多く、次いで「土産代」が 2,859 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 95.6%で最も多かった。
立ち寄り観光施設は、「鬼怒川温泉」が 12 人で最も多く、次いで「二社一寺」が 8 人であった。

消費支出（平均）



	県内交通費 (n=137)	宿泊費 (n=137)	土産代 (n=137)	飲食費 (n=137)	入場料 (n=137)	その他 (n=137)	消費支出額 (n=137)
消費支出（平均）	¥883	¥11,018	¥2,859	¥2,699	¥418	¥708	¥18,912

利用交通機関（複数回答）（n=137）



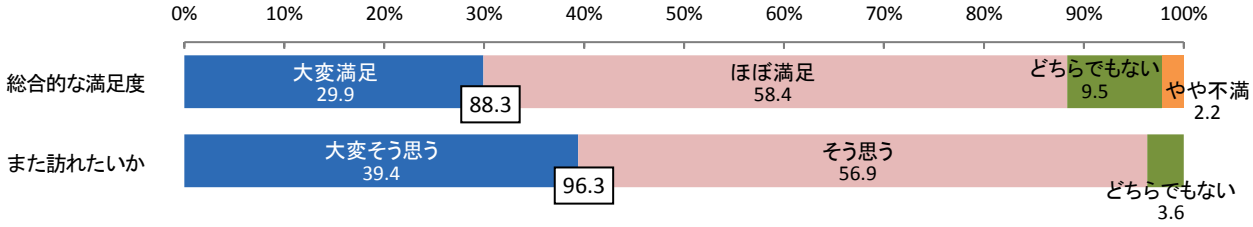
立ち寄り観光施設（n=137）※（　）内は施設に立ち寄った人数

那須	日光	県央
塩原温泉郷(4)	鬼怒川温泉(12)	大谷資料館(5)
那須ガーデンアウトレット(2)	二社一寺参拝者(8)	道の駅ばとう(4)
東山道伊王野(2)	中禅寺湖(4)	道の駅きつれがわ(2)
ホテルサンバレー那須(2)	大笹牧場(2)	かんぽの宿　喜連川温泉(2)
道の駅那須与一の郷(1)	華厳滝(2)	馬頭温泉郷(2)
栃木県なかがわ水遊園(1)	霧降の滝(2)	ろまんちっく村(1)
矢板温泉(1)	川治温泉(2)	ジュンクラシックカントリークラブ(1)
道の駅やいた(1)	日光湯元温泉(1)	県東
板室温泉郷(1)	日光江戸村(1)	道の駅もてぎ(2)
もみじ谷大吊橋(1)	道の駅湯西川(1)	
塩原カントリークラブ(1)	湯西川温泉(1)	
道の駅「湧水の郷しおや」(1)		県南
那須高原友愛の森(1)		佐野プレミアム・アウトレット(2)
ホテルエピナール那須(1)		
馬頭広重美術館(1)		

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
ろまんちっく村（38）、道の駅きつれがわ（35）、道の駅ばとう（64）

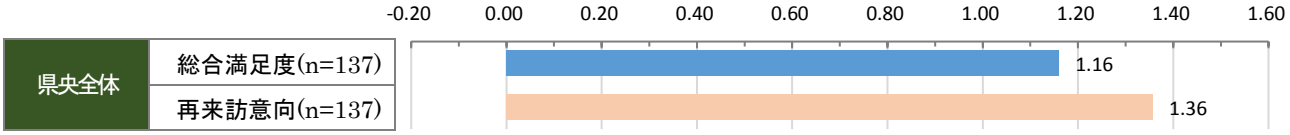
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が 88.3%であった。
また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が 96.3%であった。

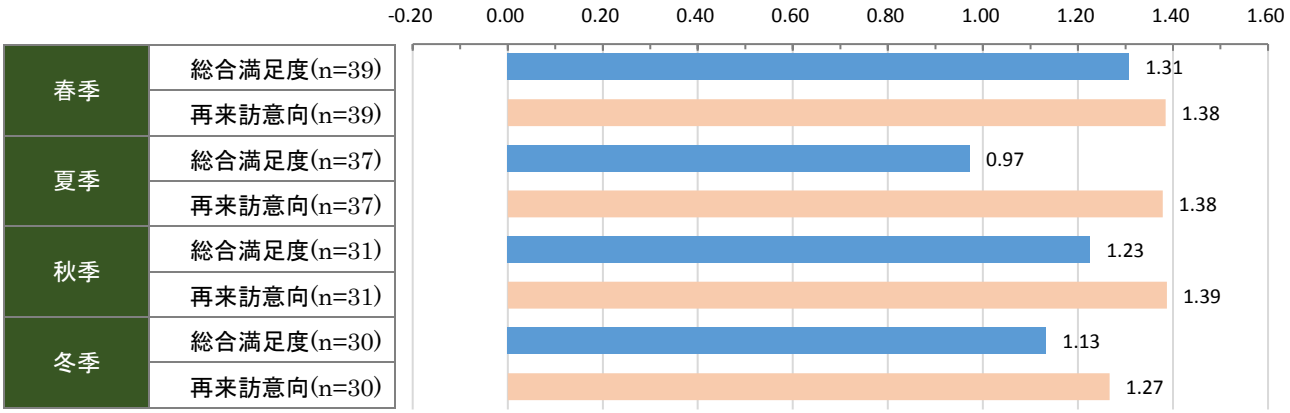
調査地域の総合満足度／再来訪意向（n=137）

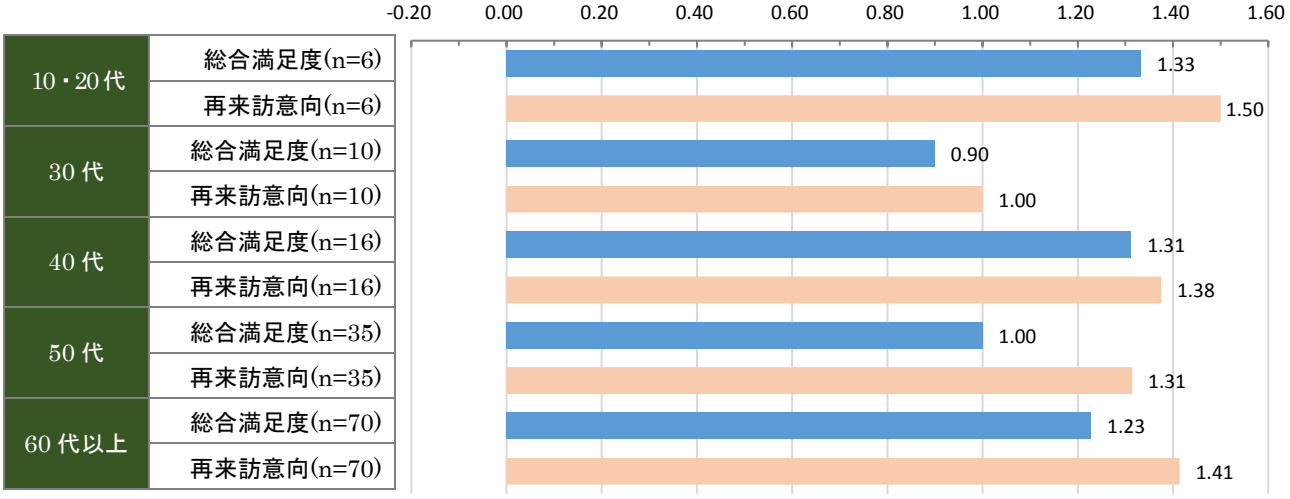


調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「春季」が 1.31 で最も高く、「夏季」が 0.97 で最も低かった。
また、再来訪意向については、「秋季」が 1.39 で最も高く、四季を通して高い傾向にあった。
年代別にみると、総合満足度は「10・20 代」が 1.33 で最も高く、「30 代」が 0.90 で最も低かった。
また、再来訪意向についても「10・20 代」が 1.50 で最も高く、「30 代」が 1.00 で最も低かった。



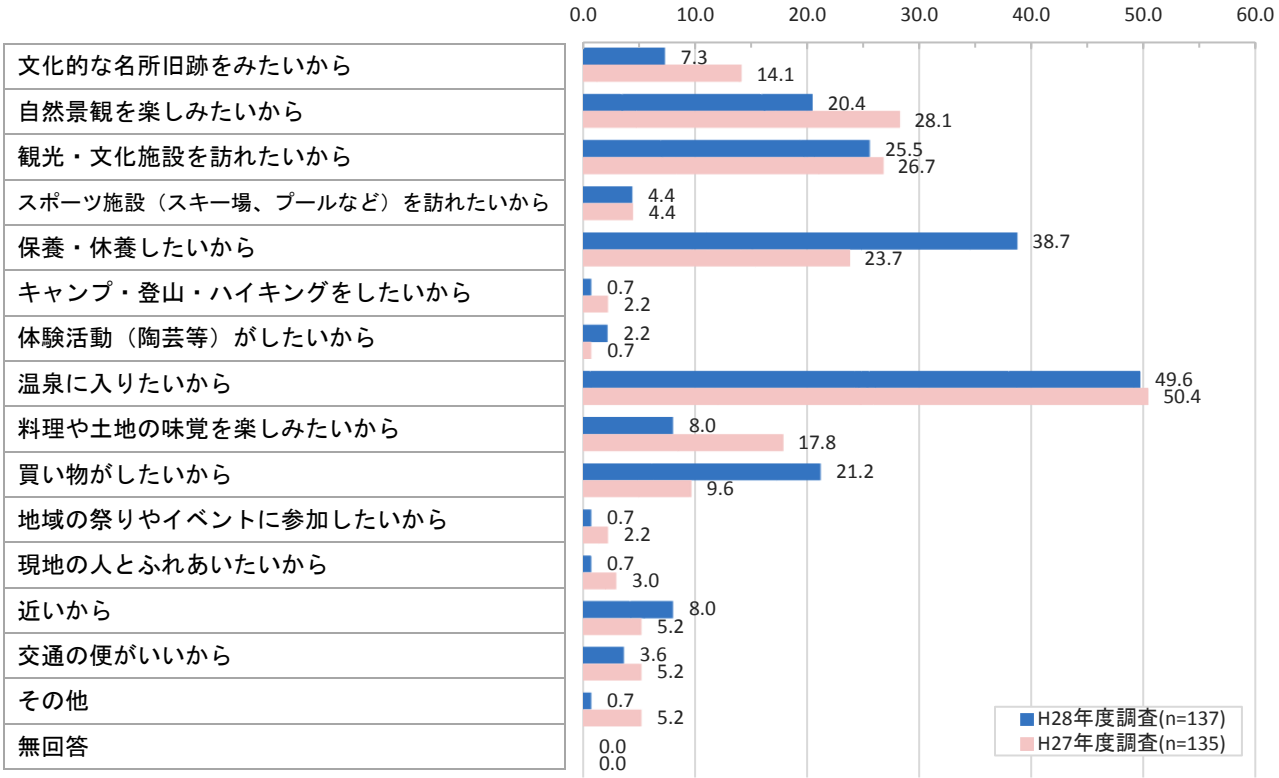




②過去調査との比較

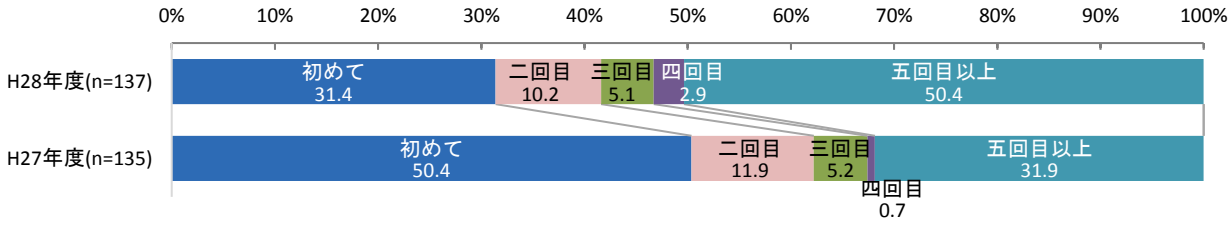
旅行先に選んだ理由は、平成 27 年度の調査では「温泉に入りたいから」が最も多く 50.4%であったが、平成 28 年度調査では 49.6%と 0.8 ポイント減少した。次いで「保養・休養したいから」が平成 27 年度の調査では 23.7%であったが、平成 28 年度調査では 38.7%と 15.0 ポイント増加した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



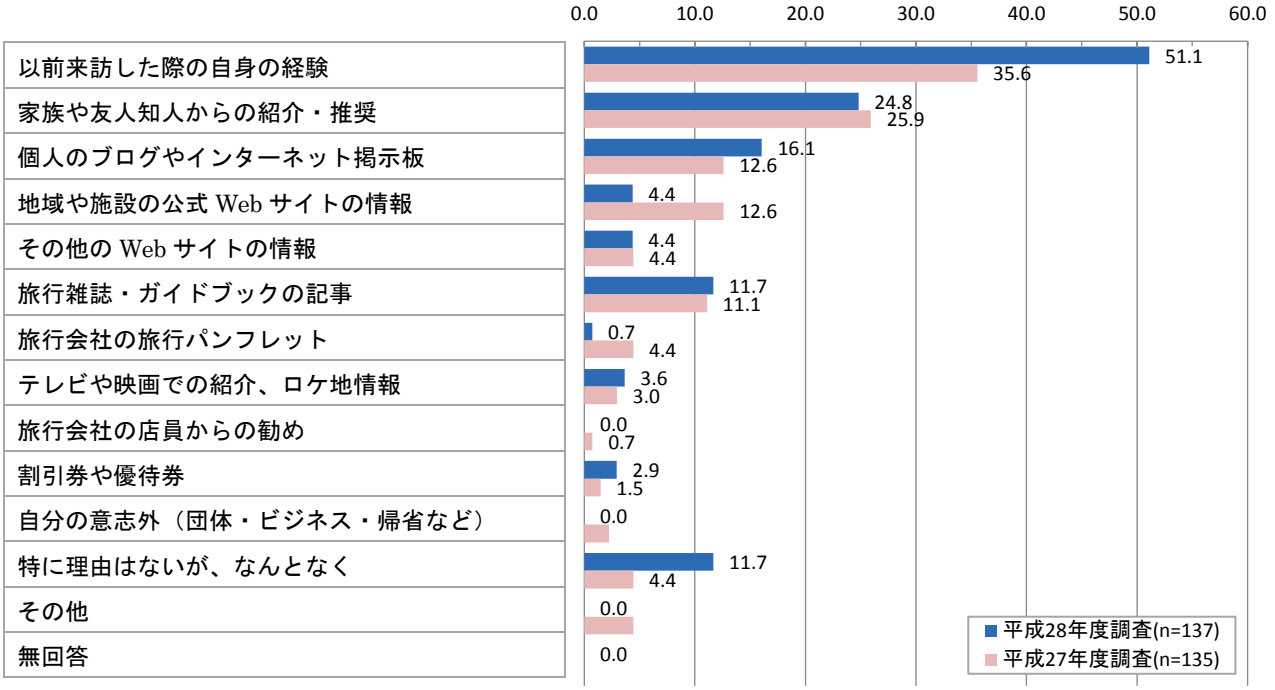
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が平成 27 年度調査では 50.4%であったが、平成 28 年度調査では 31.4%と 19.3 イント減少した。一方「五回目以上」が平成 27 年度調査では 31.9%であったが、平成 28 年度調査では 50.4%と 18.5 ポイント増加した。

調査地域周辺への来訪回数　※周辺住民を除く



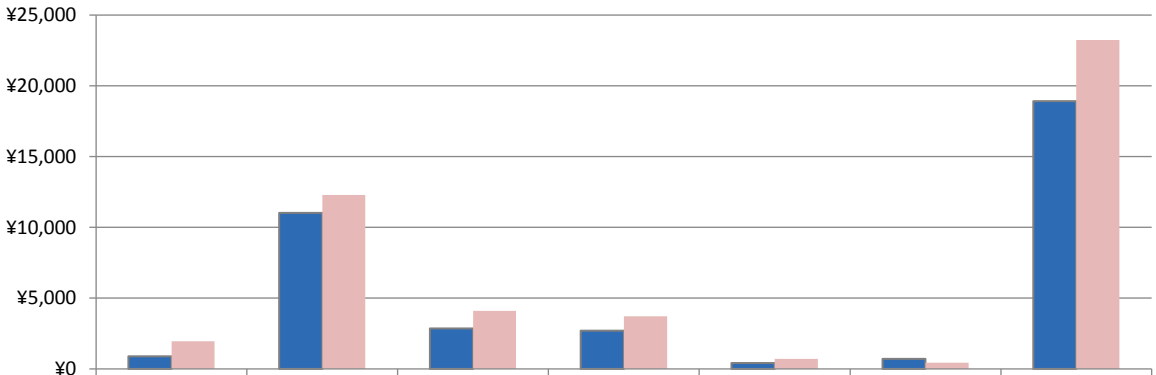
旅行先に選んだ情報源は、平成 27 年度調査では「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く 35.6%であったが、平成 28 年度調査では 51.1%と 15.5 ポイント増加した。次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が平成 27 年度調査では 25.9%であったが、平成 28 年度調査では 24.8%と平成 27 年度と比較して 0.9 ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、平成 27 年度調査では 23,246 円であったが、平成 28 年度調査では 18,912 円に減少した。

消費支出（平均）

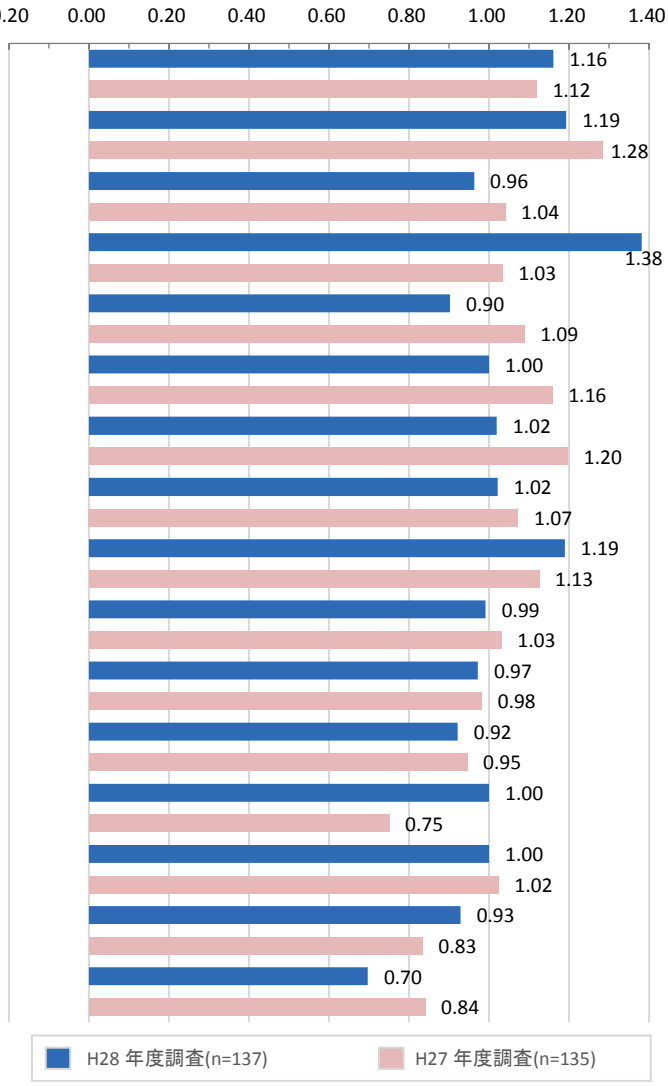


	県内交通費 H28(n=137) H27(n=135)	宿泊費 H28(n=137) H27(n=135)	土産代 H28(n=137) H27(n=135)	飲食費 H28(n=137) H27(n=135)	入場料 H28(n=137) H27(n=135)	その他 H28(n=137) H27(n=135)	消費支出額 H28(n=137) H27(n=135)
H28年度調査	¥883	¥11,018	¥2,859	¥2,699	¥418	¥708	¥18,912
H27年度調査	¥1,952	¥12,295	¥4,108	¥3,727	¥715	¥449	¥23,246

総合満足度は、平成 27 年度調査では 1.12 であったが、平成 28 年度調査では 1.16 と 0.04 ポイント増加した。満足度を項目別にみると、平成 27 年度調査では「景観　自然景観や雰囲気」が 1.28 で最も高かったが、平成 28 年度調査では「宿泊施設　宿泊施設」が 1.38 で最も高かった。

項目別満足度（加重平均値）

総合満足度	H28 年度調査		(n=137)
	H27 年度調査		(n=135)
①自然景観	景観や雰囲気	H28	(n=135)
		H27	(n=134)
	街並みの景観や雰囲気	H28	(n=134)
		H27	(n=134)
②宿泊施設	宿泊施設	H28	(n=76)
		H27	(n=92)
③観光施設	観光施設	H28	(n=123)
		H27	(n=114)
	体験活動	H28	(n=4)
		H27	(n=19)
④食	食	H28	(n=105)
		H27	(n=112)
⑤土産	お土産	H28	(n=94)
		H27	(n=83)
⑥おもてなし	宿泊施設	H28	(n=74)
		H27	(n=88)
	観光施設	H28	(n=114)
		H27	(n=97)
	飲食店	H28	(n=107)
		H27	(n=107)
	土産物店	H28	(n=89)
		H27	(n=91)
	交通事業者	H28	(n=6)
		H27	(n=12)
	地域住民	H28	(n=32)
		H27	(n=43)
⑦その他	地域内での移動	H28	(n=70)
		H27	(n=84)
	現地での観光情報・案内	H28	(n=33)
		H27	(n=75)



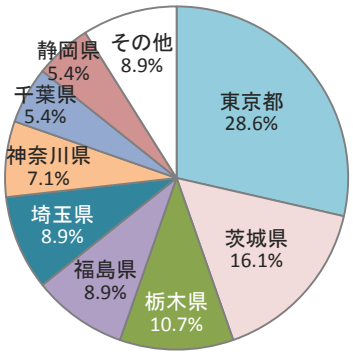
ⅳ.県東エリア

①平成 28 年度調査結果

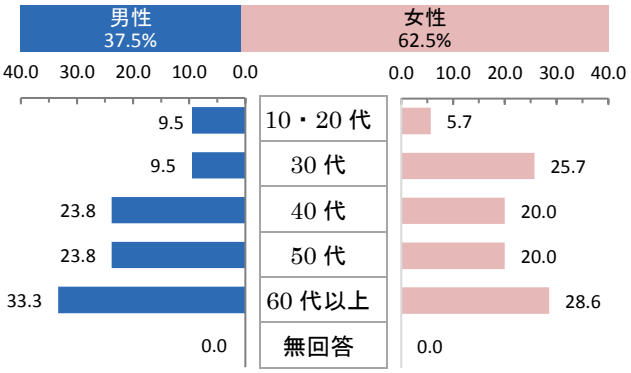
宿泊客（県東エリア）　　サンプル数：56

お住まいは「東京都」が最も多く 28.6%、次いで「茨城県」が 16.1%、「栃木県」が 10.7%であった。年代は、男女ともに「60 代以上」が最も多く「男性」が 33.3%、「女性」が 28.6%であった。
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が 42.9%で最も多かった。
同行者数は「2 人」が 55.6%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 39.3%で最も多かった。

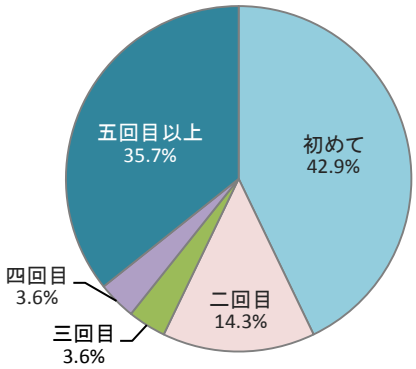
お住まい（n=56）



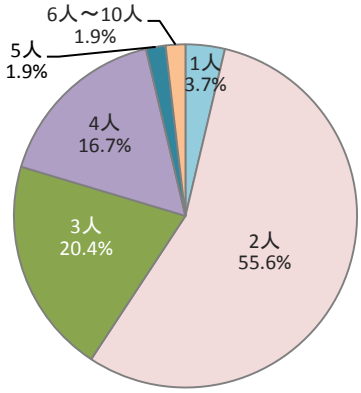
性別・年代（n=56）



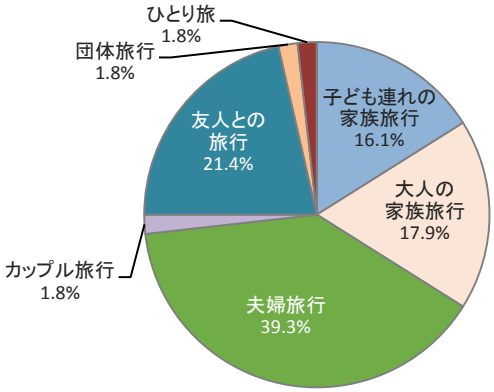
調査地域周辺への来訪回数（n=56）



同行人数 ※回答者を含む（n=56）

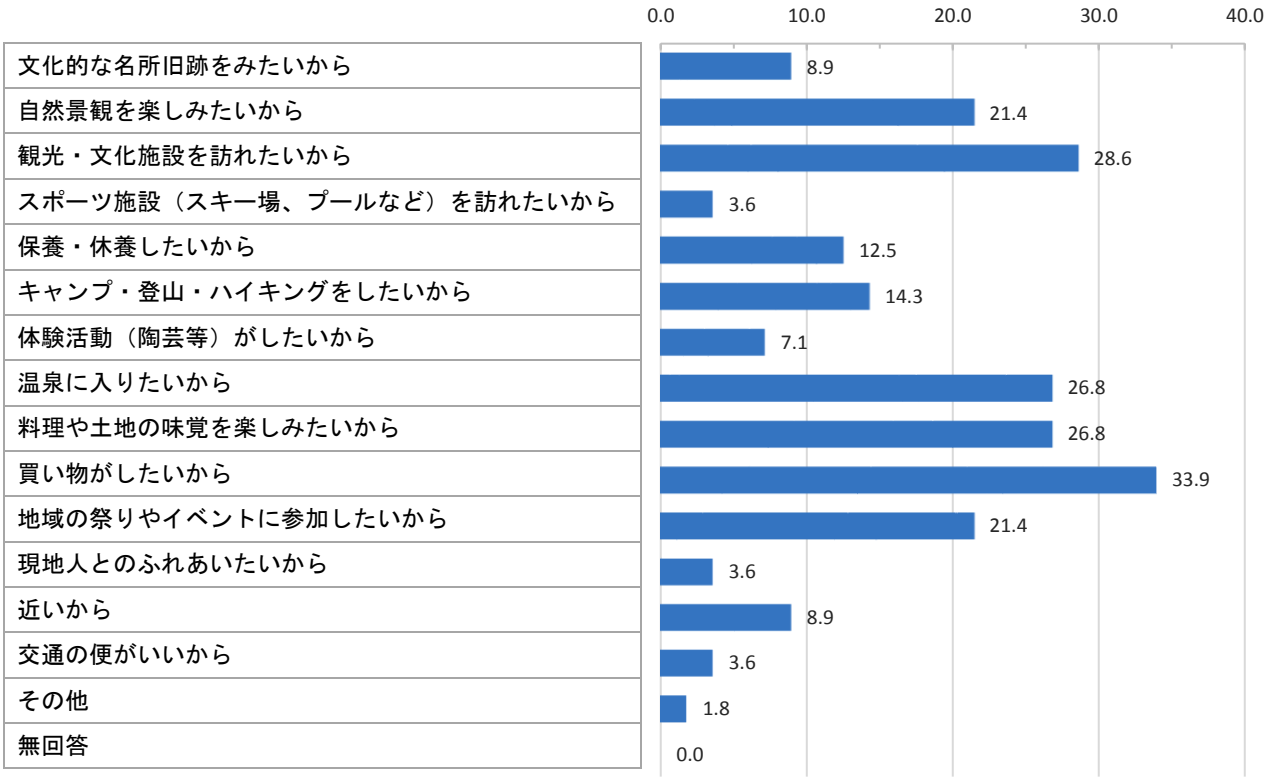


同行者の関係（n=56）



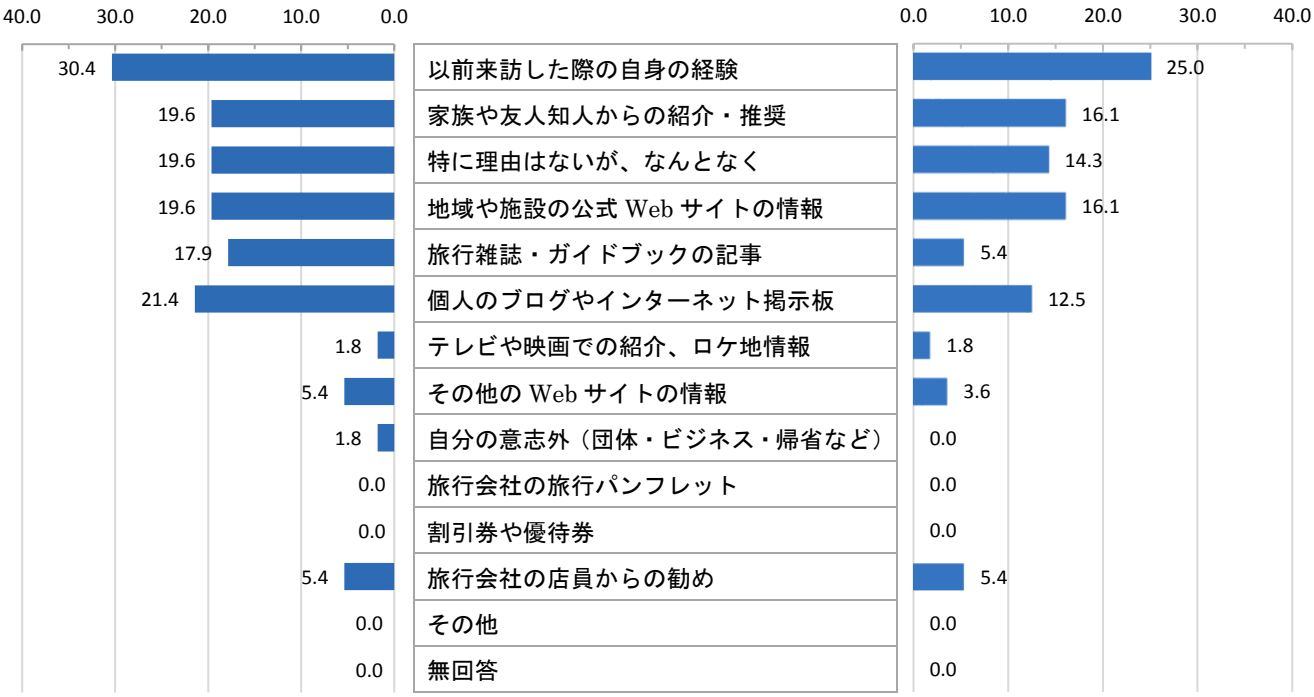
旅行先に選んだ理由は「買い物がしたいから」が 33.9%で最も多く、次いで「観光・文化施設を訪れたいから」が 28.6%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が 30.4%で最も多く、決め手となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が 25.0%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=56）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=56）

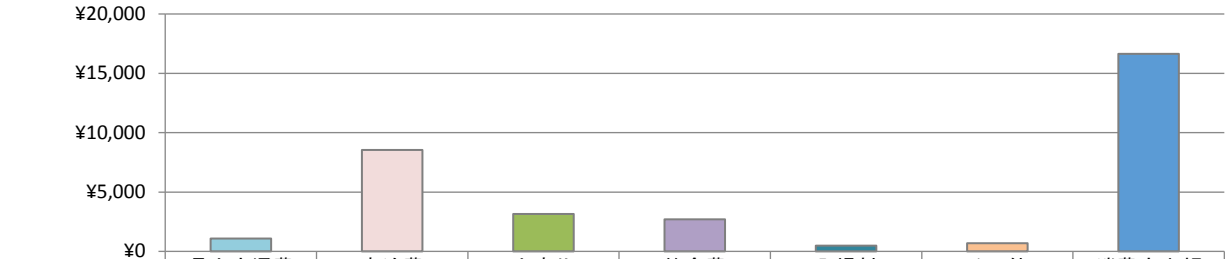
“決め手”となった情報源（単一回答）（n=56）



消費支出の平均は、総額で 16,649 円であった。内訳は、「宿泊費」が 8,545 円で最も多く、次いで「土産代」が 3,152 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 89.3%で最も多かった。

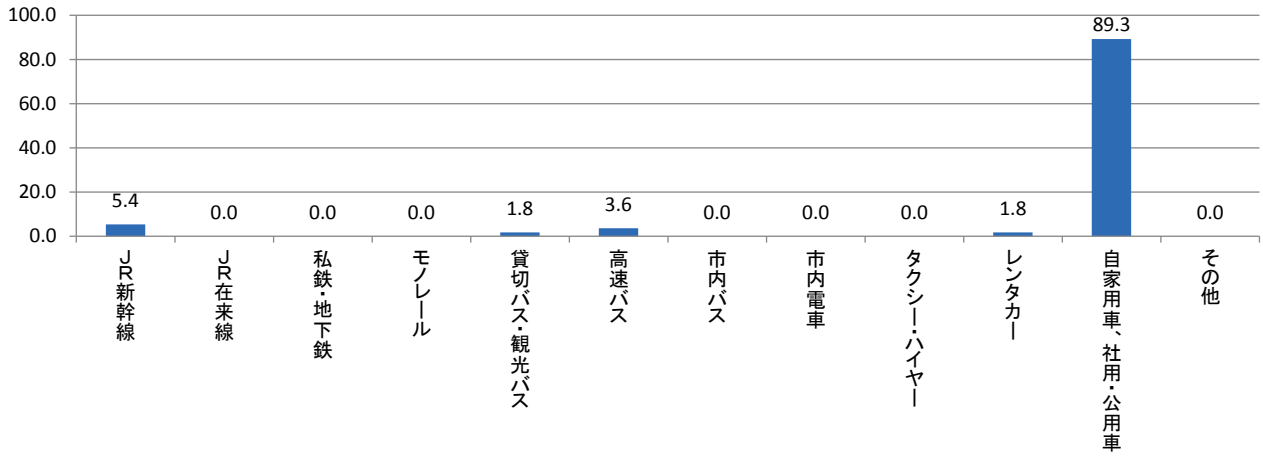
立ち寄り観光施設は「鬼怒川温泉」が 5 人と最も多かった。

消費支出（平均）



	県内交通費 (n=56)	宿泊費 (n=56)	土産代 (n=56)	飲食費 (n=56)	入場料 (n=56)	その他 (n=56)	消費支出額 (n=56)
消費支出（平均）	¥1,082	¥8,545	¥3,152	¥2,700	¥483	¥688	¥16,649

利用交通機関（複数回答）（n=56）



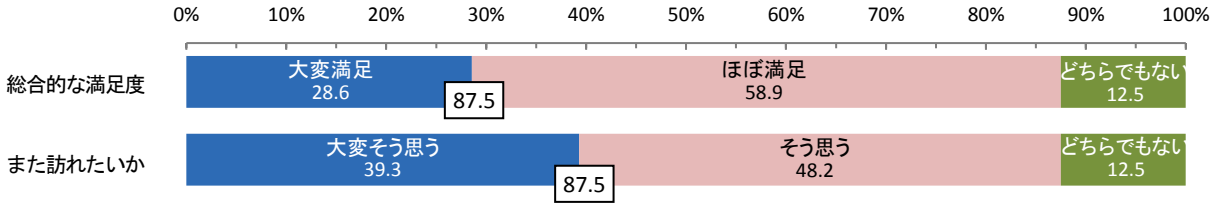
立ち寄り観光施設（n=56）※（　）内は施設に立ち寄った人数

那須	日光	県東
塩原温泉郷(1)	鬼怒川温泉(5)	ツインリンクもてぎ(1)
	霧降の滝(1)	道の駅もてぎ(1)
	川治温泉(1)	道の駅サシバの里いちかい(1)
	龍王峡(1)	

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
道の駅もてぎ（14）、陶芸メッセ益子（27）、道の駅はが（15）

調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が 87.5%であった。
また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が 87.5%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向（n=56）



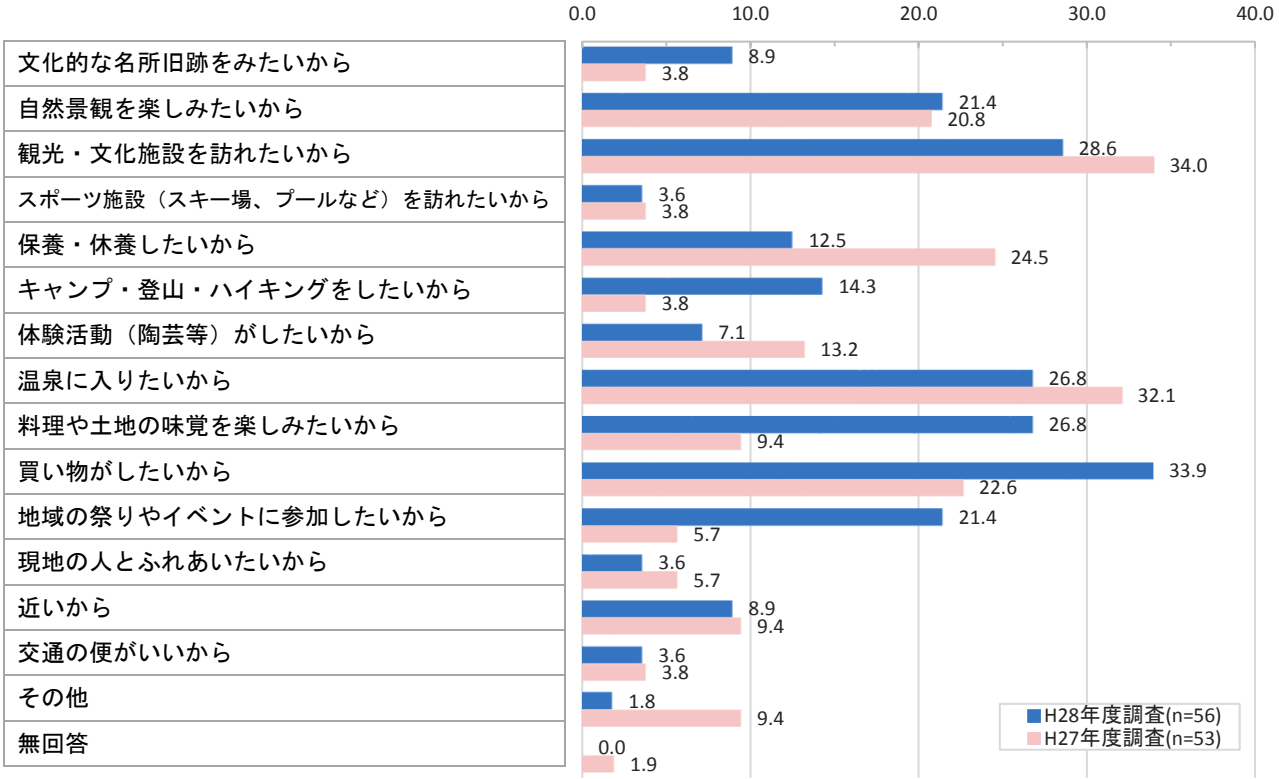
調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「秋季」が 1.29 で最も高く、「夏季」が 1.00 で最も低かった。
また、再来訪意向については、「春季」が 1.31 で最も高く、「冬季」が 1.17 で最も低かった。
年代別にみると、総合満足度は「30 代」が 1.27 で最も高く、「50 代」が 1.00 で最も低かった。
また、再来訪意向については「30 代」が 1.36 で最も高く、「60 代以上」が 1.18 で最も低かった。

②過去調査との比較

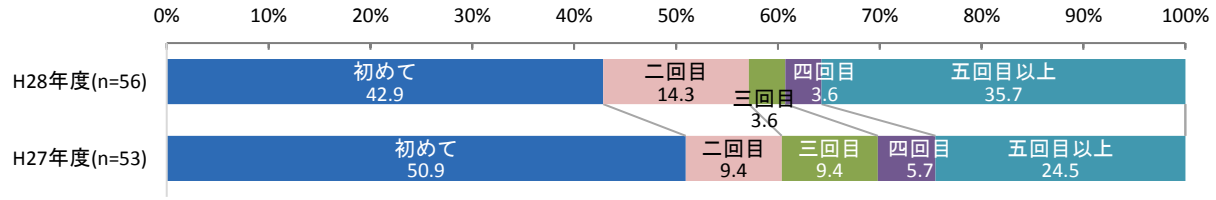
旅行先に選んだ理由は、「買い物がしたいから」が平成 28 年度調査では 33.9%と最も多く、平成 27 年度調査と比較して 11.3 ポイント増加した。次いで「観光・文化施設を訪れたいから」が平成 27 年度の調査では 34.0%であったが、平成 28 年度調査では 28.6%と 5.4 ポイント減少した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



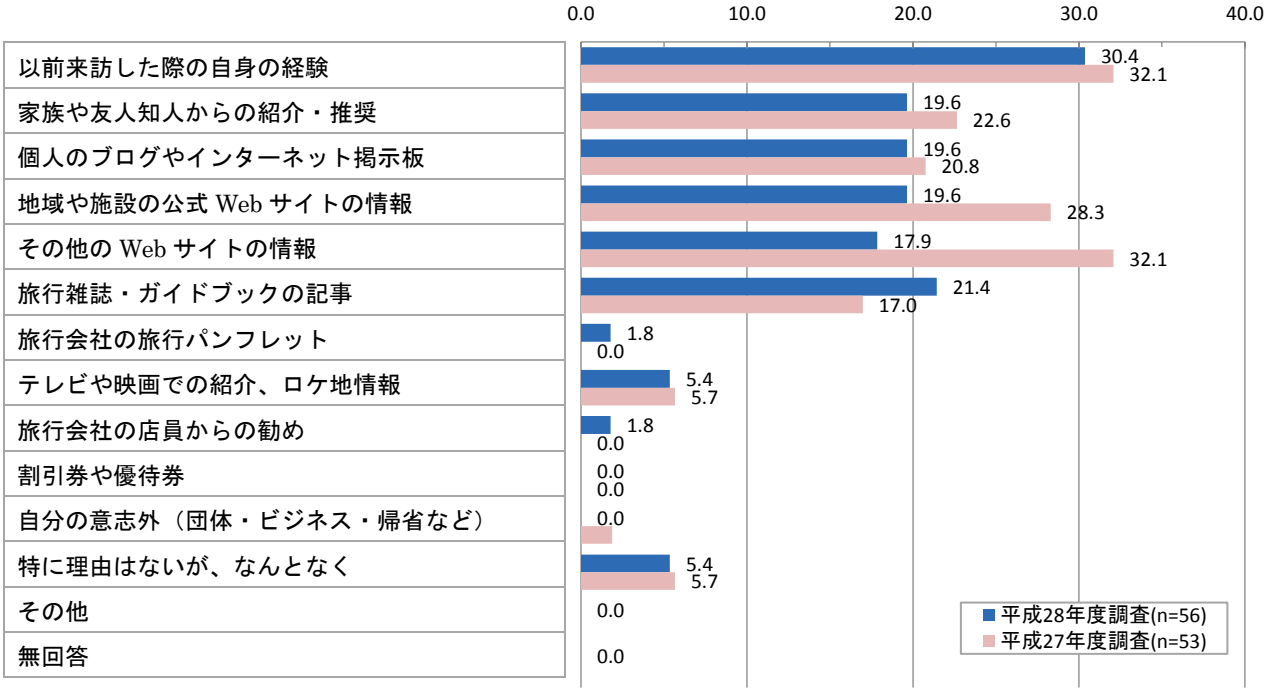
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が平成 27 年度調査では 50.9%であったが、平成 28 年度調査では 42.9%と 8.0 イント減少した。一方「五回目以上」が平成 27 年度調査では 24.5%であったが、平成 28 年度調査では 35.7%と 11.2 ポイント増加した。

調査地域周辺への来訪回数　※周辺住民を除く



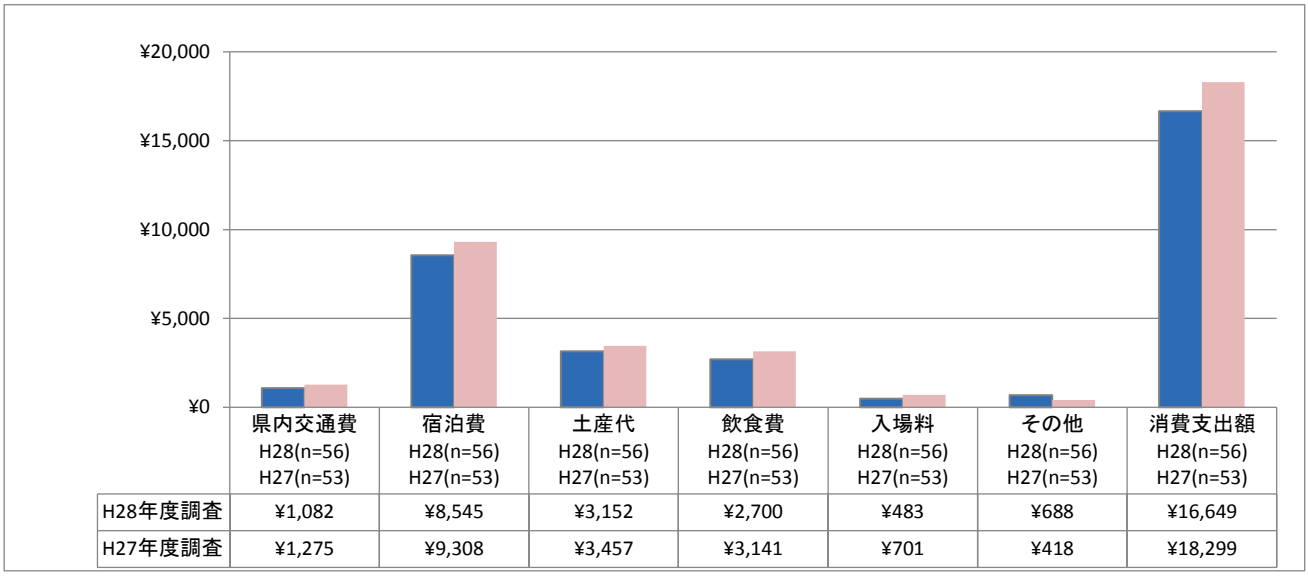
旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が平成 28 年度調査では 30.4%と最も多く、平成 27 年度調査と比較して 1.7 ポイント減少した。次いで「旅行雑誌・ガイドブックの記事」が平成 27 年度調査では 17.0%であったが、平成 28 年度調査では 21.4%と平成 27 年度と比較して 4.4 ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、平成 27 年度調査では 18,299 円であったが、平成 28 年度調査では 16,649 円に減少した。

消費支出（平均）

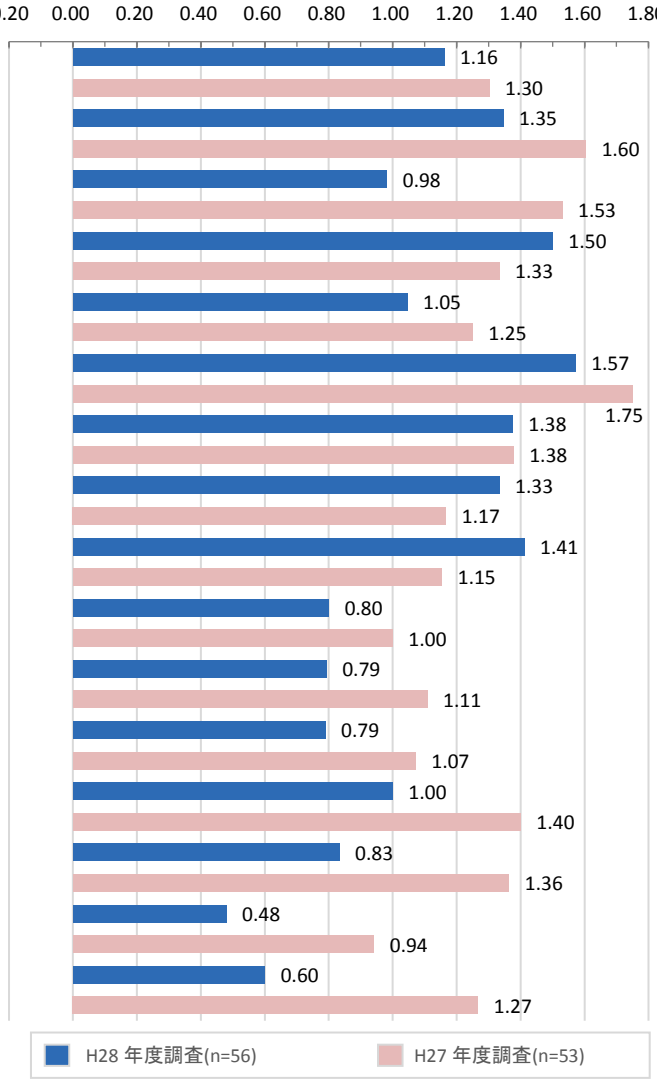


	県内交通費 H28(n=56) H27(n=53)	宿泊費 H28(n=56) H27(n=53)	土産代 H28(n=56) H27(n=53)	飲食費 H28(n=56) H27(n=53)	入場料 H28(n=56) H27(n=53)	その他 H28(n=56) H27(n=53)	消費支出額 H28(n=56) H27(n=53)
H28年度調査	¥1,082	¥8,545	¥3,152	¥2,700	¥483	¥688	¥16,649
H27年度調査	¥1,275	¥9,308	¥3,457	¥3,141	¥701	¥418	¥18,299

総合満足度は、平成 27 年度調査では 1.30 であったが、平成 28 年度調査では 1.16 と 0.14 ポイント減少した。満足度を項目別にみると、平成 27 年度調査では「観光施設　体験活動」が 1.75 で最も高く、平成 28 年度調査でも 1.57 と最も高かった。

項目別満足度（加重平均値）

総合満足度	H28 年度調査		(n=56)
	H27 年度調査		(n=53)
①自然景観	景観や雰囲気	H28	(n=55)
		H27	(n=53)
	街並みの景観や雰囲気	H28	(n=55)
		H27	(n=53)
②宿泊施設	宿泊施設	H28	(n=20)
		H27	(n=27)
③観光施設	観光施設	H28	(n=44)
		H27	(n=44)
	体験活動	H28	(n=7)
		H27	(n=12)
④食	食	H28	(n=40)
		H27	(n=45)
⑤土産	お土産	H28	(n=24)
		H27	(n=30)
⑥おもてなし	宿泊施設	H28	(n=17)
		H27	(n=26)
	観光施設	H28	(n=30)
		H27	(n=35)
	飲食店	H28	(n=29)
		H27	(n=37)
	土産物店	H28	(n=19)
		H27	(n=28)
	交通事業者	H28	(n=1)
		H27	(n=5)
	地域住民	H28	(n=24)
		H27	(n=11)
⑦その他	地域内での移動	H28	(n=25)
		H27	(n=17)
	現地での観光情報・案内	H28	(n=20)
		H27	(n=15)



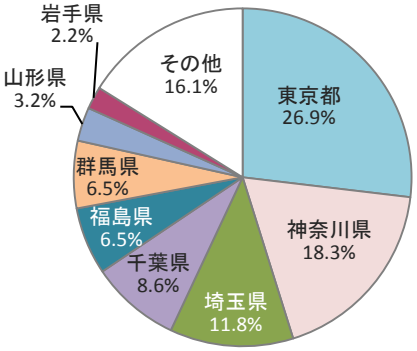
v.県南エリア

①平成 28 年度調査結果

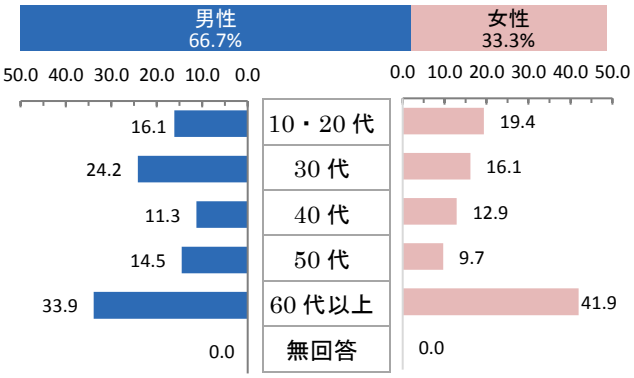
宿泊客（県南エリア）　　サンプル数：93

お住まいは「東京都」が最も多く 26.9%、次いで「神奈川県」が 18.3%、「埼玉県」が 11.8%であった。年代は、男女ともに「60 代以上」が最も多く「男性」が 33.9%、「女性」が 41.9%であった。
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が 65.6%で最も多かった。
同行者数は「2 人」が 50.0%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 28.0%で最も多かった。

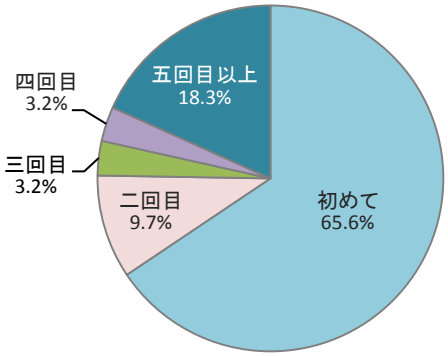
お住まい（n=93）



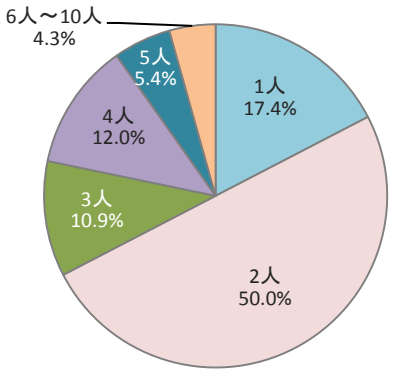
性別・年代（n=93）



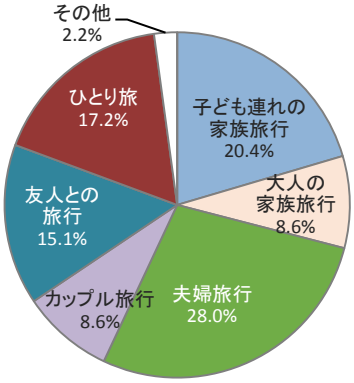
調査地域周辺への来訪回数（n=93）



同行人数 ※回答者を含む（n=93）

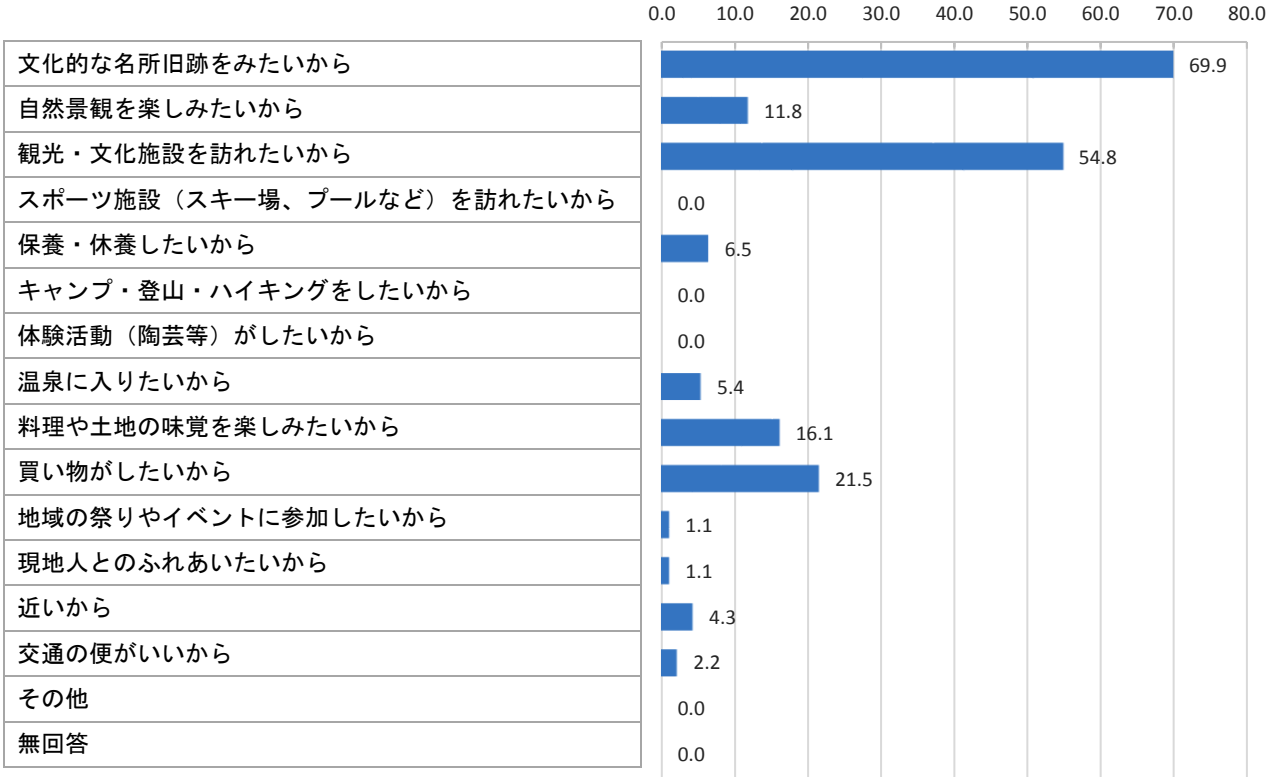


同行者の関係（n=93）



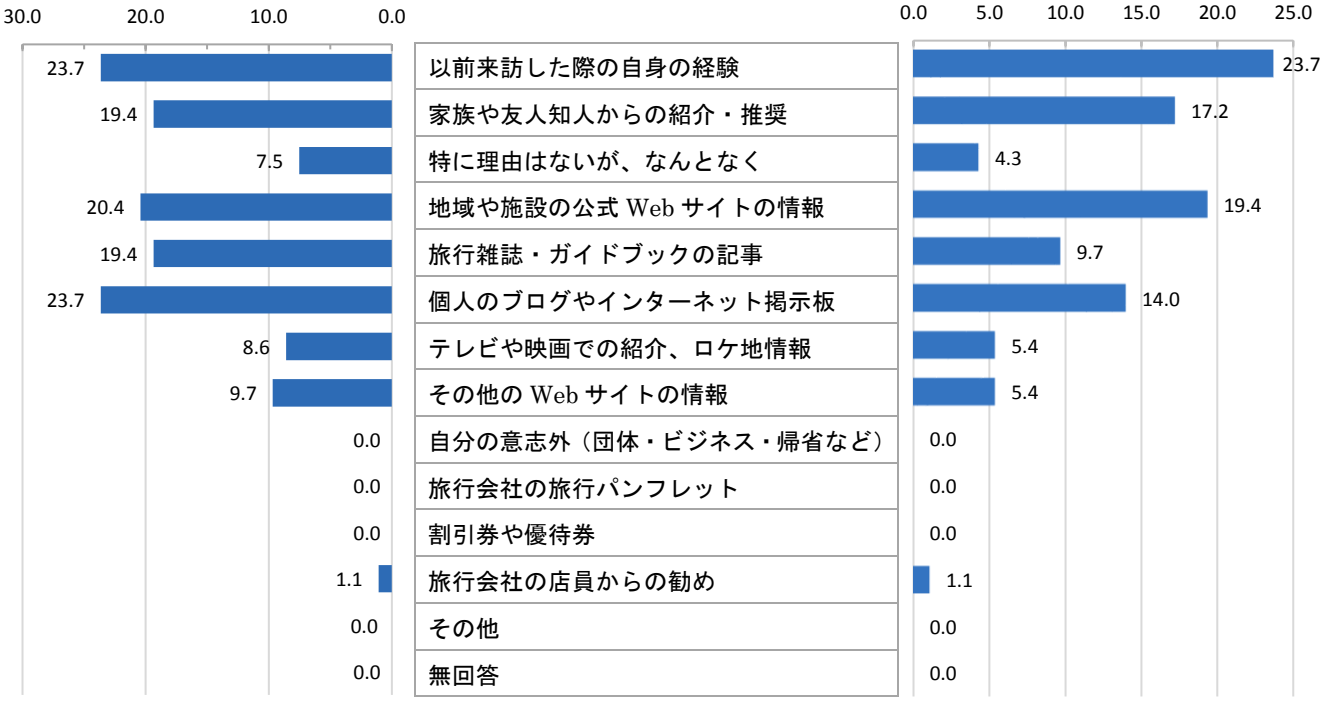
旅行先に選んだ理由は「文化的な名所旧跡をみたいから」が 69.9%で最も多く、次いで「観光・文化施設を訪れたいから」が 54.8%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」「個人のブログやインターネット掲示板」が 23.7%で最も多く、決め手となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が 23.7%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=93）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=93）

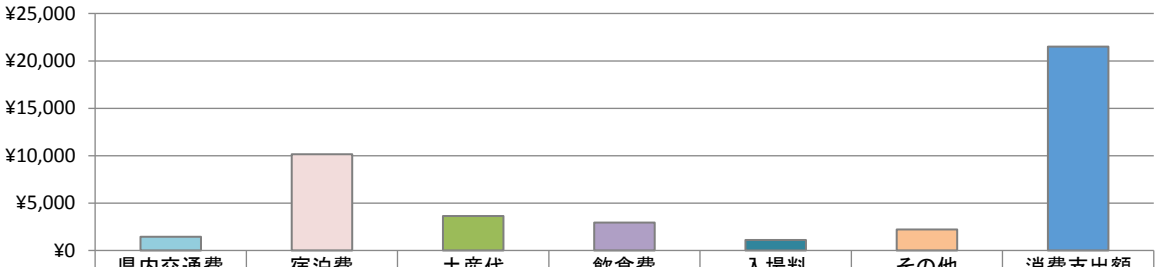
“決め手”となった情報源（単一回答）（n=93）



消費支出の平均は、総額で 21,494 円であった。内訳は、「宿泊費」が 10,151 円で最も多く、次いで「土産代」が 3,634 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 68.8%で最も多かった。

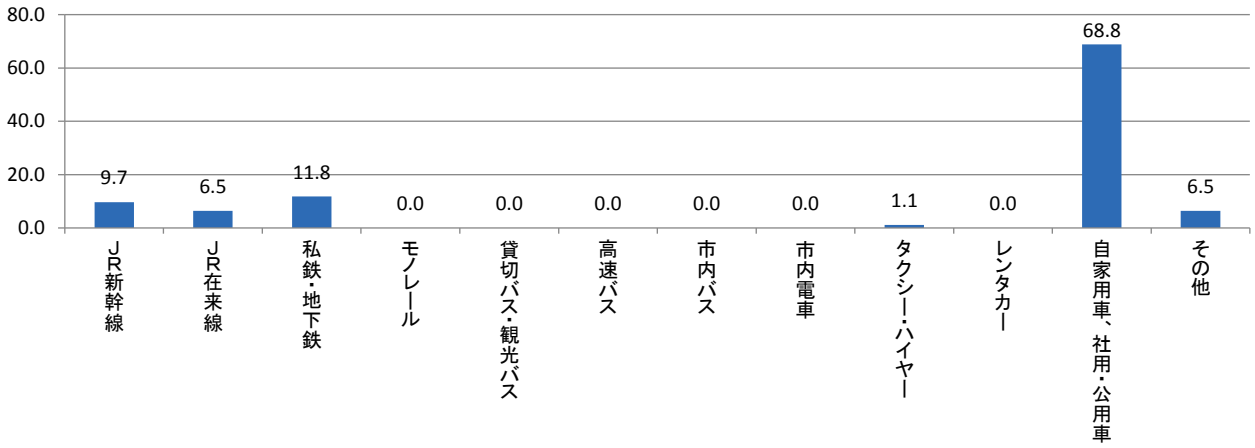
立ち寄り観光施設は、「あしかがフラワーパーク」が 11 人で最も多く、次いで「鬼怒川温泉」が 6 人であった。

消費支出（平均）



	県内交通費 (n=93)	宿泊費 (n=93)	土産代 (n=93)	飲食費 (n=93)	入場料 (n=93)	その他 (n=93)	消費支出額 (n=93)
消費支出（平均）	¥1,445	¥10,151	¥3,634	¥2,943	¥1,106	¥2,215	¥21,494

利用交通機関（複数回答）（n=93）



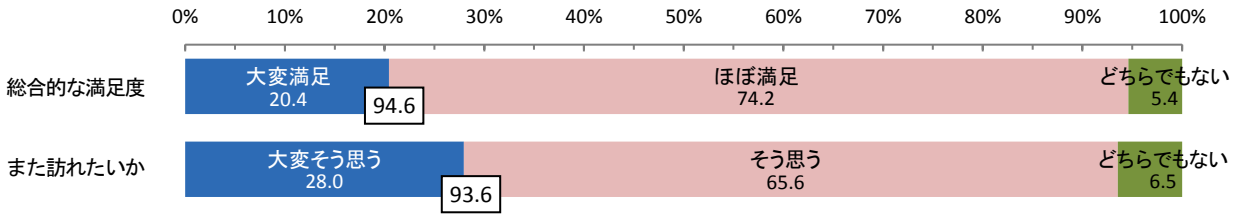
立ち寄り観光施設（n=93）※（　）内は施設に立ち寄った人数

那須	県央	県南
塩原温泉郷(1)	大谷資料館(1)	あしかがフラワーパーク(11)
りんどう湖ファミリー牧場(1)		佐野プレミアム・アウトレット(3)
		織姫公園(2)
		佐野厄よけ大師(2)
日光		鑁阿寺(1)
鬼怒川温泉(6)		史跡足利学校(1)
二社一寺参拝者(3)		岩下記念館(1)
霧降の滝(2)		赤見温泉(1)
湯西川温泉(2)		道の駅どまんなかたぬま(1)
華厳滝(1)		
龍王峡(1)		

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
足利学校（48）、佐野プレミアムアウトレット（17）、とちぎ山車会館（28）

調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が 94.6%であった。
また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が 93.6%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向（n=217）



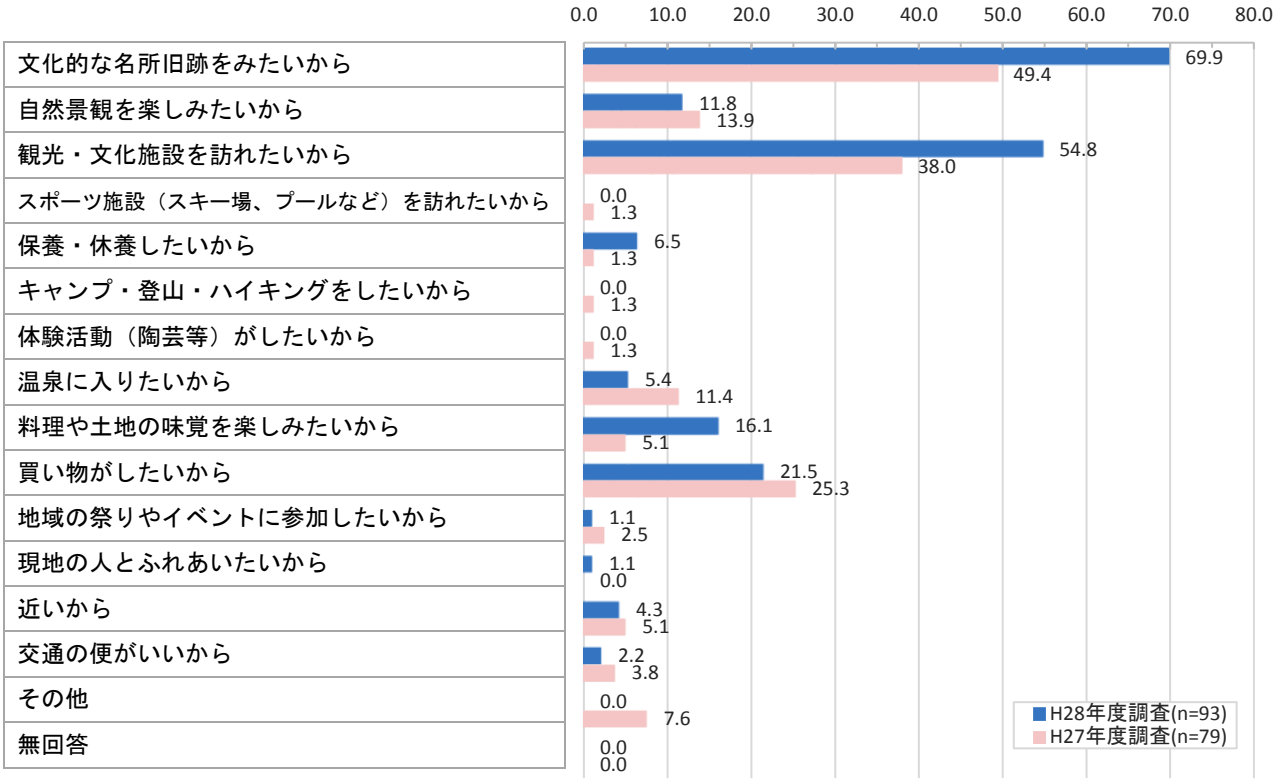
調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「冬季」が 1.26 で最も高く、「秋季」が 1.00 で最も低かった。
また、再来訪意向については「秋季」が 1.40 で最も高く、「夏季」が 1.10 で最も低かった。
年代別にみると、総合満足度は「10・20 代」が 1.38 で最も高く、「30 代」が 0.82 で最も低かった。
また、再来訪意向については、「10・20 代」が 1.44 と最も高く、「50 代」が 1.08 で最も低かった。

②過去調査との比較

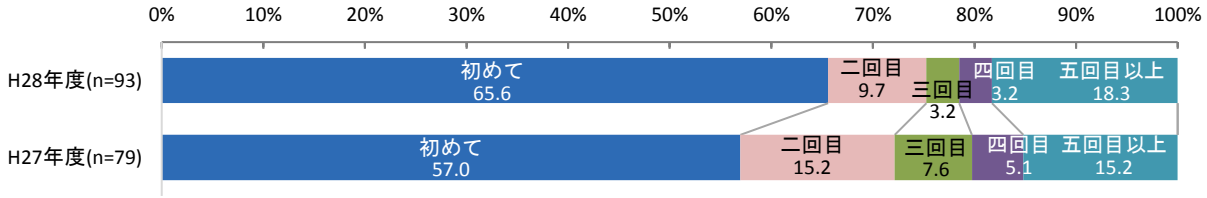
旅行先に選んだ理由は、平成 27 年度の調査では「文化的な名所旧跡をみたいから」が最も多く 49.4%であったが、平成 28 年度調査では 69.9%と 20.5 ポイント増加した。次いで「観光・文化施設を訪れたいから」が平成 27 年度の調査では 38.0%であったが、平成 28 年度調査では 54.8%と 16.8 ポイント増加した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



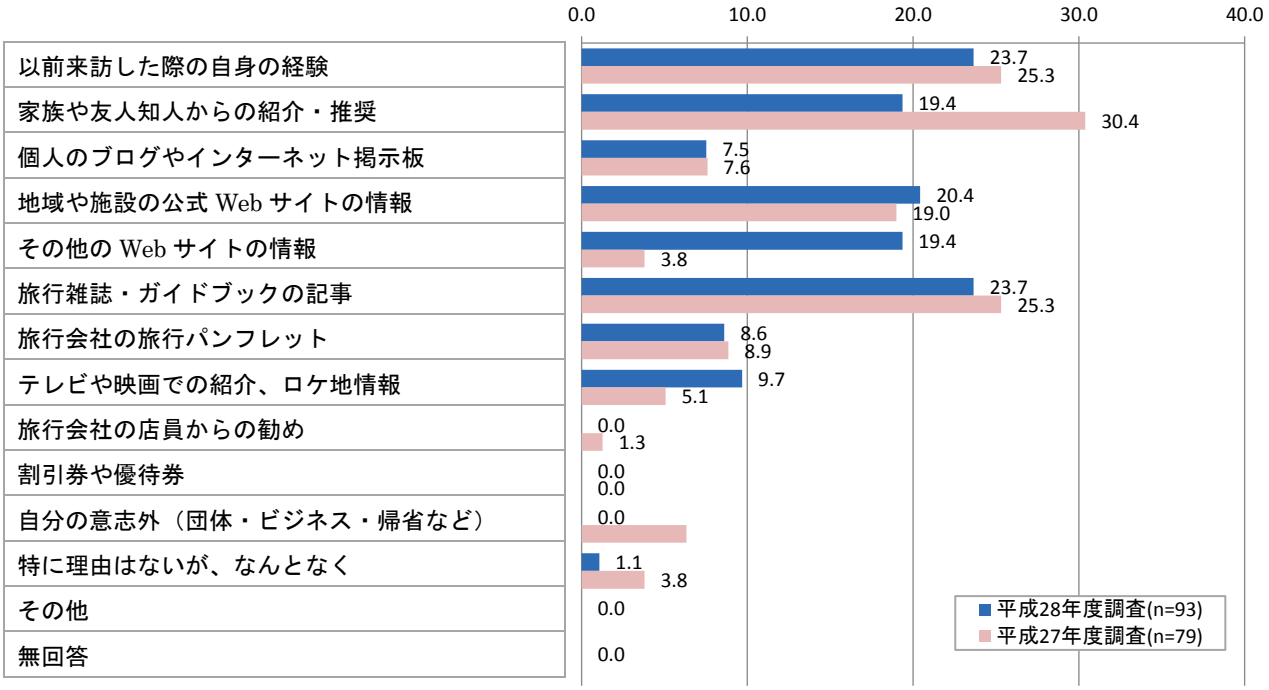
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が平成 27 年度調査では 57.0%であったが、平成 28 年度調査では 65.6%と 8.6 ポイント増加した。また、「五回目以上」が平成 27 年度調査では 15.2%であったが、平成 28 年度調査では 18.3%と 3.1 ポイント増加した。

調査地域周辺への来訪回数　※周辺住民を除く



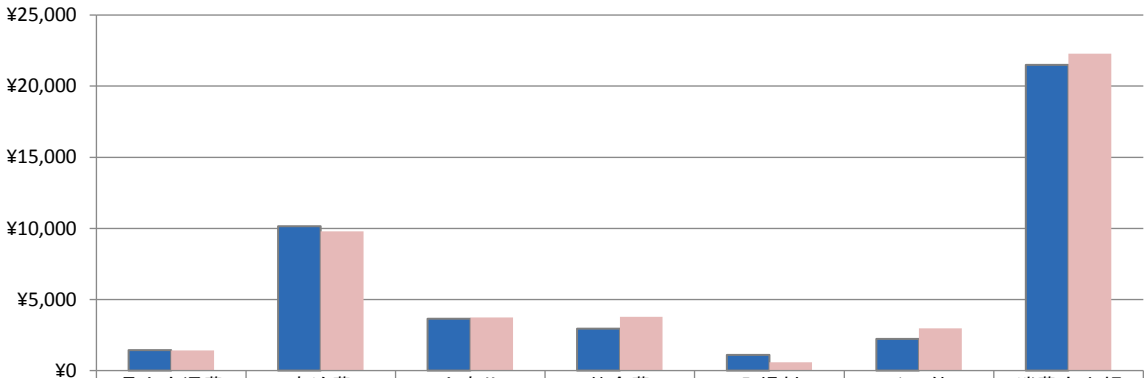
旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」「旅行雑誌・ガイドブックの記事」が平成 28 年度調査では 23.7%と最も多く、平成 27 年度調査と比較して減少した。また、「家族や友人知人からの紹介・推奨」が平成 28 年度調査では 19.4%と平成 27 年度と比較して 11.0 ポイント減少した。一方、「その他の Web サイトの情報」が平成 28 年度調査では 19.4%と平成 27 年度と比較して 15.6 ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、平成 27 年度調査では 22,290 円であったが、平成 28 年度調査では 21,494 円に減少した。

消費支出（平均）

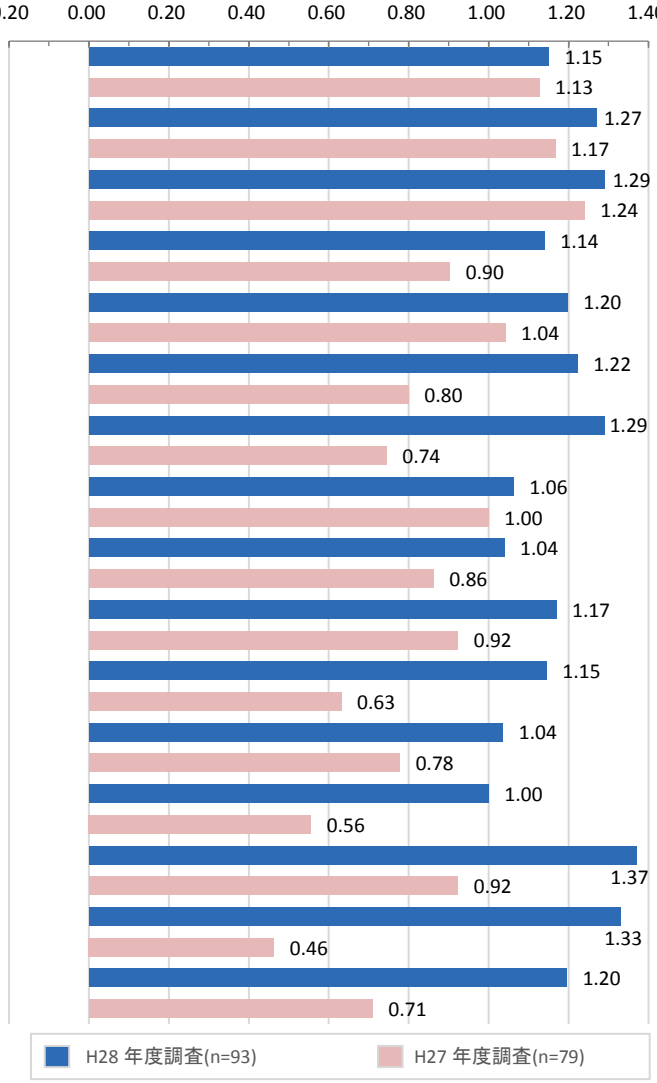


	県内交通費 H28(n=93) H27(n=79)	宿泊費 H28(n=93) H27(n=79)	土産代 H28(n=93) H27(n=79)	飲食費 H28(n=93) H27(n=79)	入場料 H28(n=93) H27(n=79)	その他 H28(n=93) H27(n=79)	消費支出額 H28(n=93) H27(n=79)
H28年度調査	¥1,445	¥10,151	¥3,634	¥2,943	¥1,106	¥2,215	¥21,494
H27年度調査	¥1,416	¥9,796	¥3,742	¥3,776	¥581	¥2,978	¥22,290

総合満足度は、平成 27 年度、平成 28 年度ともにほぼ横ばいであった。満足度を項目別にみると、平成 27 年度調査では「景観　街並みの景観や雰囲気」「食　食」が 1.29 で最も高かったが、平成 28 年度調査では「おもてなし　地域住民」が 1.37 で最も高かった。

項目別満足度（加重平均値）

総合満足度	H28 年度調査		(n=93)
	H27 年度調査		(n=79)
①景観	景観や雰囲気	H28	(n=93)
		H27	(n=72)
	街並みの景観や雰囲気	H28	(n=93)
		H27	(n=76)
②宿泊施設	宿泊施設	H28	(n=50)
		H27	(n=31)
③観光施設	観光施設	H28	(n=76)
		H27	(n=48)
	体験活動	H28	(n=9)
		H27	(n=5)
④食	食	H28	(n=69)
		H27	(n=47)
⑤土産	お土産	H28	(n=32)
		H27	(n=26)
⑥おもてなし	宿泊施設	H28	(n=51)
		H27	(n=29)
	観光施設	H28	(n=71)
		H27	(n=39)
	飲食店	H28	(n=62)
		H27	(n=38)
	土産物店	H28	(n=28)
		H27	(n=27)
	交通事業者	H28	(n=26)
		H27	(n=9)
	地域住民	H28	(n=46)
		H27	(n=13)
⑦その他	地域内での移動	H28	(n=88)
		H27	(n=54)
	現地での観光情報・案内	H28	(n=87)
		H27	(n=62)



参考資料　調査票

（回答開始日時：　月　　日　　時　　分）

調査地点ID

平成 28 年度　栃木県観光動態調査

ようこそ栃木県へお越しくださいました。今回のご来訪を心から歓迎いたします。
本調査は、県内の観光地をより一層満足いただけるものとしていくために、観光客の皆様の声をお聞かせいただくアンケート調査です。
お手数ではございますが、ご協力をお願い申し上げます。

調査実施者：栃木県産業労働観光部観光交流課（電話０２８−６２３−３２１０）

※２人以上でいらしている場合には、どなたかお一人が代表してご記入ください。
※［　　］欄は具体的にご記入ください。その他は、該当する項目を選択してください。

問1.　あなたのお住まい（都道府県・市町村）、性別、年代をお答えください。

お住まい	［　　］都・道・府・県	［　　］市・町・村	性別	１．男性　２．女性
年代	１．10 歳未満　２．10 歳代　３．20 歳代　４．30 歳代　５．40 歳代 ６．50 歳代　７．60 歳代　８．70 歳代　９．80 歳以上			

問2.　今回の旅行の栃木県内での滞在時間や宿泊数をお答えください。

・日帰りの方 →　栃木県での滞在時間［　　］時間

・宿泊の方　→　全宿泊数［　　］泊

うち　栃木県内での宿泊数［　　］泊

	宿泊地域	宿泊施設（宿泊施設の分類は下表から選択）
一泊目		
二泊目		

【表】宿泊施設の分類

①実家や知人・親戚宅　②旅館　③ホテル　④ペンション・民宿
⑤保養所・研修所　⑥キャンプ場　⑦（ｷｬﾝﾌﾟ場以外の）車中泊・交通機関内での宿泊
⑧別荘・ﾘｿﾞｰﾄﾏﾝｼｮﾝ　⑨会員制の宿泊施設　⑩その他

問3.　今回の旅行の主要な目的は何ですか。該当するものに○をつけてください。※1つだけ

１．ビジネス　２．観光
３．帰省・知人訪問　４．（１～３のどれでもない）その他

問4.　現在いらっしゃる地域を旅行先に選んだ理由は何ですか。該当するものに○をつけてください。※いくつでも

１．文化的な名所旧跡を見たいから　２．自然景観を楽しみたいから
３．観光・文化施設を訪れたいから　４．スポーツ施設（スキー場、プールなど）を訪れたいから
５．保養・休養したいから　６．キャンプ・登山・ハイキングをしたいから
７．体験活動（陶芸等）がしたいから　８．温泉に入りたいから
９．料理や土地の味覚を楽しみたいから　10．買い物がしたいから
11．地域の祭やイベントに参加したいから　12．現地の人とふれあいたいから
13．近いから　14．交通の便がいいから
15．その他（　　）

問5.　今回の旅行の同行者の人数、ご関係についてお答えください。

同行者 [　　] 人（※自分を含む）

（該当するものに〇をつけてください。※1つだけ）

1．子ども連れの家族旅行　2．大人の家族旅行　3．夫婦旅行　4．カップル旅行
5．友人との旅行　6．職場や団体などの旅行　7．ひとり旅　8．その他

問6.　栃木県への来訪回数、現在いらっしゃる地域への来訪回数についてお答えください。

該当するものに〇をつけてください。※1つだけ

（1）栃木県への来訪回数（※栃木県民の方は回答不要です。）

1．初めて　2．二回目　3．三回目　4．四回目　5．五回目以上

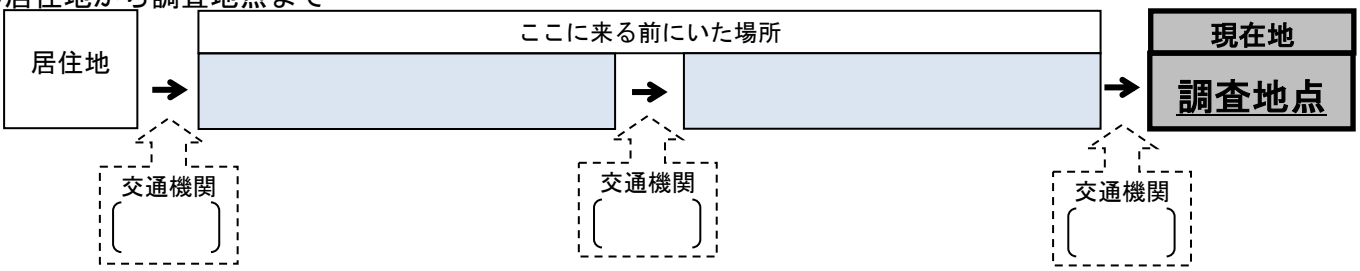
（2）現在地周辺への来訪回数（※周辺住民の方は回答不要です。）

1．初めて　2．二回目　3．三回目　4．四回目　5．五回目以上

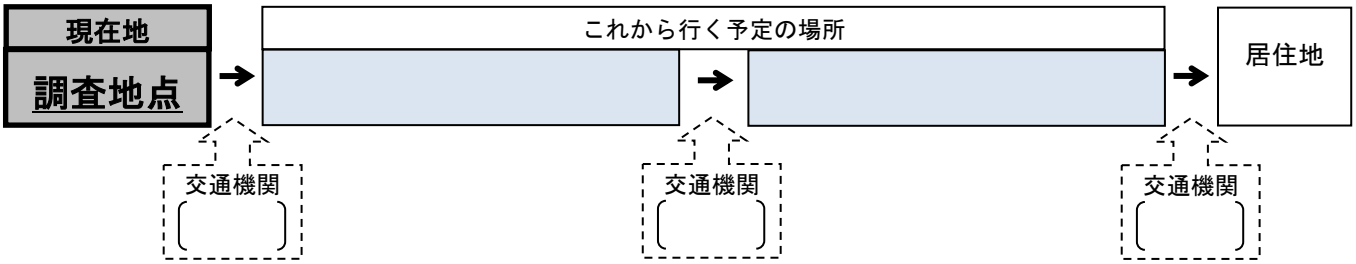
問7. 今回の旅行で訪れた栃木県内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入ください。これから訪問する観光地についても予定をご記入ください。

※観光地は「栃木県観光マップ」を参考にご記入ください。また、交通機関は下表より番号をお選びください。

〇居住地から調査地点まで



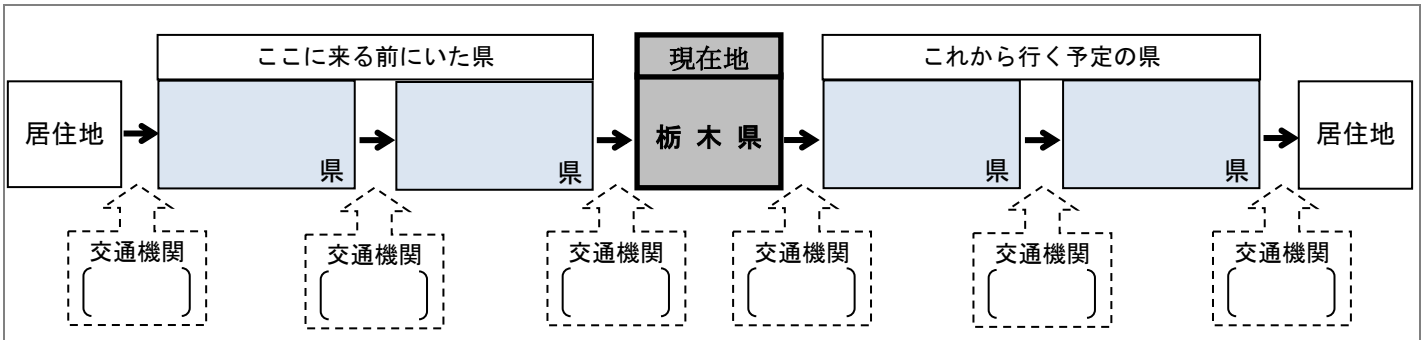
〇調査地点から居住地まで



【表】交通機関

①ＪＲ新幹線	②ＪＲ在来線	③私鉄・地下鉄	④モノレール	⑤貸切バス・観光バス
⑥高速バス	⑦市内バス	⑧市内電車	⑨タクシー・ハイヤー	
⑩レンタカー	⑪自家用車、社用・公用車		⑫その他（ 飛行機、徒歩、２輪車等）	

問8. 今回の旅行で、栃木県の前に立ち寄った（又は後に立ち寄る予定の）都道府県があればご記入ください。



※交通機関は上表から選択

問9.　今回の旅行の一人当たりの費用(これから使う予定も含めて)を下欄の項目別にご記入ください。

※　交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、栃木県内分・栃木県外分を分けて記入してください。

※　今回の旅行がパック旅行である場合、費用が栃木県内分のみか、栃木県外分を含むかを選択してください。

	使用費用	
	栃木県内分	栃木県外分
①交通費	円	円
②宿泊費	円	
③土産代	円	
④飲食費	円	
⑤入場料	円	
⑥その他	円	
⑦パック料金	円	←□栃木県内分のみ □栃木県外分含む

問10.　現在いらっしゃる地域を選んだ際の情報源は何ですか。該当するものに○をつけてください。※いくつでも

1．以前来訪した際の自身の経験
2．家族や友人知人からの紹介・推奨
3．個人のブログやインターネット掲示板
4．地域や施設の公式ｗｅｂサイトの情報
5．その他のｗｅｂサイトの情報
6．旅行雑誌・ガイドブックの記事
7．旅行会社の旅行パンフレット
8．テレビや映画での紹介、ロケ地情報
9．旅行会社の店員からの勧め
10．割引券や優待券
11．自分の意志外（団体・ビジネス・帰省など）
12．特に理由はないが、なんとなく
13．その他（　　）

問11.　問10の中で、選んだ"決め手"となったものを1つだけ選んで　　内に記入してください。

問12.　実際に訪問されて、現在いらっしゃる地域の以下の項目の満足度はいかがでしたか。※それぞれ1つだけ

	大変良かった	まあまあ良かった	どちらでもない	やや悪かった	非常に悪かった	利用していない該当しない
①自然景観や雰囲気	5	4	3	2	1	0
②街並みの景観や雰囲気	5	4	3	2	1	0
③宿泊施設	5	4	3	2	1	0
④観光施設	5	4	3	2	1	0
⑤体験活動	5	4	3	2	1	0
⑥食	5	4	3	2	1	0

		大変 良かった	まあまあ 良かった	どちら でもない	やや 悪かった	非常に 悪かった	利用していない 該当しない
⑦お土産		5	4	3	2	1	0
⑧おもてなし	宿泊施設	5	4	3	2	1	0
	観光施設	5	4	3	2	1	0
	飲食店	5	4	3	2	1	0
	土産物店	5	4	3	2	1	0
	交通事業者（ﾊﾞｽ・ﾀｸｼｰ等）	5	4	3	2	1	0
	地域住民	5	4	3	2	1	0
⑨地域内での移動		5	4	3	2	1	0
⑩現地での観光情報・案内		5	4	3	2	1	0

問13.　実際に訪問されて、現在いらっしゃる地域の総合的な満足度はいかがでしたか。※1つだけ

大変満足	ほぼ満足	どちらでもない	やや不満	大変不満
5	4	3	2	1

問14.　現在いらっしゃる地域へまた訪れたいと思いますか。※1つだけ

大変そう思う	そう思う	どちらでもない	あまり思わない	全く思わない
5	4	3	2	1

問15.　以下の項目のうち、12都県と比べて、栃木県の魅力が1位だと感じるものを教えてください。※いくつでも

（宮城県、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、山梨県、静岡県、長野県、新潟県）

1．魅力的な観光スポット・イベントがある
2．魅力的な宿泊施設がある
3．魅力的な温泉がある
4．魅力的な食べ物がある（宿泊時の食事を除く）
5．魅力的な自然・景観がある
6．街歩きが楽しめる
7．買い物が楽しめる
8．スポーツが楽しめる（ゴルフ、テニス、スキーなど）
9．アウトドアが楽しめる
（登山、釣り、自転車、川遊びなど）
10．各種体験が楽しめる
（農業体験、フルーツ狩り、手作りなど）
11．魅力的なレジャー施設がある
（遊園地、テーマパークなど）

（回答終了日時：　月　　日　　時　　分）

☆☆　アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。☆☆